

# 福岡市 教育データブック

(平成29年度版)

---

---



福岡スタンダードキャラクター  
「スタンバード」

福岡市教育委員会



## はじめに

平成21年6月に策定した「新しいふくおかの教育計画」において、「基本的生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲と志を持ち、心豊かにたくましく生きる子どもをはぐくむ」ことを福岡市の教育の目標として定め、8年が経過しました。

今後は、「新しいふくおかの教育計画」のこれまでの取組を検証し、課題を明らかにするとともに、その解決に向けてさらなる取組を検討し、実施していく必要があります。そのためには、学校教育に関するさまざまな事象を数量的にとらえ、分析・評価することが必要不可欠です。

本冊子は、「新しいふくおかの教育計画」資料編で示した「基礎データ」に、平成19年度から実施された全国学力・学習状況調査結果や平成22年度からの生活習慣・学習定着度調査等の統計データを加え、構成したものです。

編集や構成にあたっては、視覚的にとらえ、数年の経年も比較し易くなるようにグラフで示すなど、本市の子どもたちの教育に関するデータを紹介しています。

今後も教育に関するデータを集約し、教育施策検討の際の資料になるよう努めていきたいと考えています。

平成29年8月

福岡市教育委員会  
総務部教育政策課

# も く じ

## I 子ども

1 基本的な生活習慣	2
2 学力	7
3 学習習慣・家庭学習	14
4 進路状況	21
5 自尊意識・規範意識	24
6 体格・疾病	27
7 体力・運動能力	30
8 メディアとの接触	32
9 不登校・いじめ・暴力行為	33

## II 学校

1 学校数等	36
2 学校施設の状況	39
3 特色ある教育	42
4 地域の人材活用状況	44
5 学校情報の提供	46
6 特別支援教育	47
7 ICT環境	52
8 その他の状況	54

## III 教職員

1 教職員	57
2 教職員の研修状況	59
3 教員の休職状況	60
4 体罰・処分	61

## IV 家庭・地域

1 家庭状況	63
2 子どもとのかかわり	64

### 利用にあたって

- 四捨五入の関係で、計と内訳の合計が一致しない場合があります。
- 平成23年度の全国学力・学習状況調査は、東日本大震災の関係で9月に行われています。
- 平成28年度の生活習慣・学習定着度調査から対象学年を変更しています。  
(変更前) 小4, 6, 中1, 3 ⇒ (変更後) 小4, 5, 中1, 2

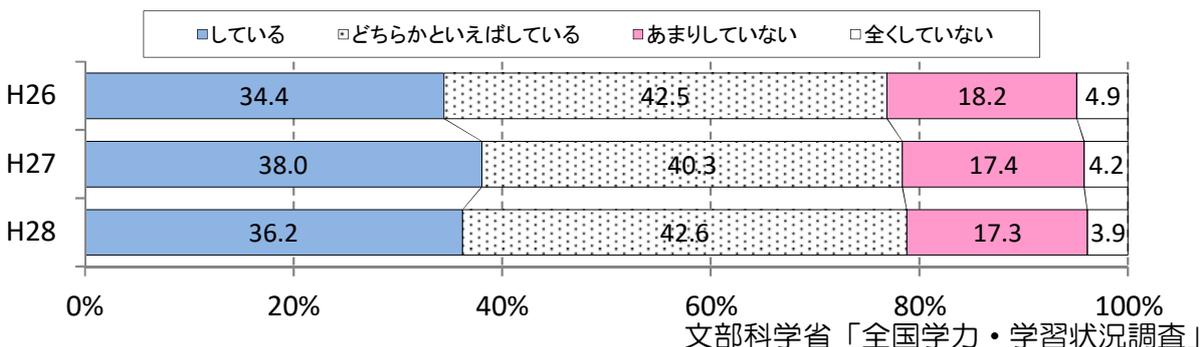
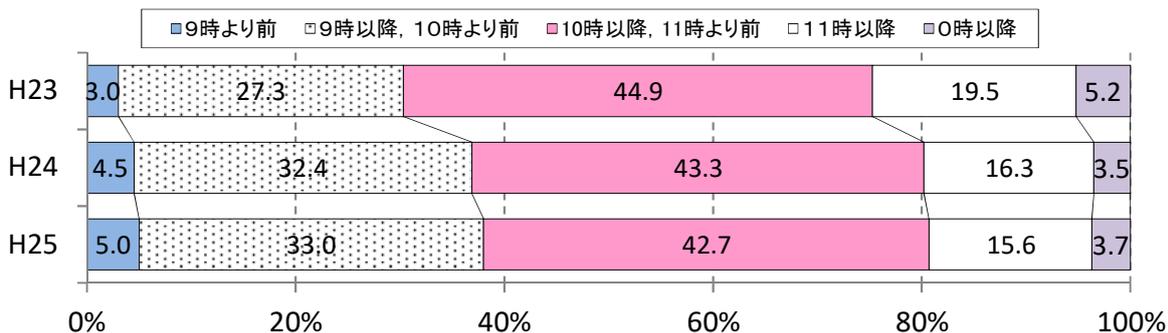
I 子 ども

---

---

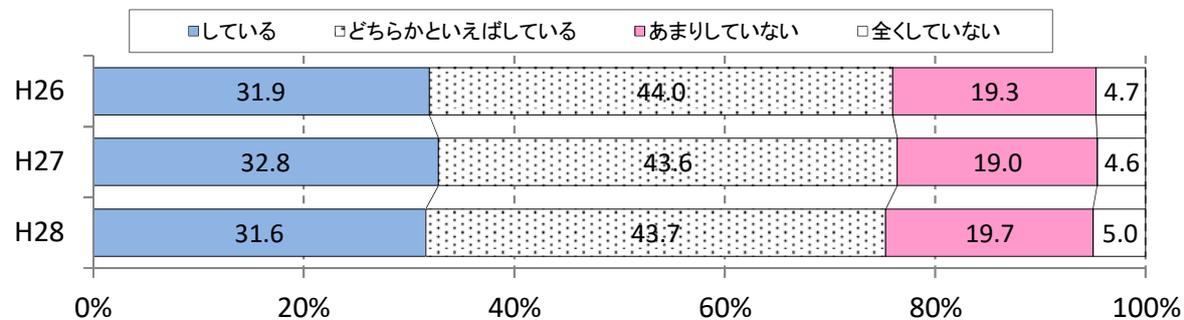
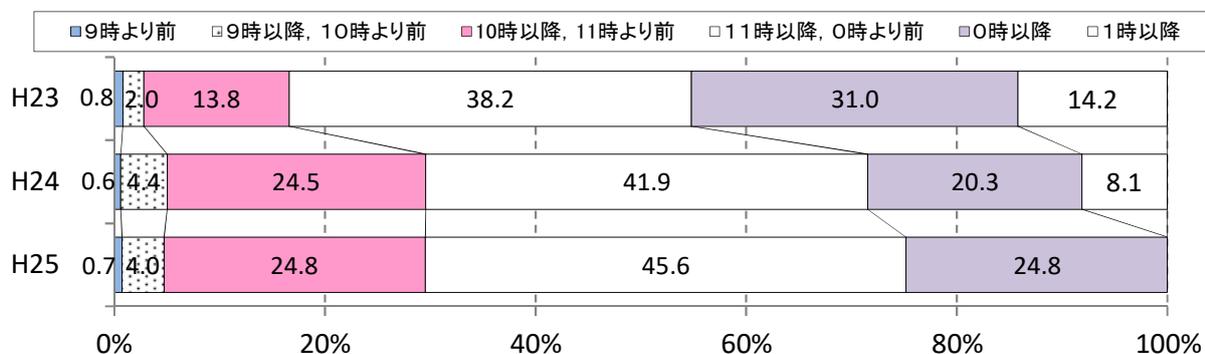
# I - 1 基本的生活習慣

## I - 1 - 1 就寝時刻（小学校6年）



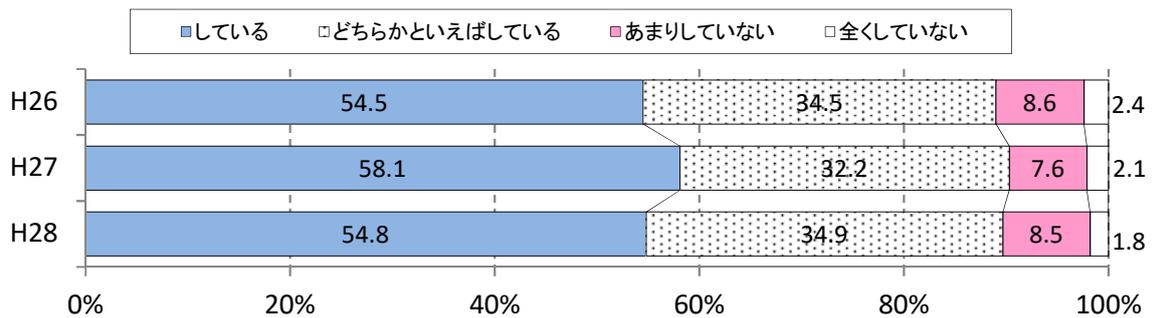
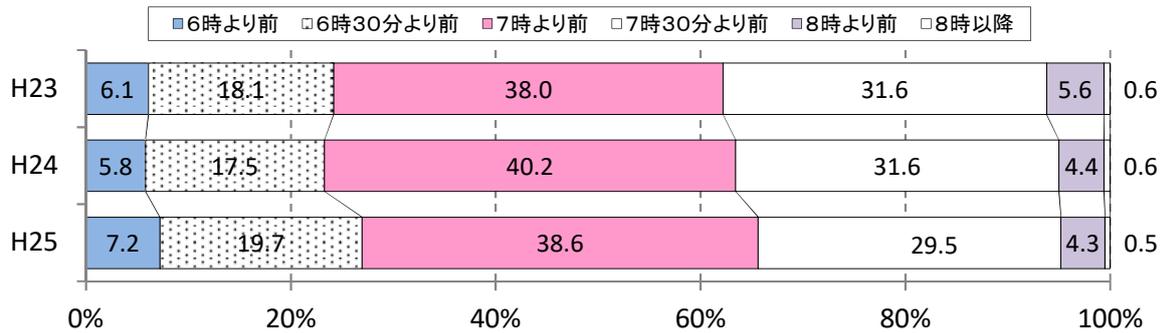
○同じ時刻に寝ることについて、「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童の割合は、増加傾向にある。

## I - 1 - 1 就寝時刻（中学校3年）



○同じ時刻に寝ることについて、「している」, 「どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合は、75%以上で推移している。

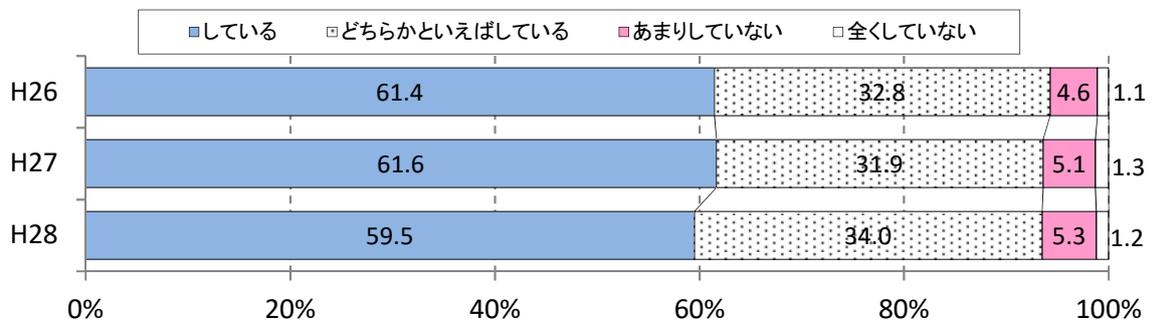
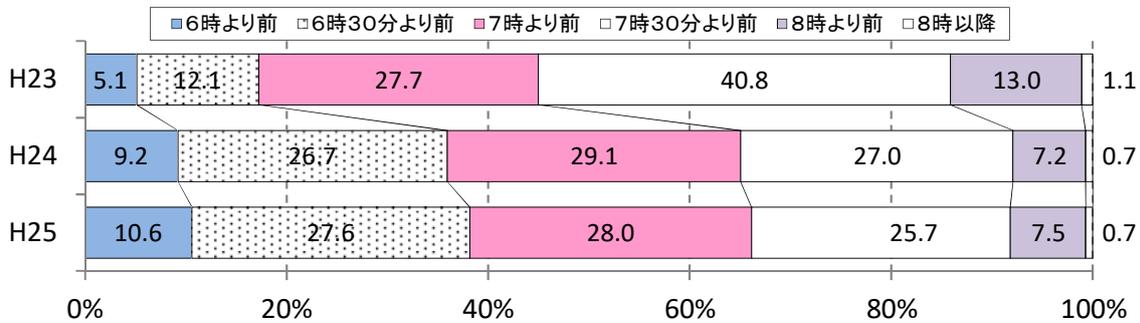
## I-1-2 起床時刻（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○同じくらいの時刻に起きることについて、「している」、「どちらかといえばしている」と回答した児童の割合は、90%前後で推移している。

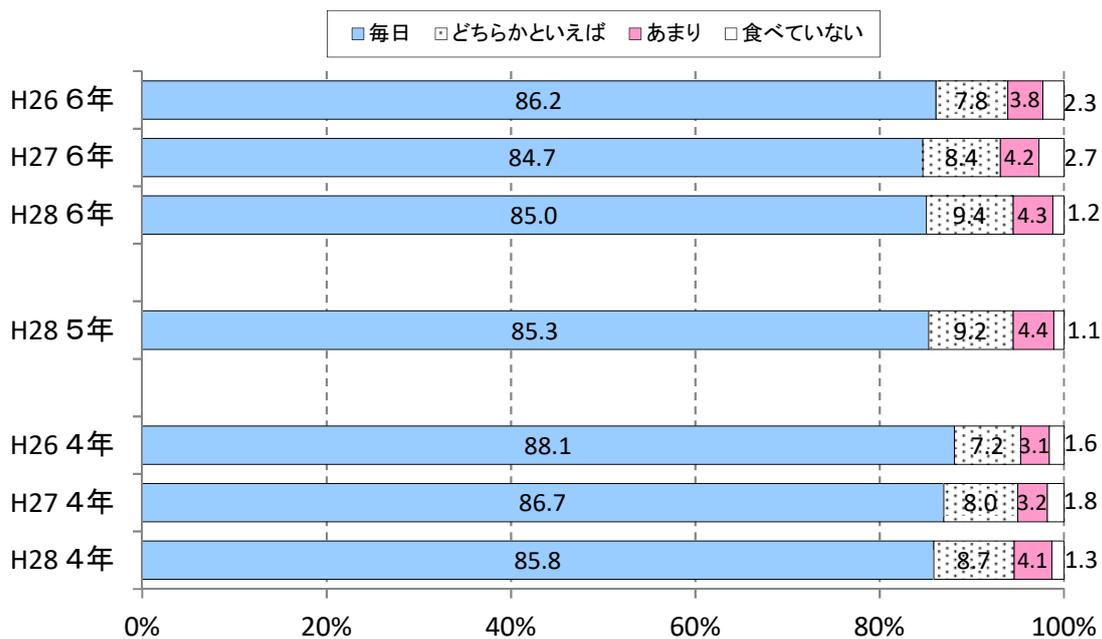
## I-1-2 起床時刻（中学校3年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○同じくらいの時刻に起きることについて、「している」、「どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合は、90%以上で推移している。

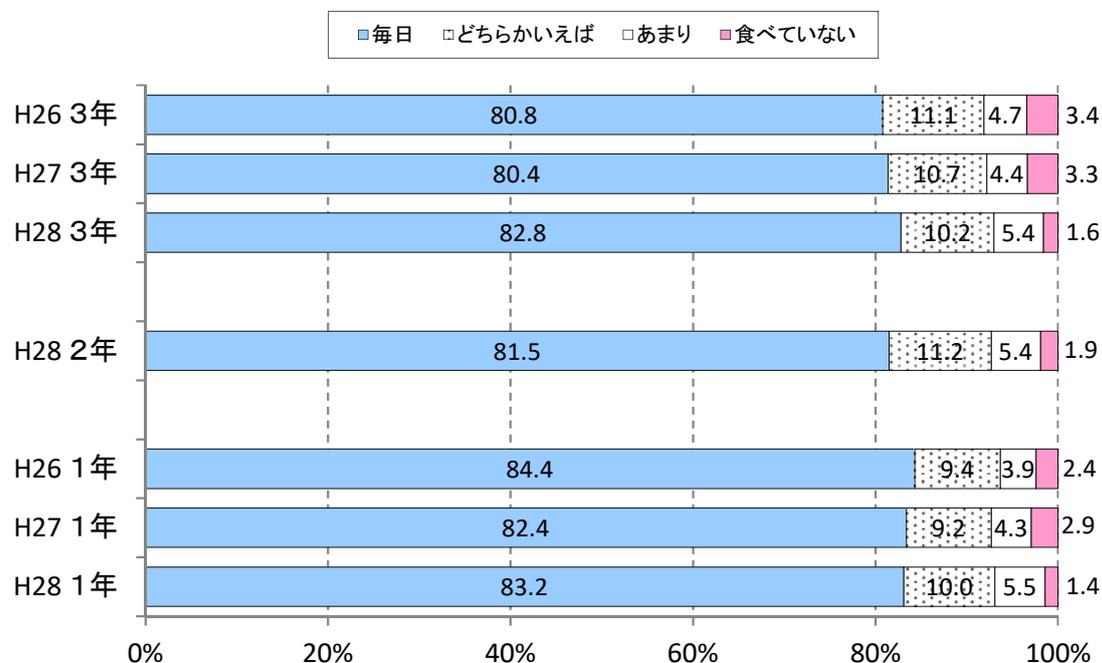
### I-1-3 朝食の摂取（小学校6・5・4年）



「生活習慣・学習定着度調査」  
 ※H28の小6は、「全国学力・学習状況調査」の数値

○朝食について、「毎日食べる」と回答した児童の割合は、小学校6年、小学校4年とも、85%前後で推移している。（H28から小5は調査実施）

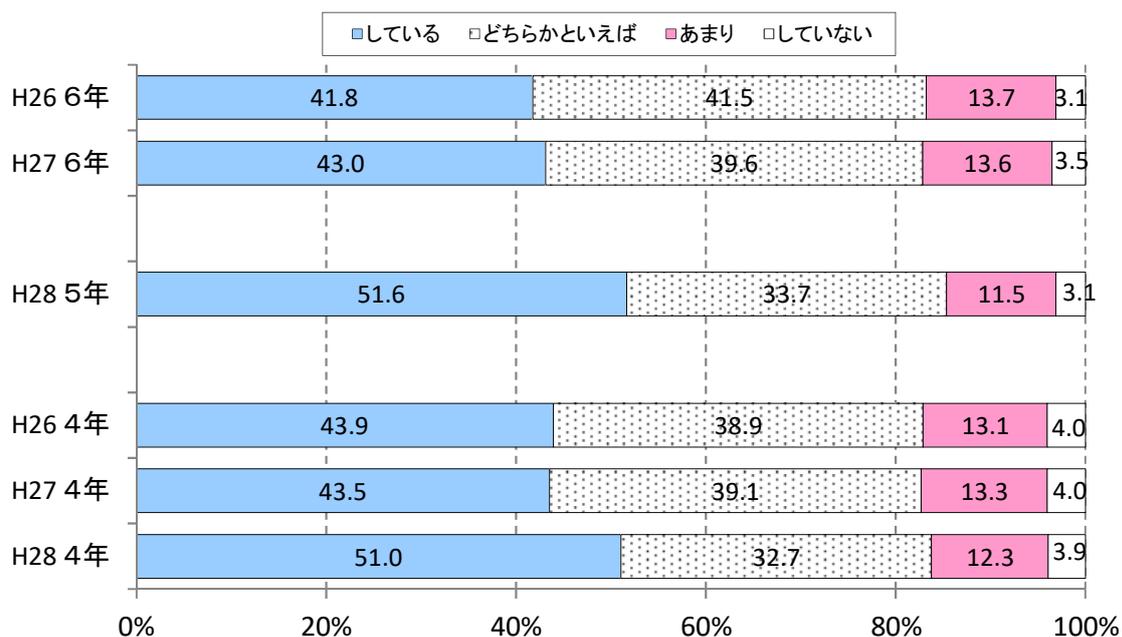
### I-1-3 朝食の摂取（中学校3・2・1年）



「生活習慣・学習定着度調査」  
 ※H28の中3は、「全国学力・学習状況調査」の数値

○朝食について、「毎日食べる」と回答した生徒の割合は、中学校3年、中学校1年とも、80%以上で推移している。（H28から中2は調査実施）

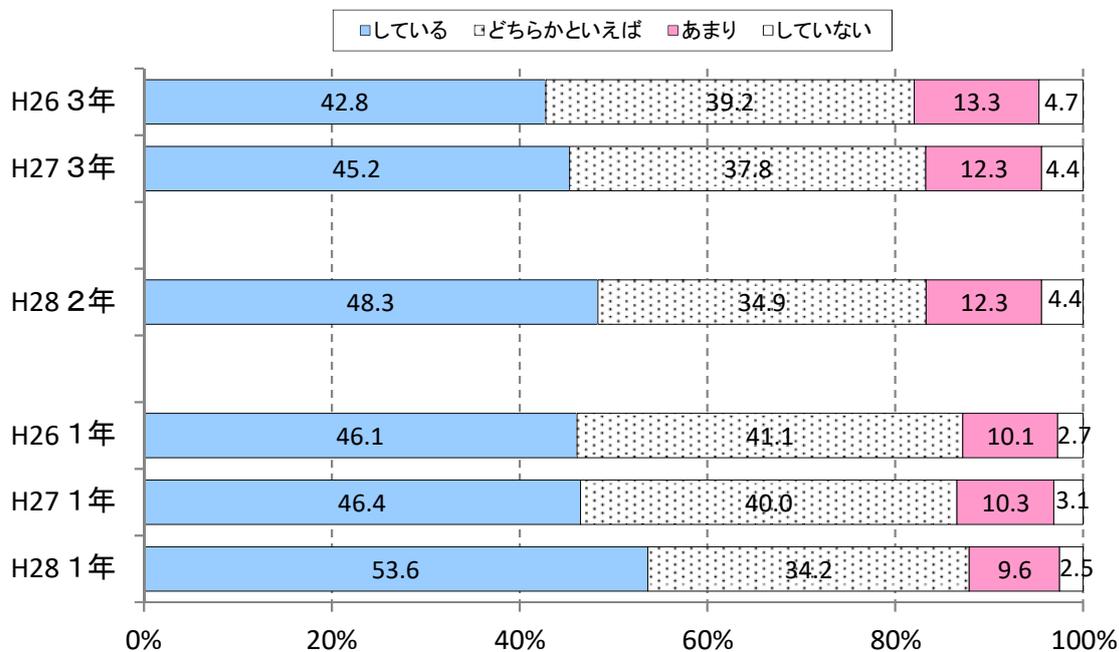
### I-1-4 近所の人へのあいさつ（小学校6・5・4年）



「生活習慣・学習定着度調査」

○平成28年度は、近所の人へのあいさつについて、「している」と回答した小学校4年の割合は、大幅に増加している。（H28から小5は調査実施、小6は調査対象外）

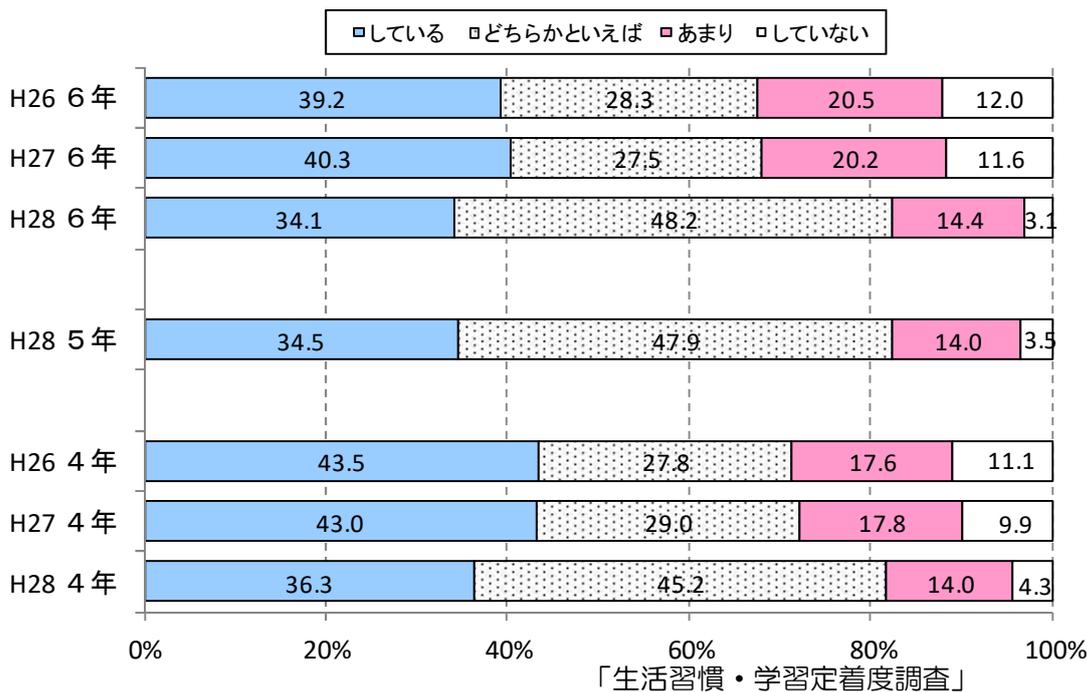
### I-1-4 近所の人へのあいさつ（中学校3・2・1年）



「生活習慣・学習定着度調査」

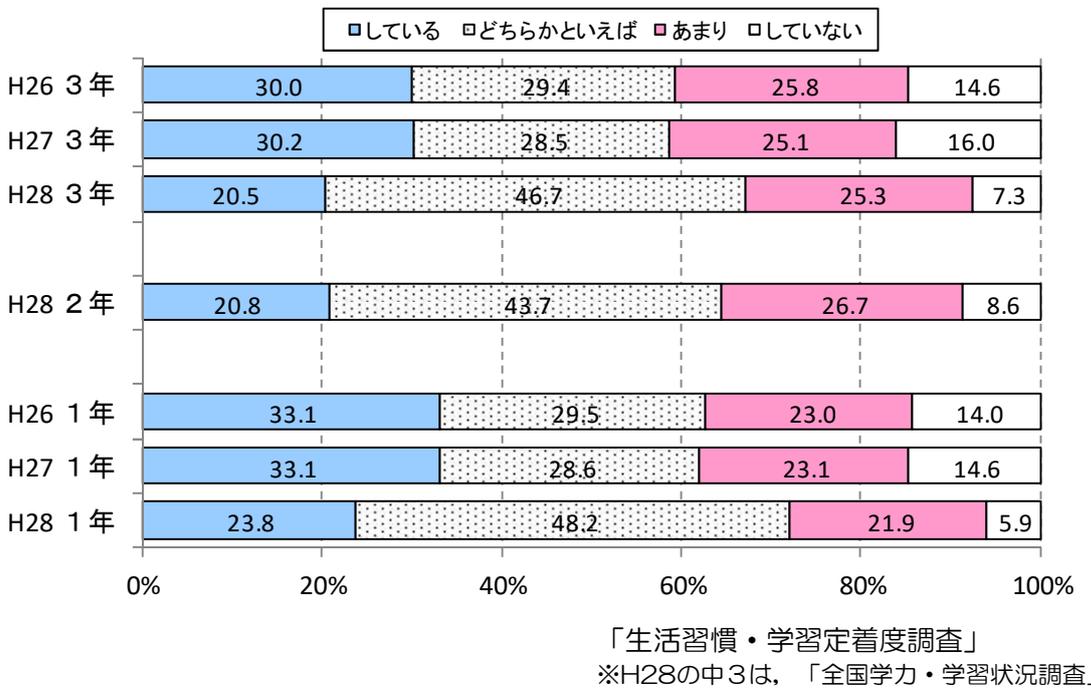
○平成28年度は、近所の人へのあいさつについて、「している」と回答した中学校1年の割合は、大幅に増加している。（H28から中2は調査実施、中3は調査対象外）

## I-1-5 家の手伝い（小学校6・5・4年）



○家の手伝いを「している」、「どちらかといえばしている」と回答した児童の割合は、小学校4年・6年ともに大幅に増加している。（小5は、H28から調査実施）

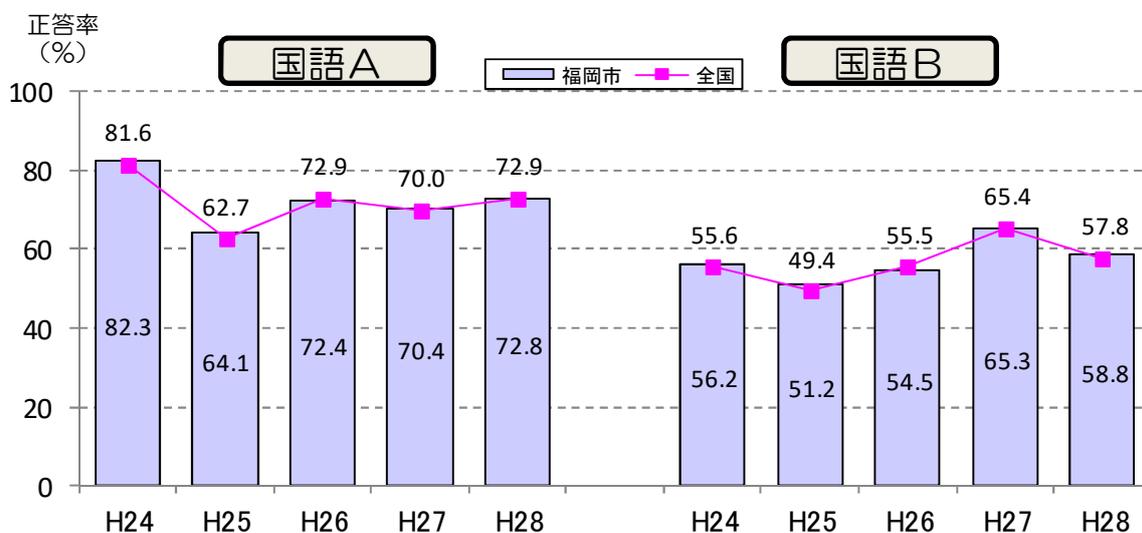
## I-1-5 家の手伝い（中学校3・2・1年）



○家の手伝いを「している」、「どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合は、中学校1年・3年ともに大幅に増加している。（中2は、H28から調査実施）

## I-2 学力

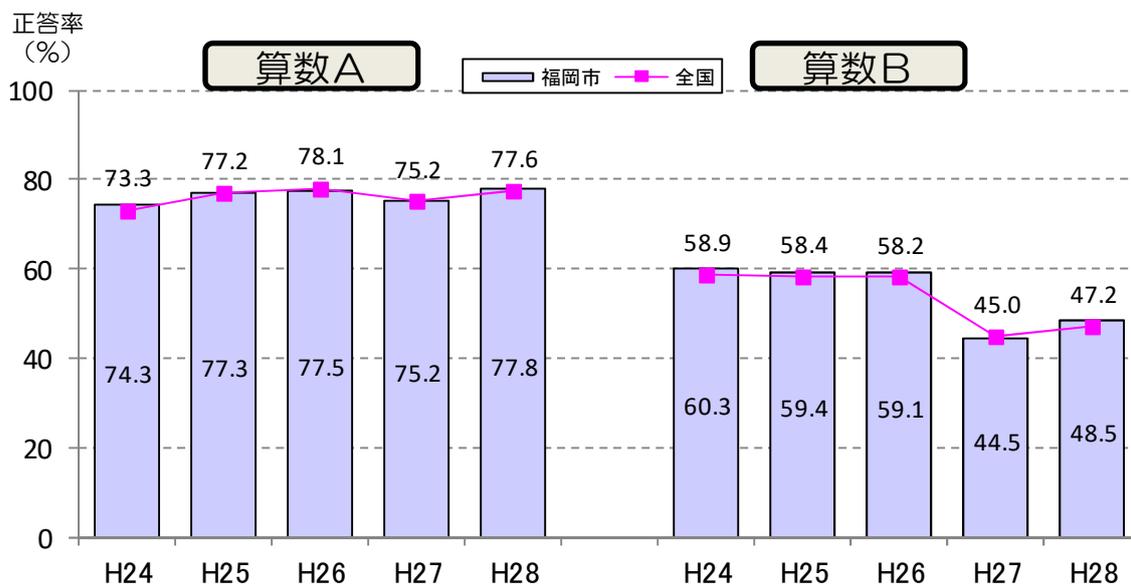
### I-2-1 国語A・Bにおける平均正答率の推移（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○平成28年度の国語Aの正答率は全国平均を0.1ポイント下回り、国語Bの正答率は全国平均を1ポイント上回っている。

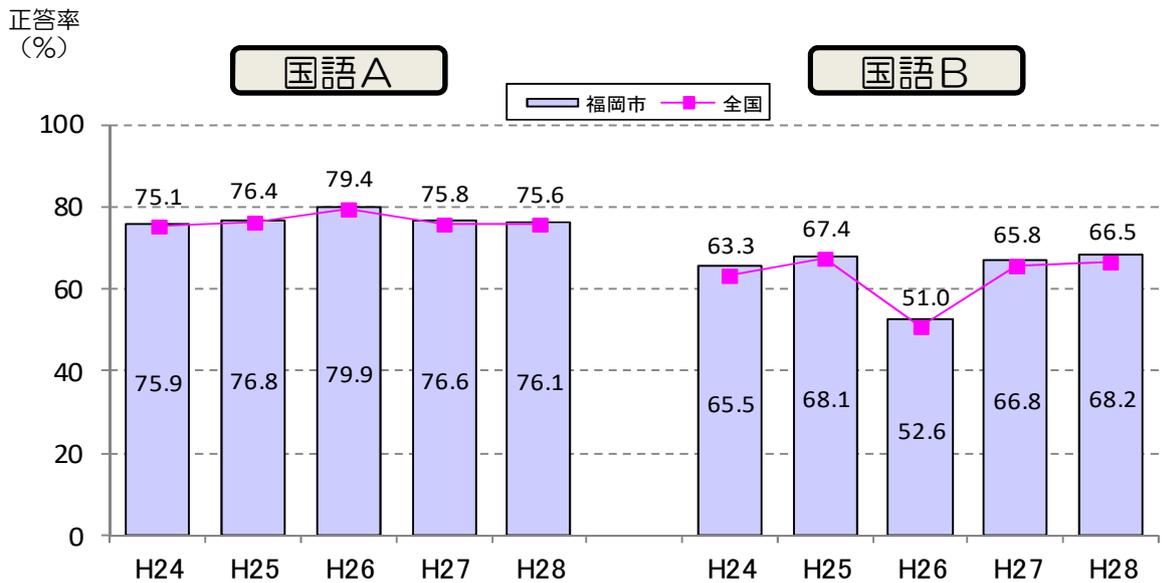
### I-2-1 算数A・Bにおける平均正答率の推移（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○平成28年度の算数Aの正答率は全国平均を0.2ポイント上回り、算数Bの正答率は全国平均を1.3ポイント上回っている。

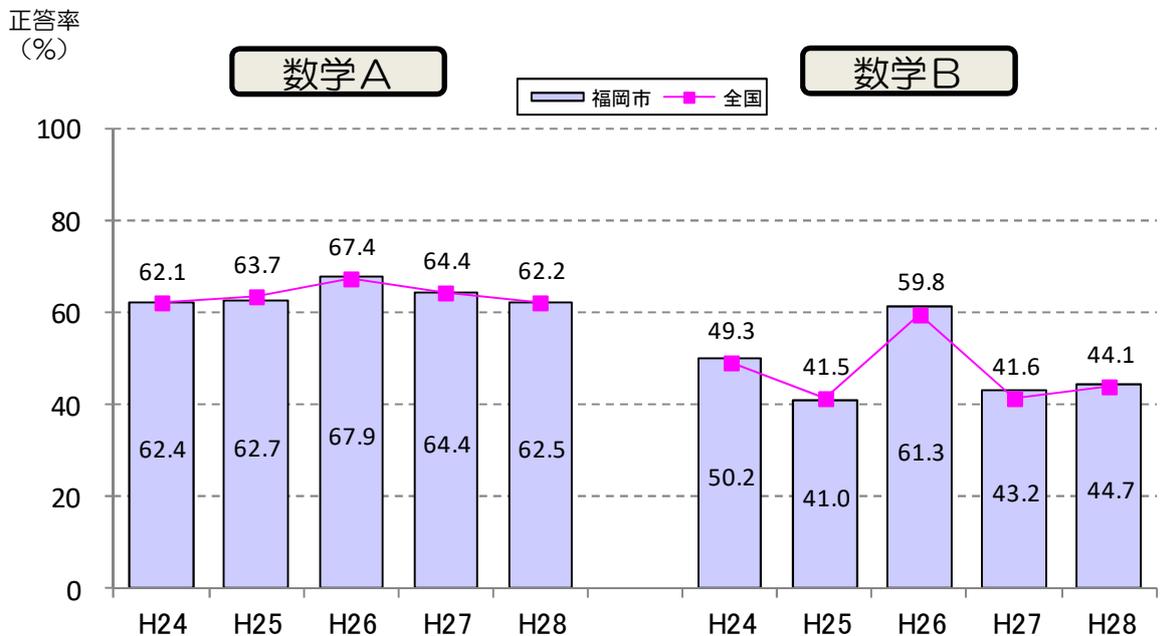
## I-2-2 国語A・Bにおける平均正答率の推移（中学校3年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○平成28年度の国語Aの正答率は全国平均を0.5ポイント上回り、国語Bの正答率は全国平均を1.7ポイント上回っている。

## I-2-2 数学A・Bにおける平均正答率の推移（中学校3年）

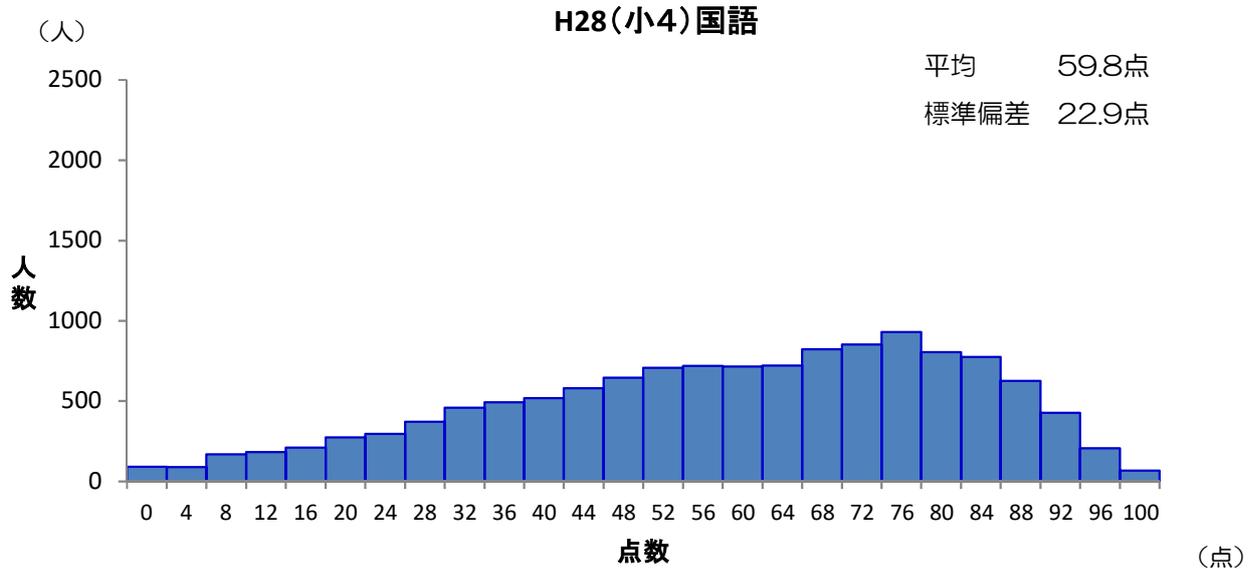


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○平成28年度の数学Aの正答率は全国平均を0.3ポイント上回り、数学Bの正答率は全国平均を0.6ポイント上回っている。

## I-2-3 定着度調査集計結果（小学校4年 国語）

n：12,762人（調査を受けていない児童は除く）

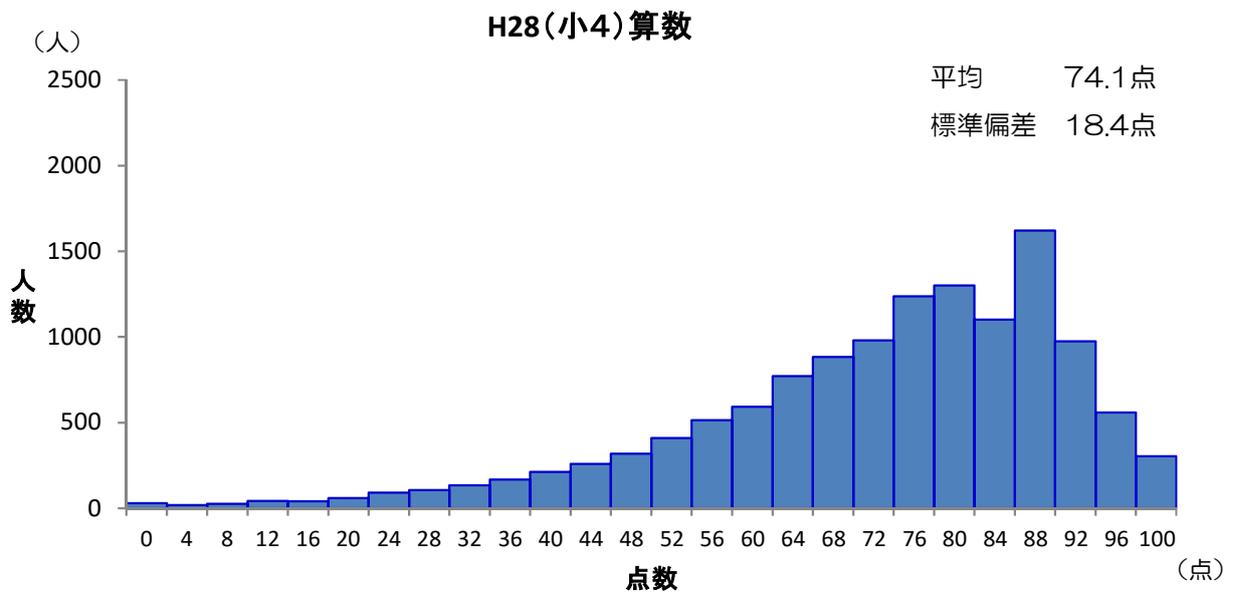


※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満）平成28年度「生活習慣・学習定着度調査」

○国語は、76点前後の児童の割合が最も多い。

## I-2-3 定着度調査集計結果（小学校4年 算数）

n：12,763人（調査を受けていない児童は除く）



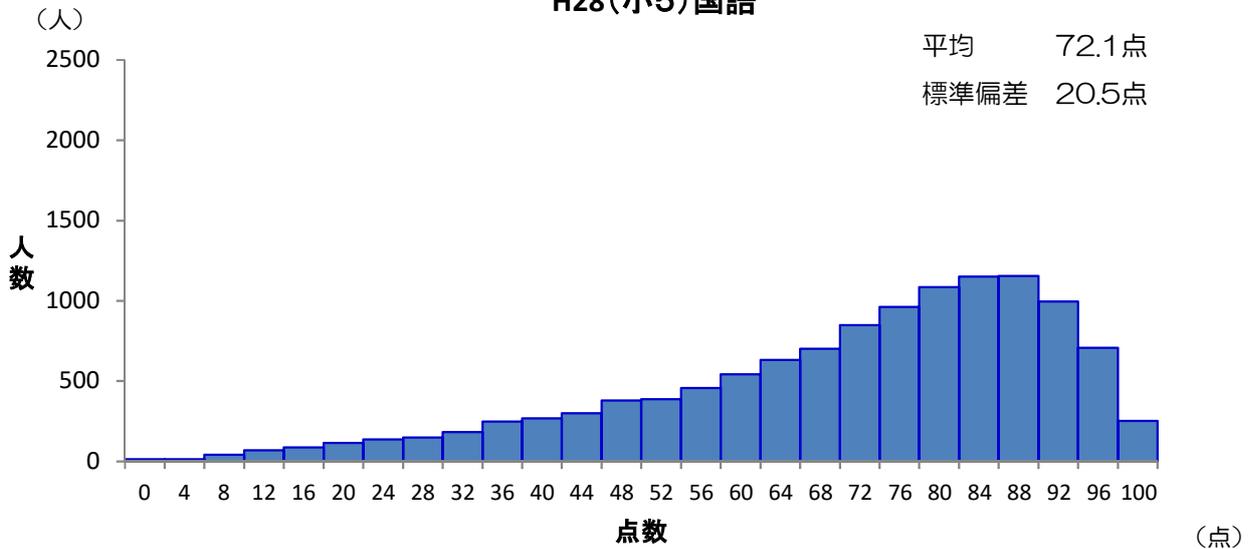
※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満）平成28年度「生活習慣・学習定着度調査」

○算数は、88点前後の児童の割合が最も多い。

## I-2-4 定着度調査集計結果（小学校5年 国語）

n：11,893人（調査を受けていない児童は除く）

### H28(小5)国語



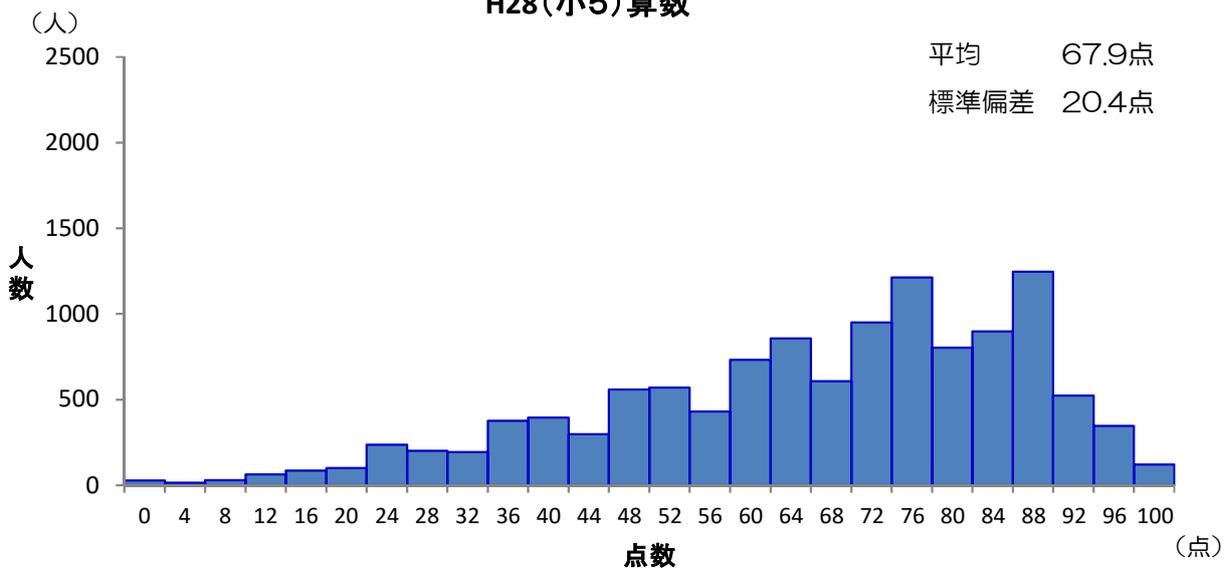
※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満）平成28年度「生活習慣・学習定着度調査」

○国語は、88点前後の児童の割合が最も多い。

## I-2-4 定着度調査集計結果（小学校5年 算数）

n：11,888人（調査を受けていない児童は除く）

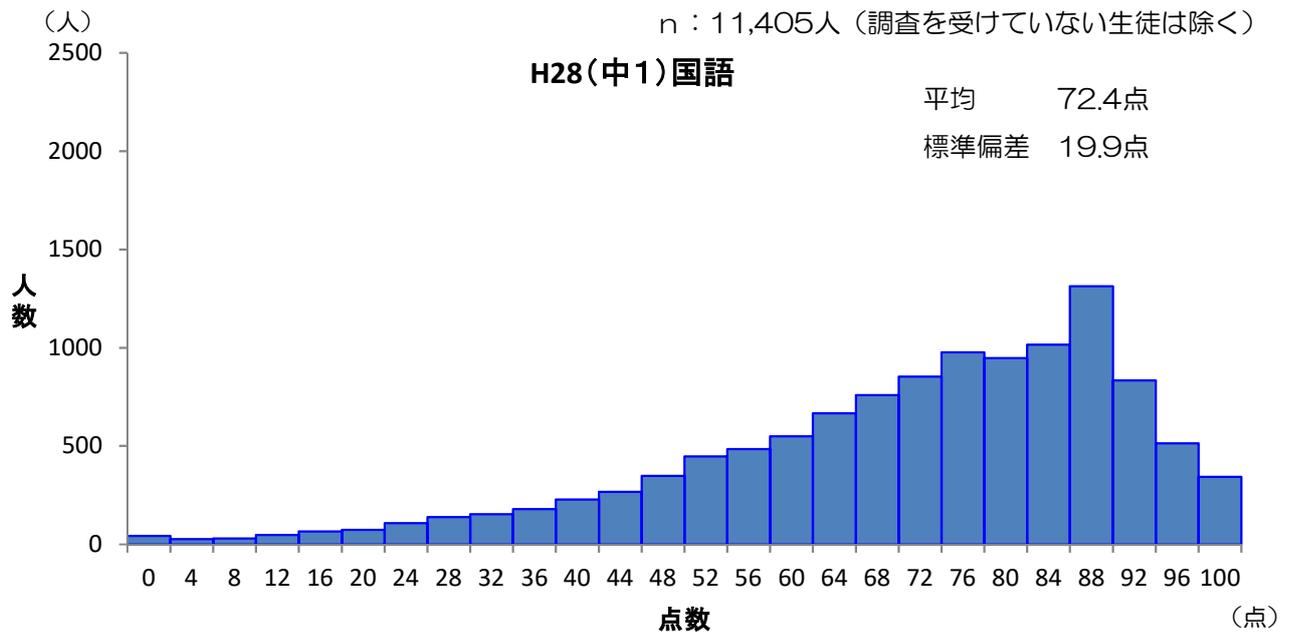
### H28(小5)算数



※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満）平成28年度「生活習慣・学習定着度調査」

○算数は、76点前後の児童の割合が最も多い。

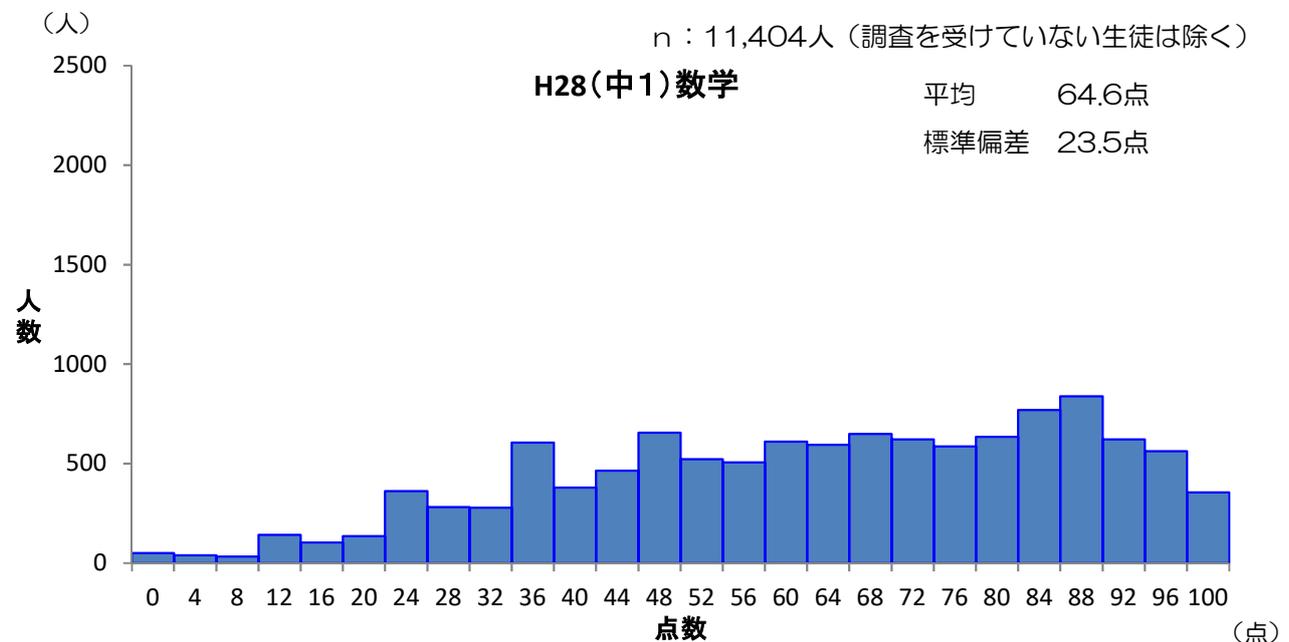
## I-2-5 定着度調査集計結果（中学校1年 国語）



※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成28年度「生活習慣・学習定着度調査」

○国語は、88点前後の生徒の割合が多い。

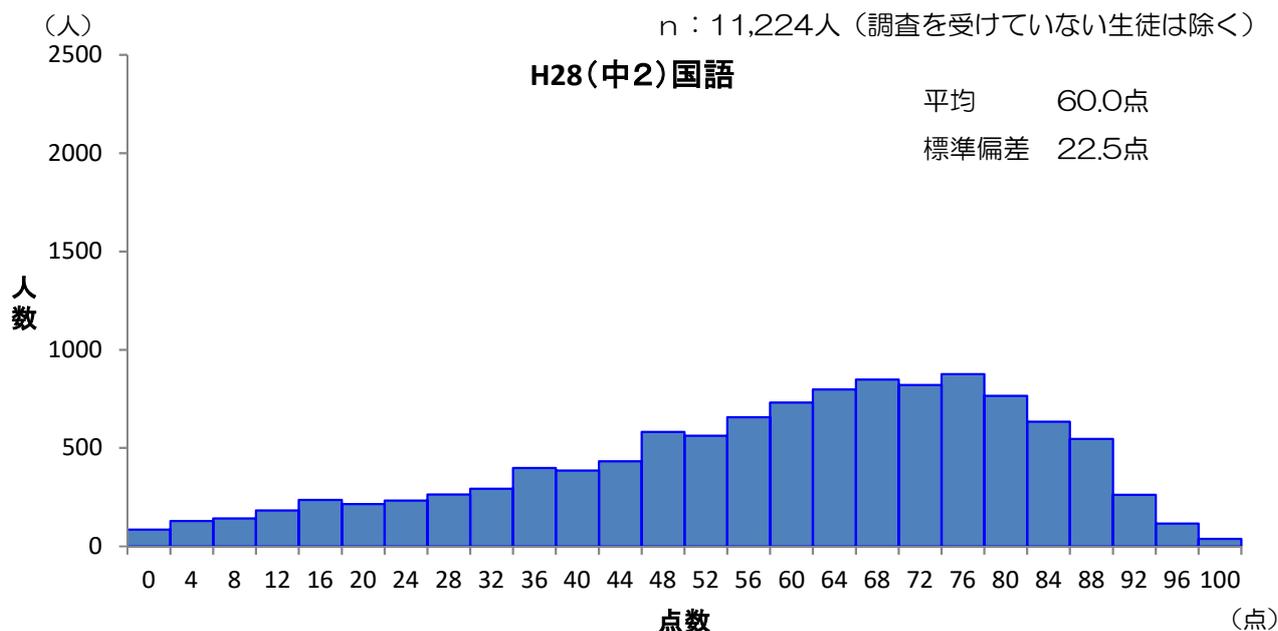
## I-2-5 定着度調査集計結果（中学校1年 数学）



※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成28年度「生活習慣・学習定着度調査」

○数学は、88点前後の生徒の割合が多い。

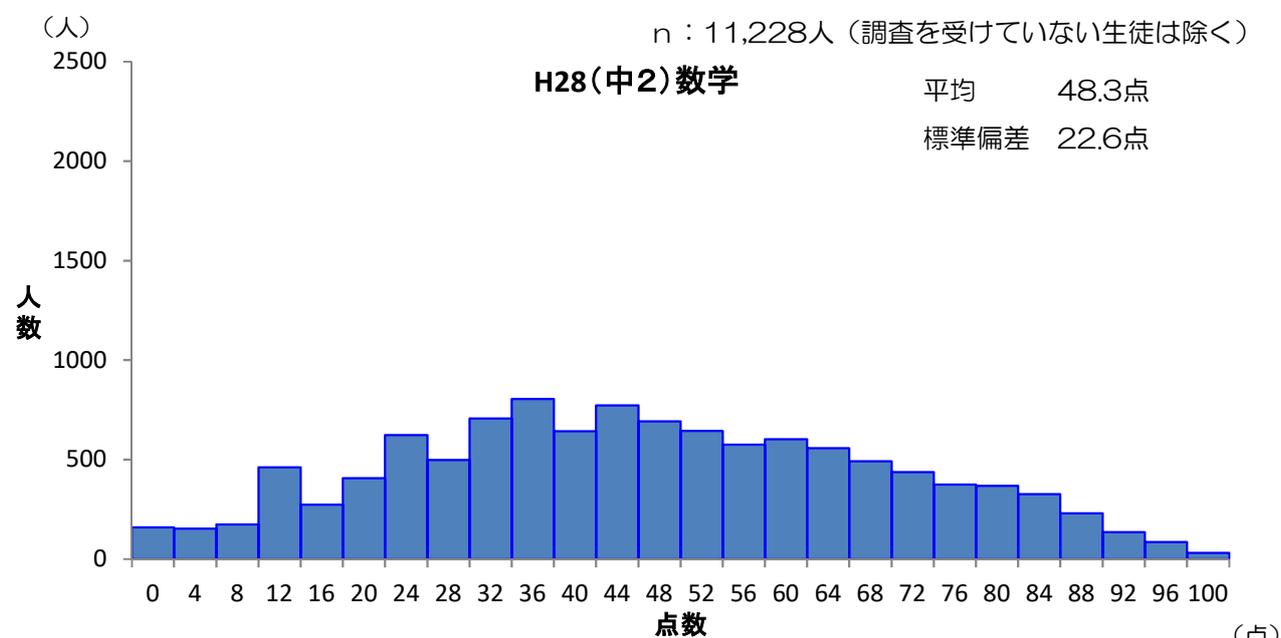
## I-2-6 定着度調査集計結果（中学校2年 国語）



※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成28年度「生活習慣・学習定着度調査」

○国語は、76点前後の生徒の割合が多い。

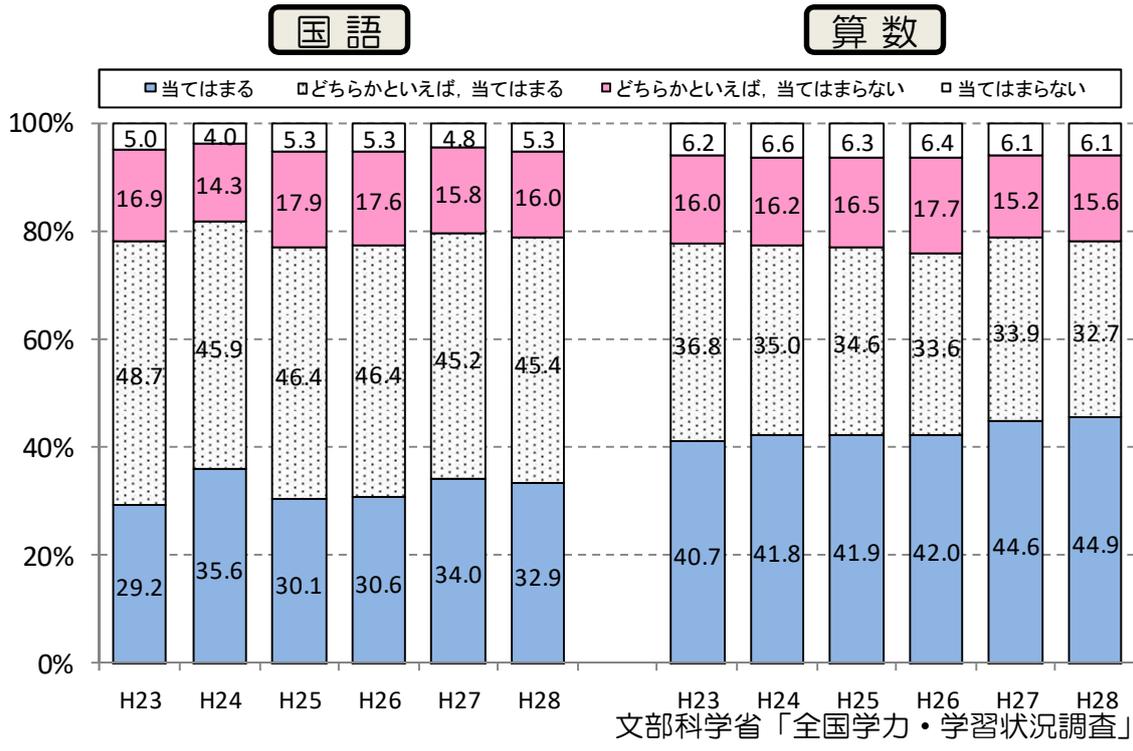
## I-2-6 定着度調査集計結果（中学校2年 数学）



※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成28年度「生活習慣・学習定着度調査」

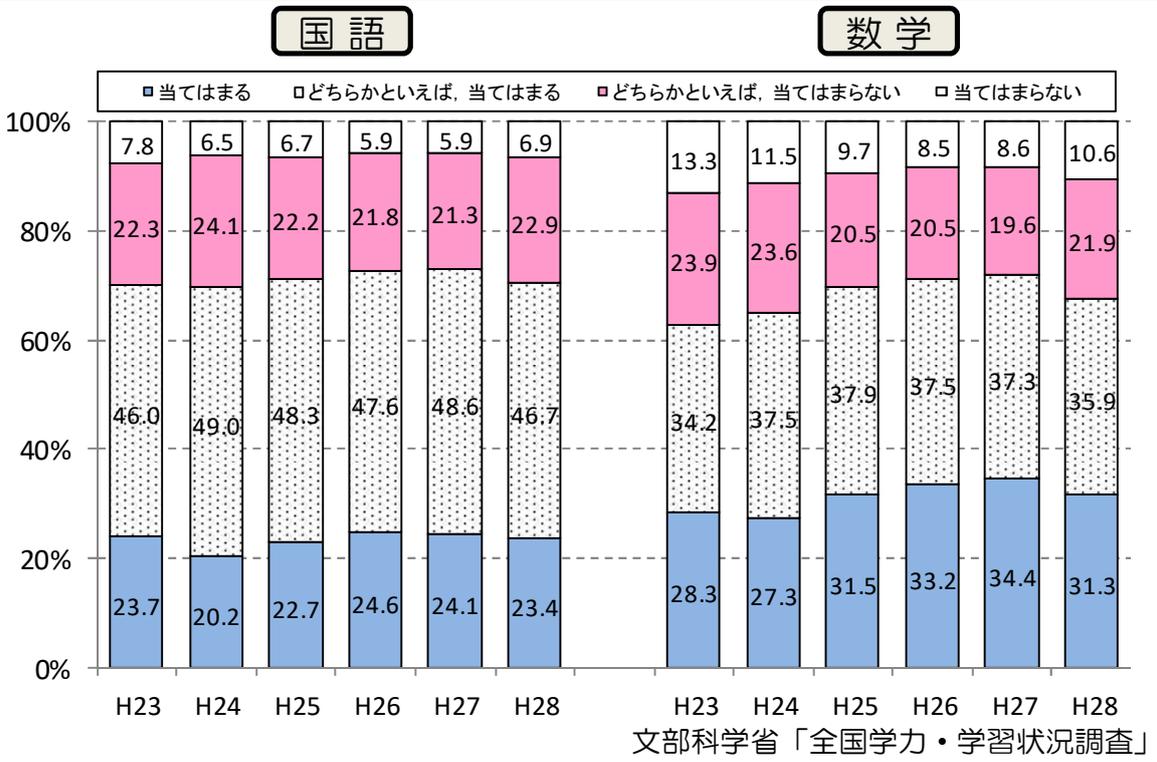
○数学は、36点前後の生徒の割合が多い。

## I-2-7 授業内容の理解（小学校6年）



○授業内容の理解について、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合は、国語、算数ともに80%前後で推移している。

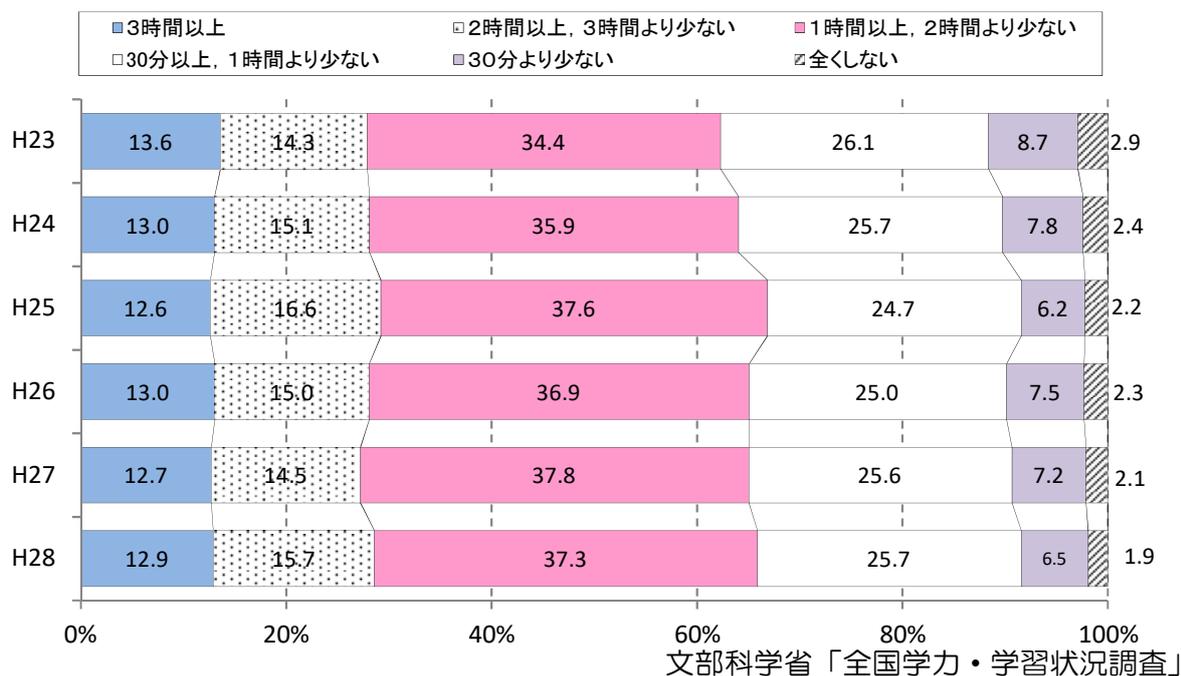
## I-2-7 授業内容の理解（中学校3年）



○授業内容の理解について、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合は、国語・算数ともに70%前後で推移している。

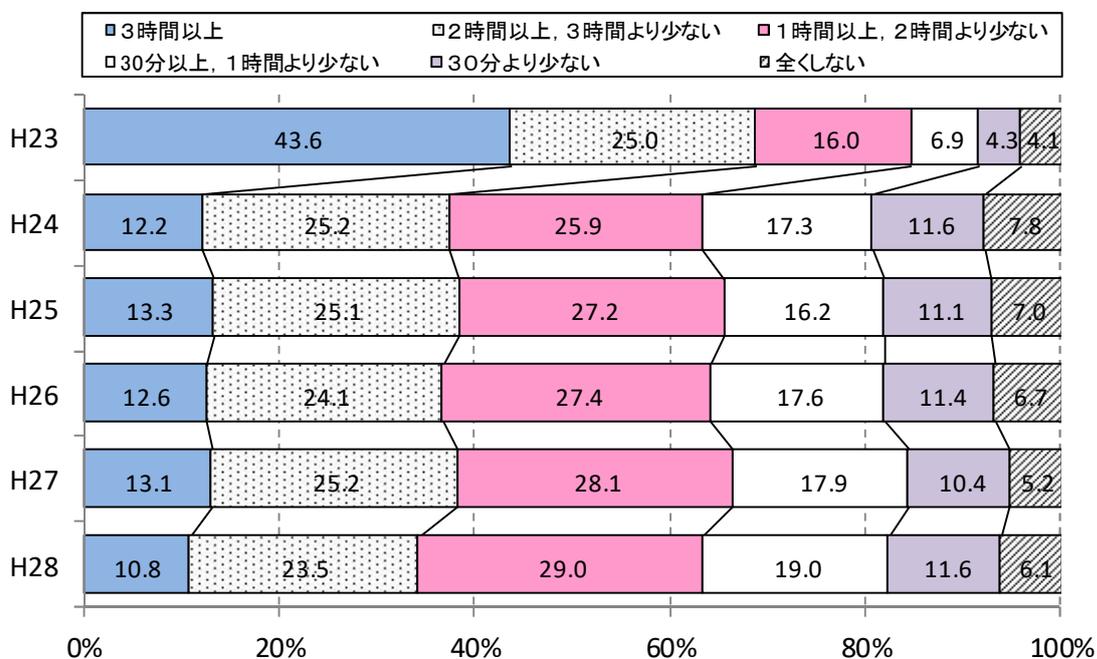
## I-3 学習習慣・家庭学習

### I-3-1 普段（月～金曜日）の勉強時間（小学校6年） ※塾・家庭教師を含む



○「1時間以上勉強する」と回答した児童の割合は、65%前後で推移している。

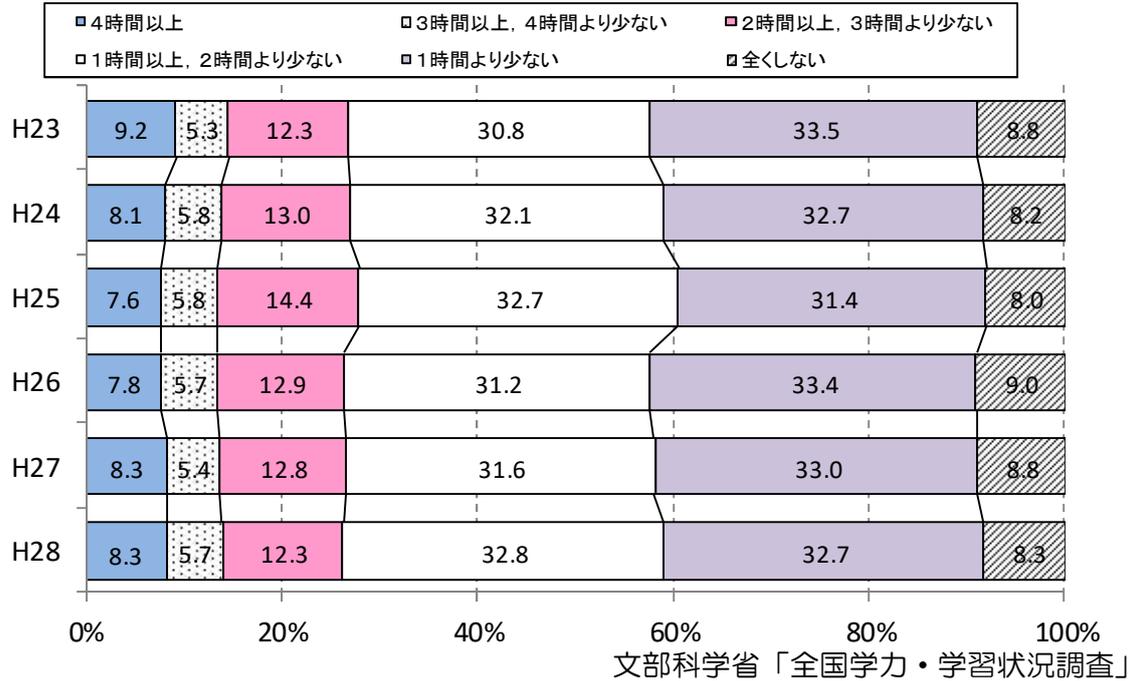
### I-3-1 普段（月～金曜日）の勉強時間（中学校3年） ※塾・家庭教師を含む



○平成23年度（調査時期が異なる）を除き、「1時間以上勉強する」と回答した生徒の割合は、60%以上で推移している。

### I-3-2 土日など学校が休みの日の勉強時間（小学校6年）

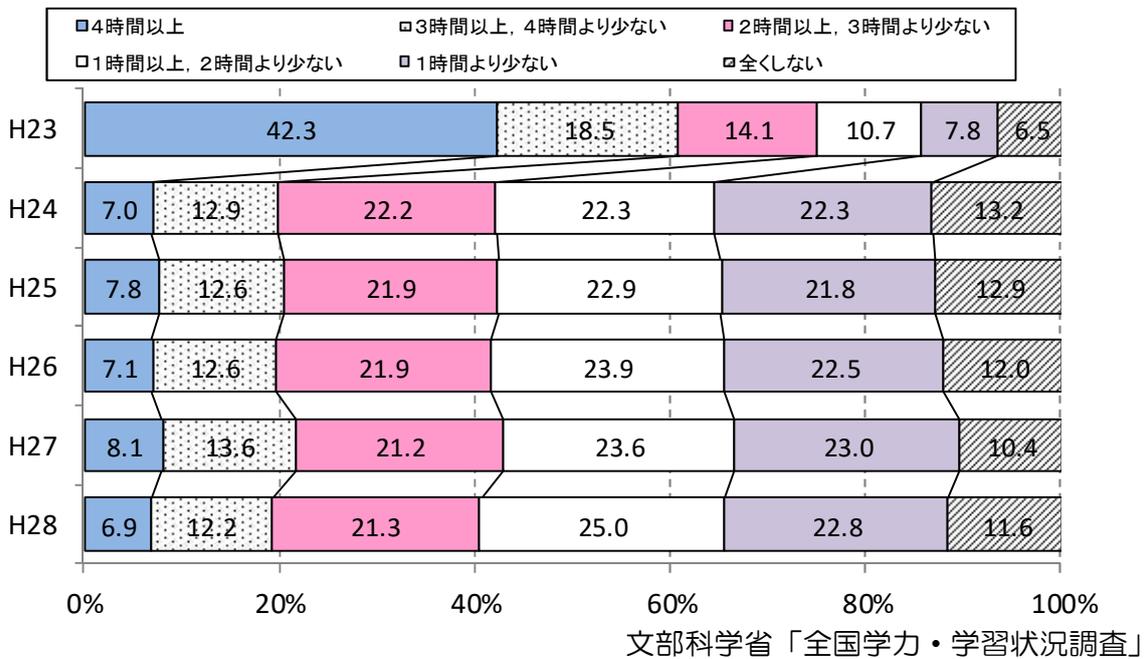
※塾・家庭教師を含む



○学校が休みの日の家庭での勉強時間について、「2時間以上する」と回答した児童の割合は、25%以上で推移している。

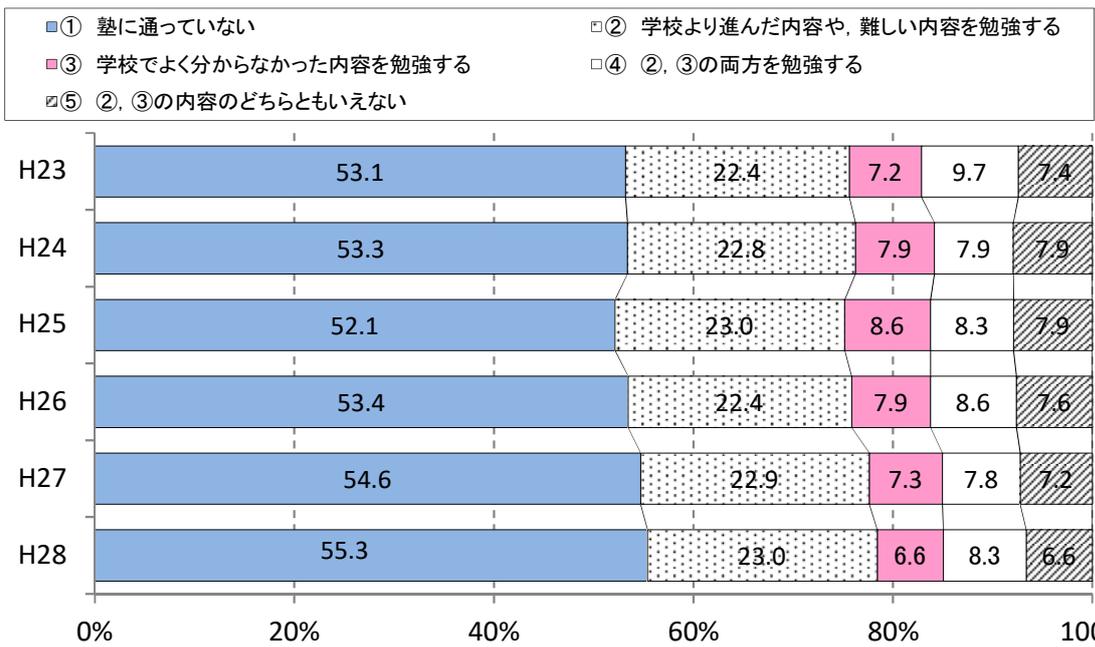
### I-3-2 土日など学校が休みの日の勉強時間（中学校3年）

※塾・家庭教師を含む



○平成23年度（調査時期が異なる）を除き、学校が休みの日の家庭での勉強時間について、「2時間以上する」と回答した生徒の割合は、40%以上で推移している。

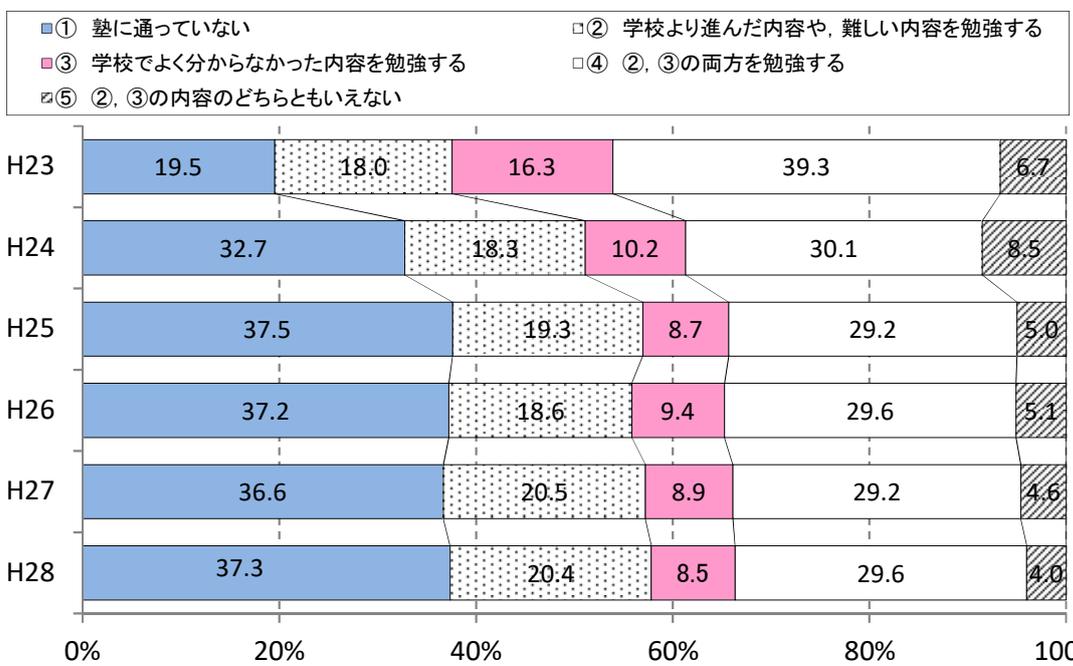
### I-3-3 学習塾（家庭教師を含む）での勉強（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○「塾に通っていない」小学校6年の割合は、50%以上で推移している。

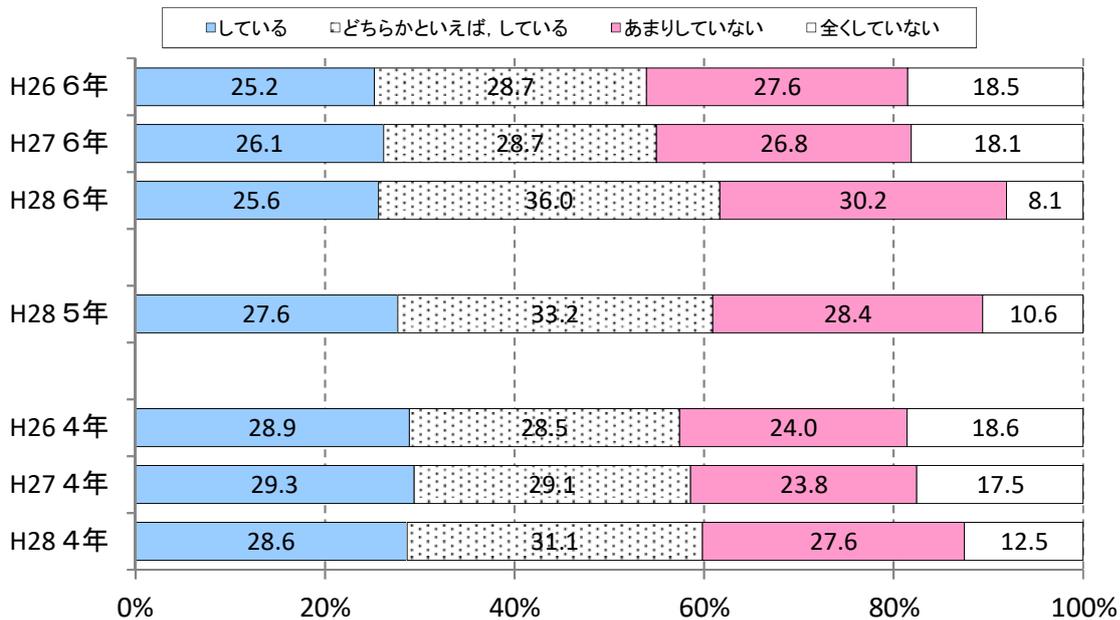
### I-3-3 学習塾（家庭教師を含む）での勉強（中学校3年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○平成23年度（調査時期が異なる）を除き、「塾に通っていない」と回答した生徒の割合は、35%前後で推移している。

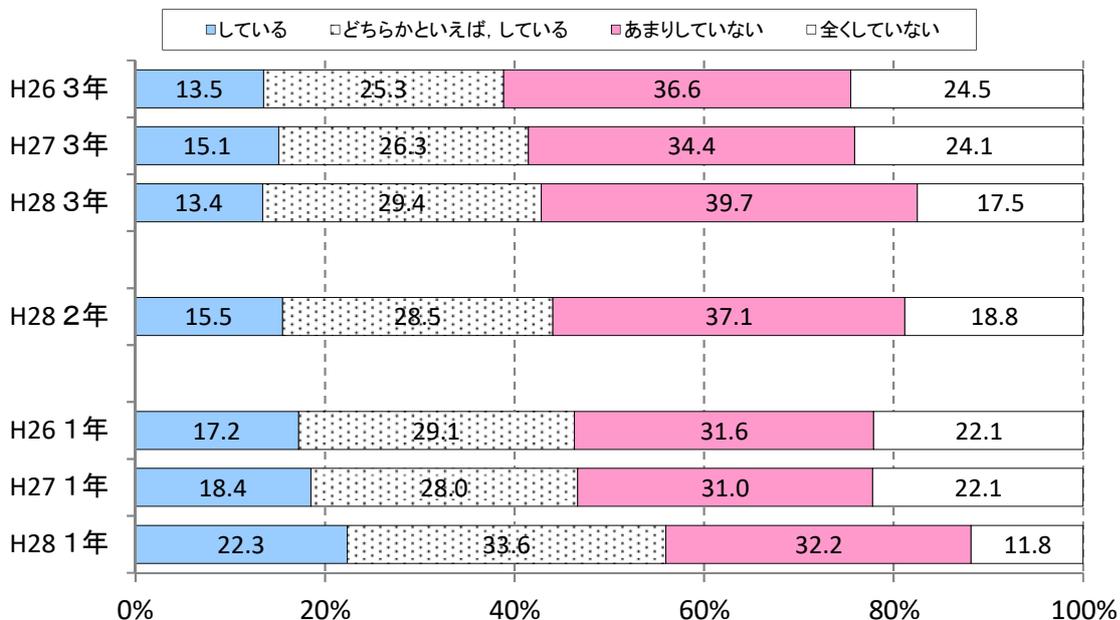
### I-3-4 計画的な家庭学習（小学校6・5・4年）



「生活習慣・学習定着度調査」  
 ※H28の小6は、「全国学力・学習状況調査」の数値

○「自分で計画を立てて、家庭で勉強している」、「どちらかといえばしている」と回答した児童の割合は、小学校6年は増加し、小学校4年は増加傾向にある。（小5は、H28から調査実施）

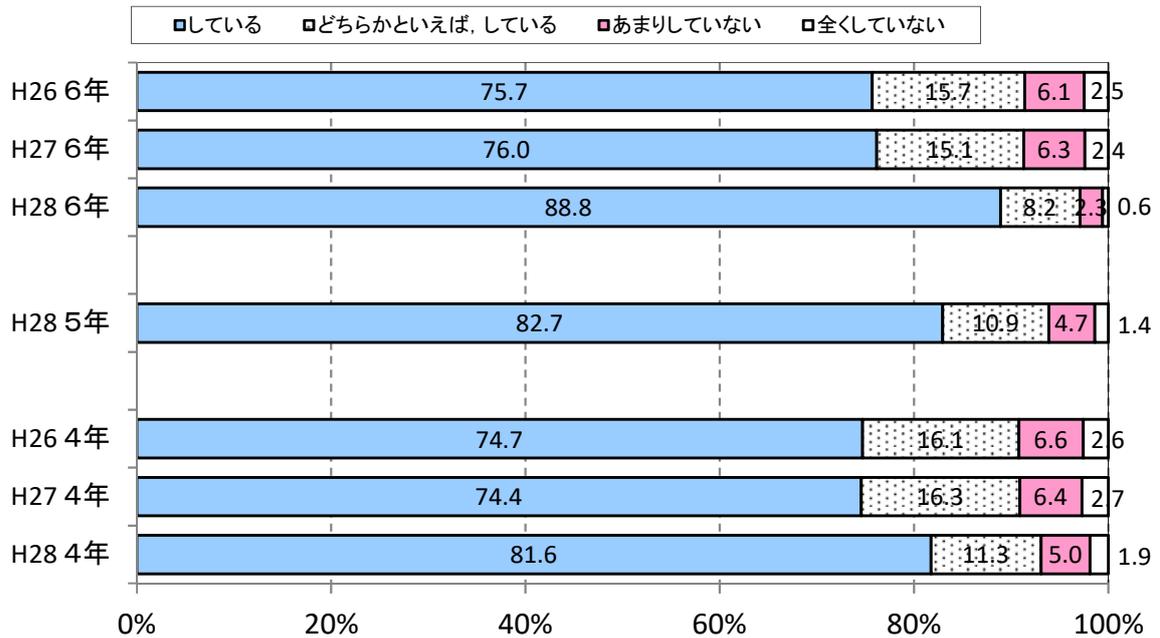
### I-3-4 計画的な家庭学習（中学校3・2・1年）



「生活習慣・学習定着度調査」  
 ※H28の中3は、「全国学力・学習状況調査」の数値

○「自分で計画を立てて、家庭で勉強している」、「どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合は、中学校3年は増加傾向にあり、中学校1年は大幅に増加している。（中2は、H28から調査実施）

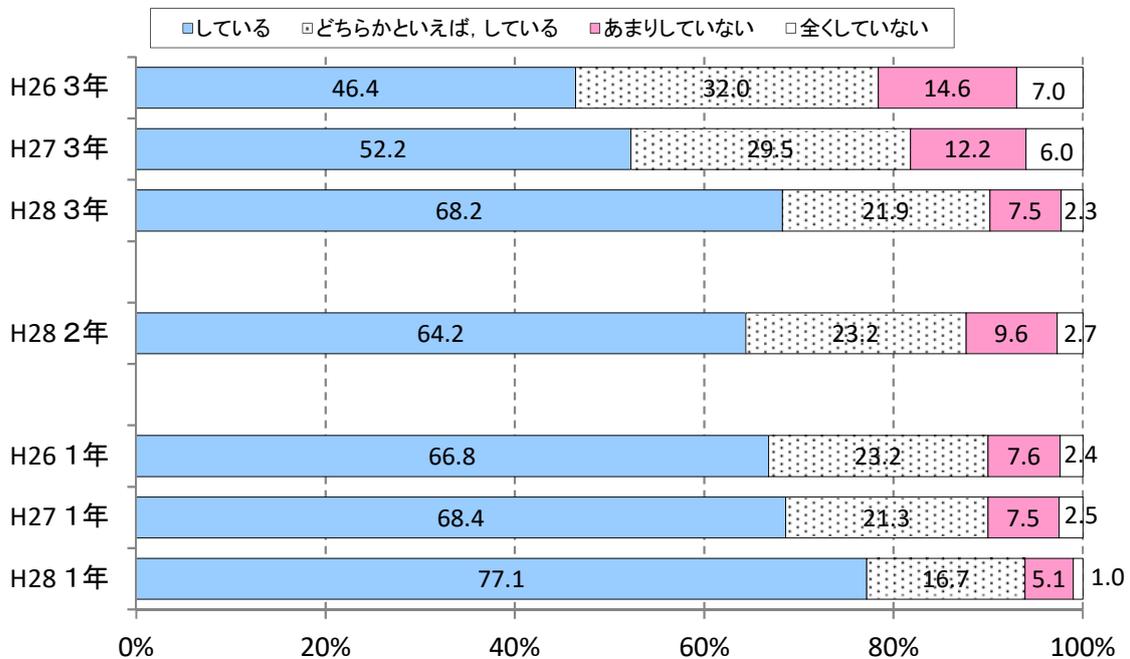
### I-3-5 宿題（小学校6・5・4年）



「生活習慣・学習定着度調査」  
 ※H28の小6は、「全国学力・学習状況調査」の数値

○「家庭で学校の宿題をしている」と回答した児童の割合は、小学校6年、小学校4年ともに増加している。（小5は、H28から調査実施）

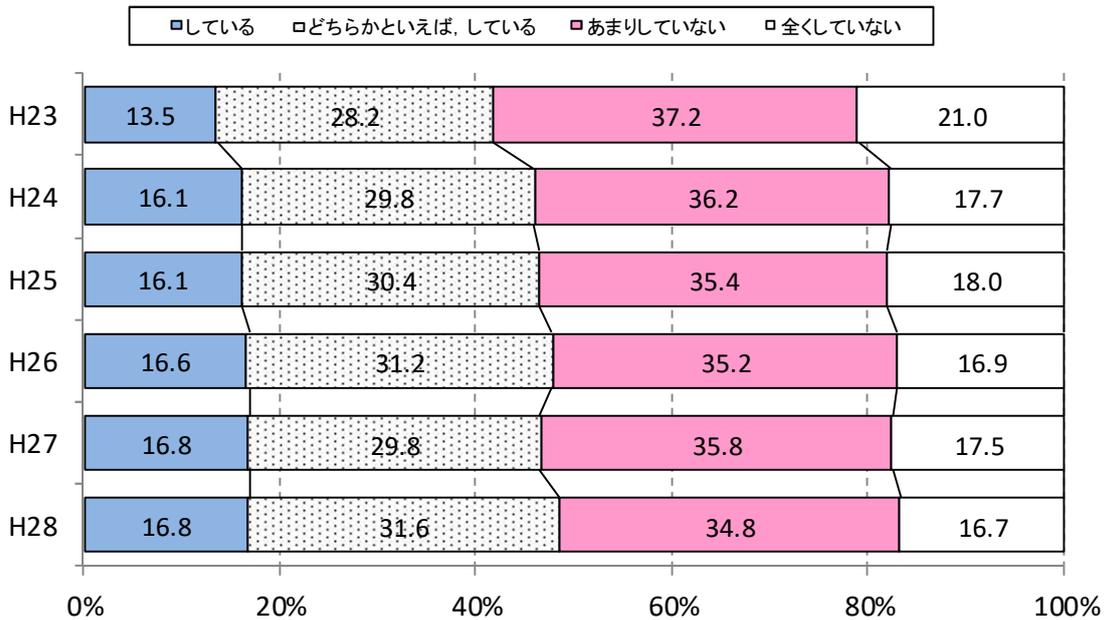
### I-3-5 宿題（中学校3・2・1年）



「生活習慣・学習定着度調査」  
 ※H28の中3は、「全国学力・学習状況調査」の数値

○「家庭で学校の宿題をしている」と回答した生徒の割合は、中学校3年、中学校1年ともに大幅に増加している。（中2は、H28から調査実施）

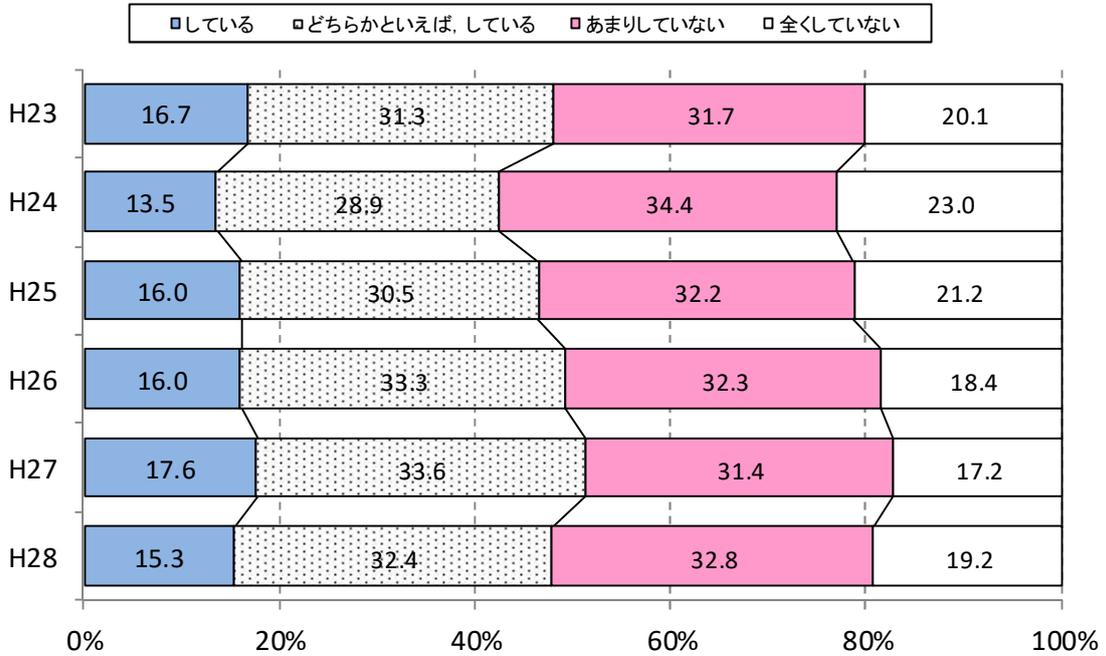
### I-3-6 授業の復習（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○家庭で学校の授業の復習を「している」「どちらかといえば、している」と回答した小学校6年の割合は、やや増加傾向にある。

### I-3-6 授業の復習（中学校3年）



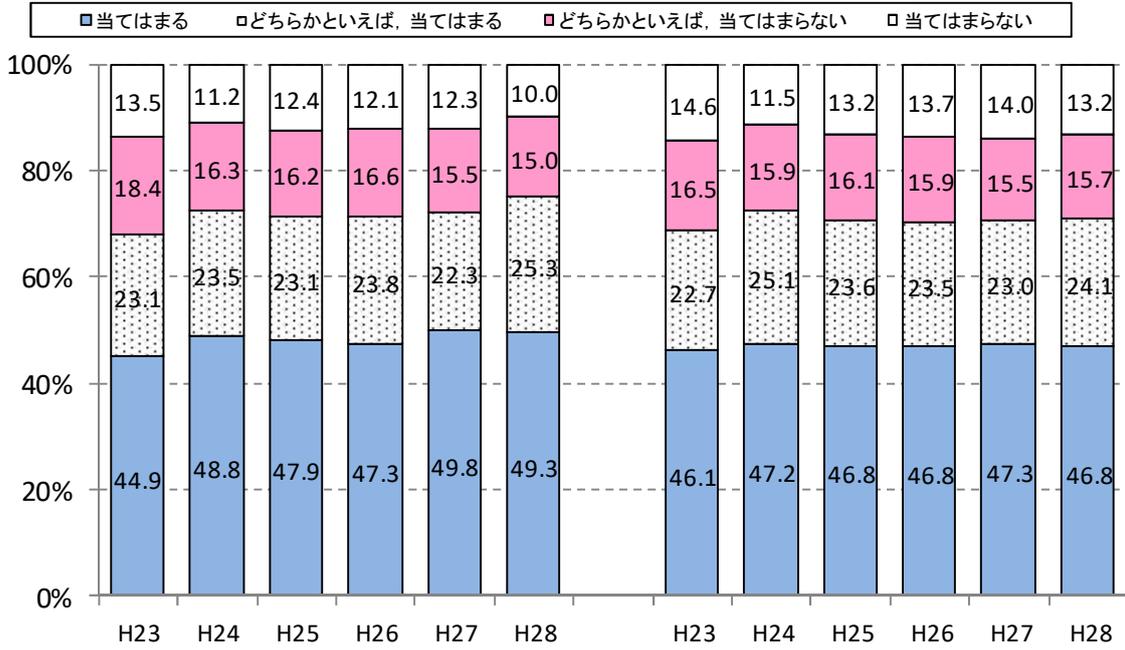
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○家庭で学校の授業の復習を「している」「どちらかといえば、している」と回答した中学校3年の割合は、50%前後で推移している。

# I-3-7 読書

小6

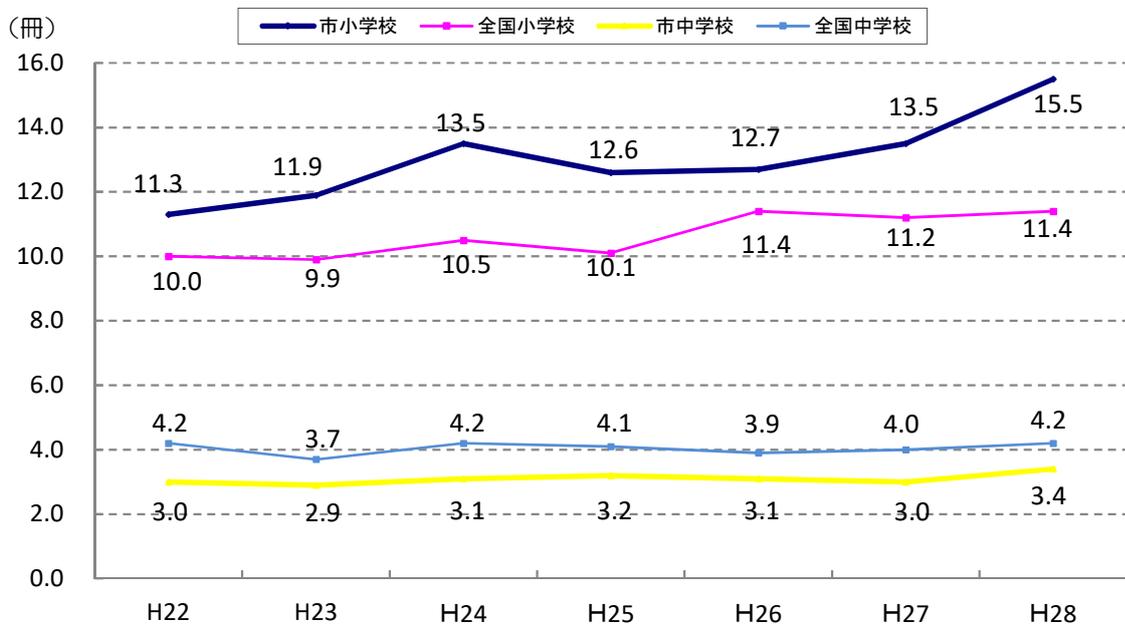
中3



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○「読書が好き」であることについて、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学校6年、中学校3年の割合は、70%前後で推移している。

# I-3-8 1か月の平均読書冊数（小・中学校）

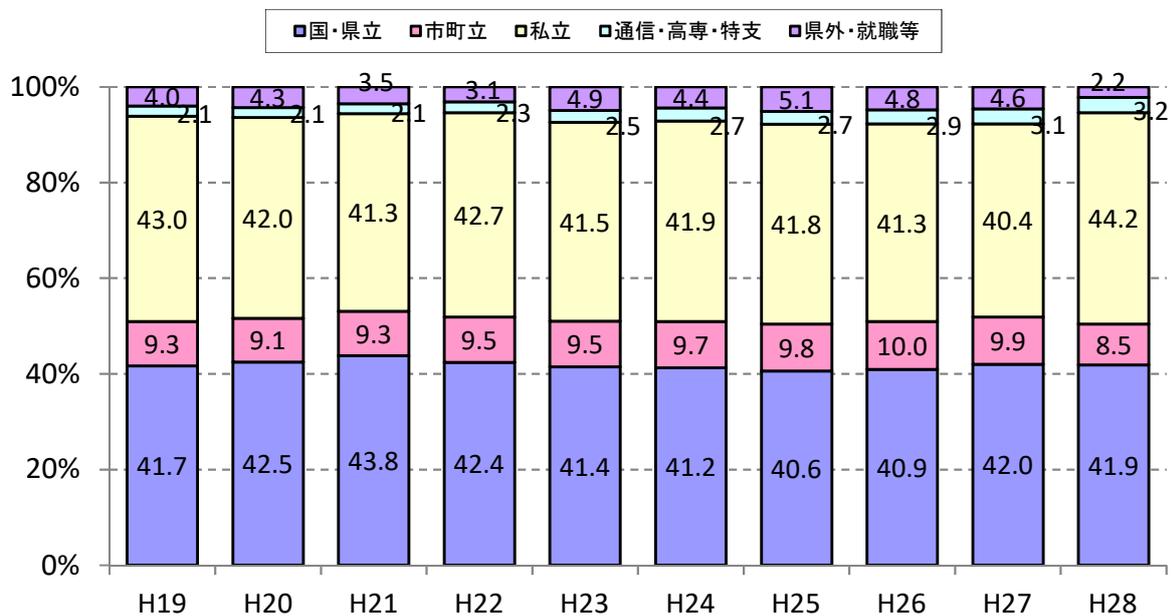


福岡市教育委員会調査

○平成28年11月の調査では、本市小学校は前年度と比べて2冊増加し、中学校は、0.4冊増加している。※全国の値は、全国学校図書館協議会による「第62回学校読書調査」（平成28年5月）の結果。

## I-4 進路状況

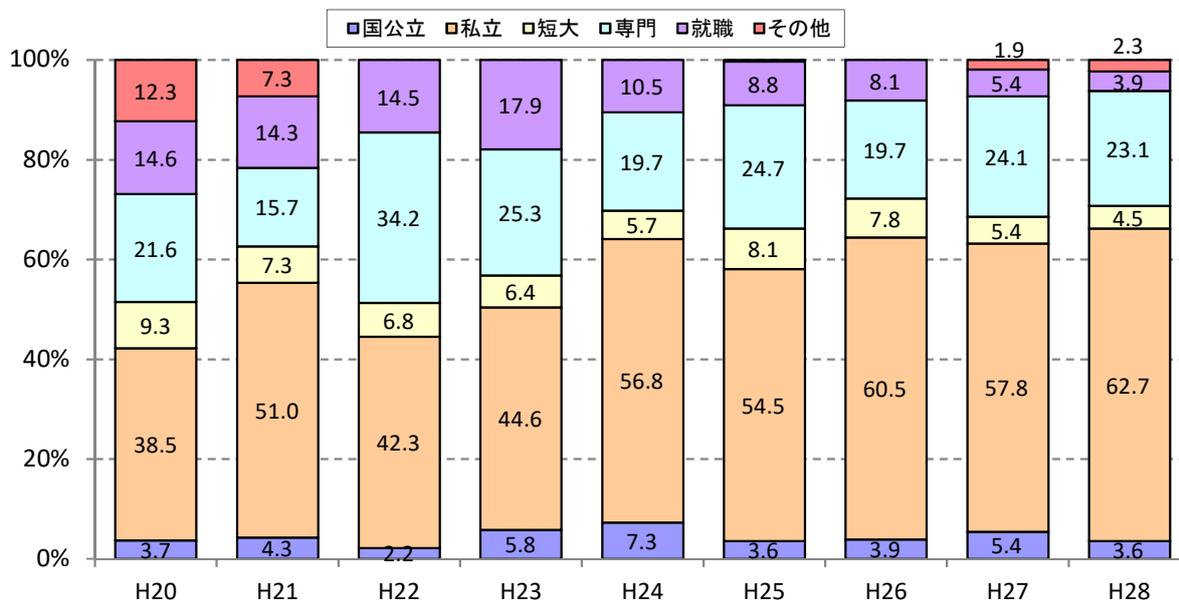
### I-4-1 中学校卒業者の進路状況



文部科学省「学校基本調査」

○中学校卒業者の進路状況に、大きな変化は見られない。

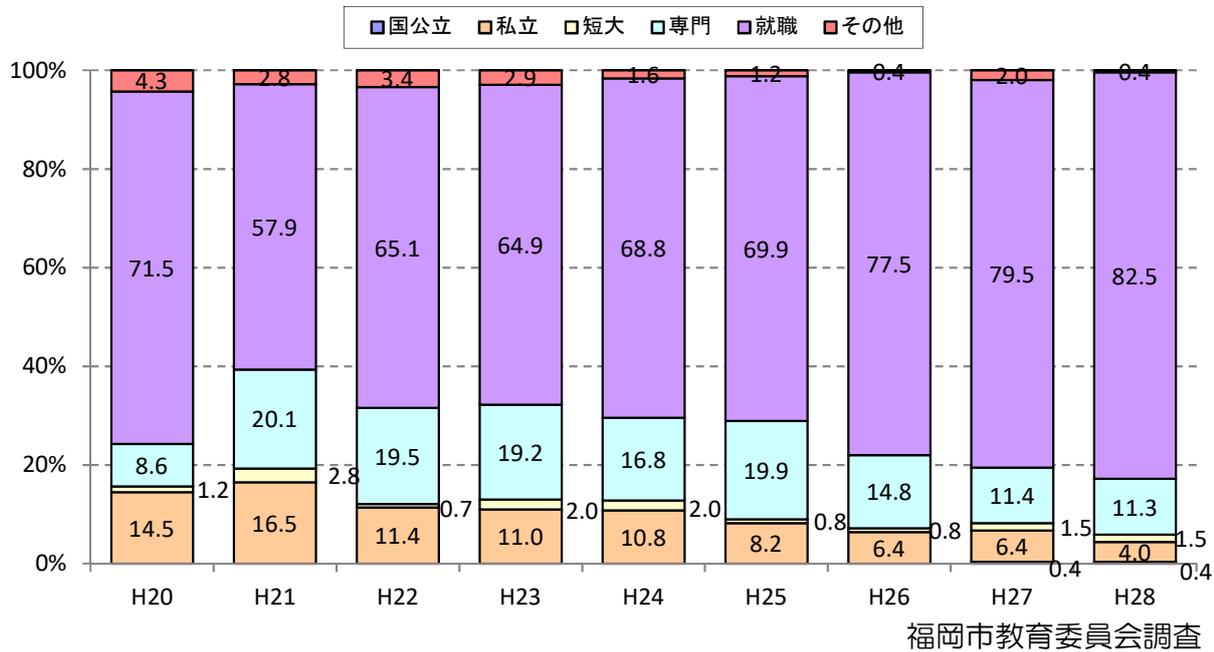
### I-4-2 福岡市立福翔高等学校卒業者の進路状況



福岡市教育委員会調査

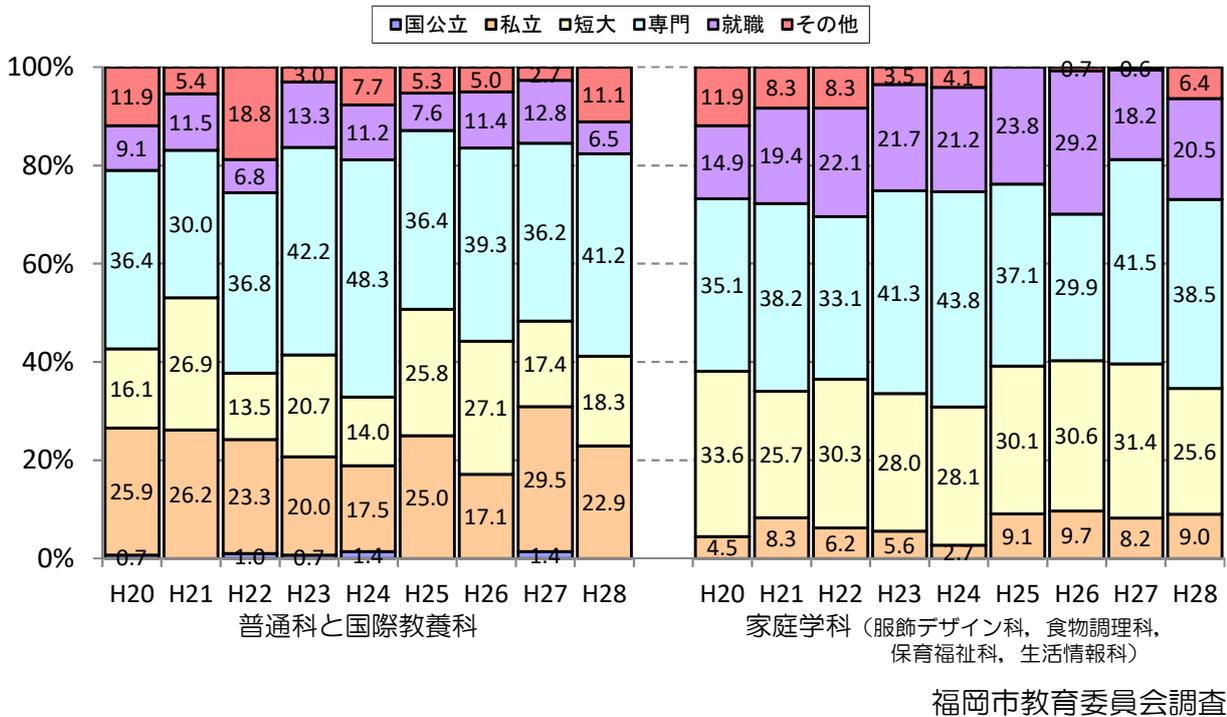
○平成28年度は、前年度と比べて、大学への進学割合が増加している。

### I-4-3 福岡市立博多工業高等学校卒業者の進路状況



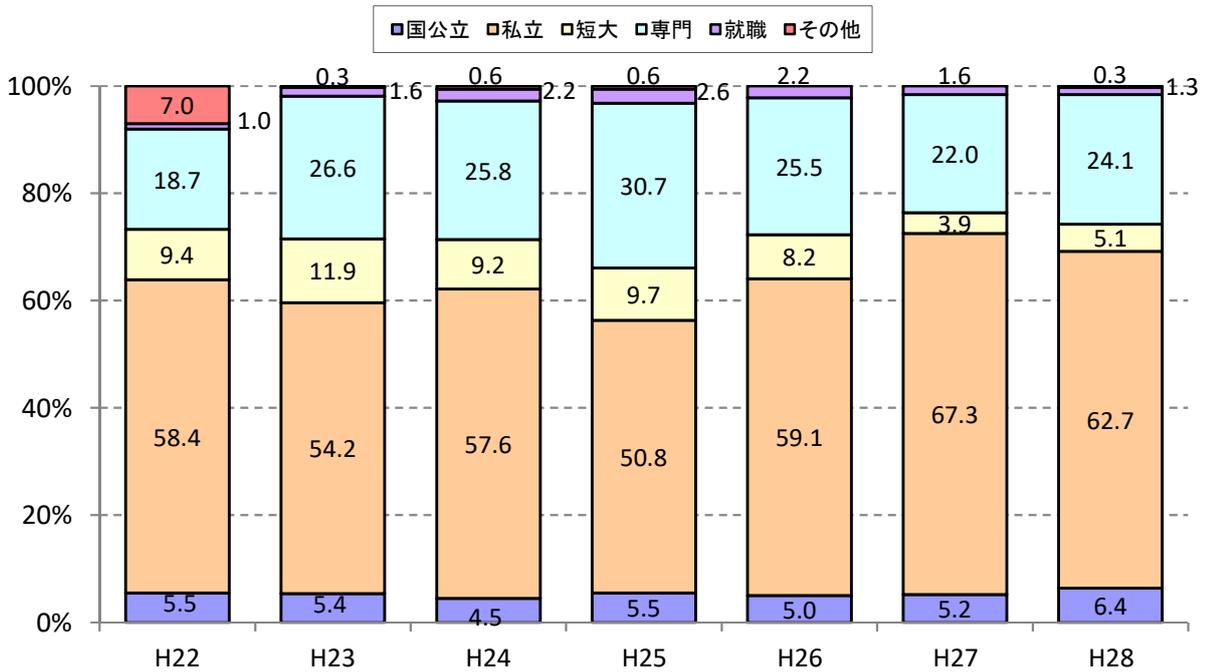
○平成24年度以降、就職の割合は増加傾向にある。

### I-4-4 福岡市立福岡女子高等学校卒業者の進路状況



○平成28年度は、家庭学科において、進学率が減少している。

I-4-5 福岡市立福岡西陵高等学校卒業者の進路状況



福岡市教育委員会調査

○平成28年度は、前年度と比べて、国公立大の進学が増加している。



# I-5 自尊意識・規範意識

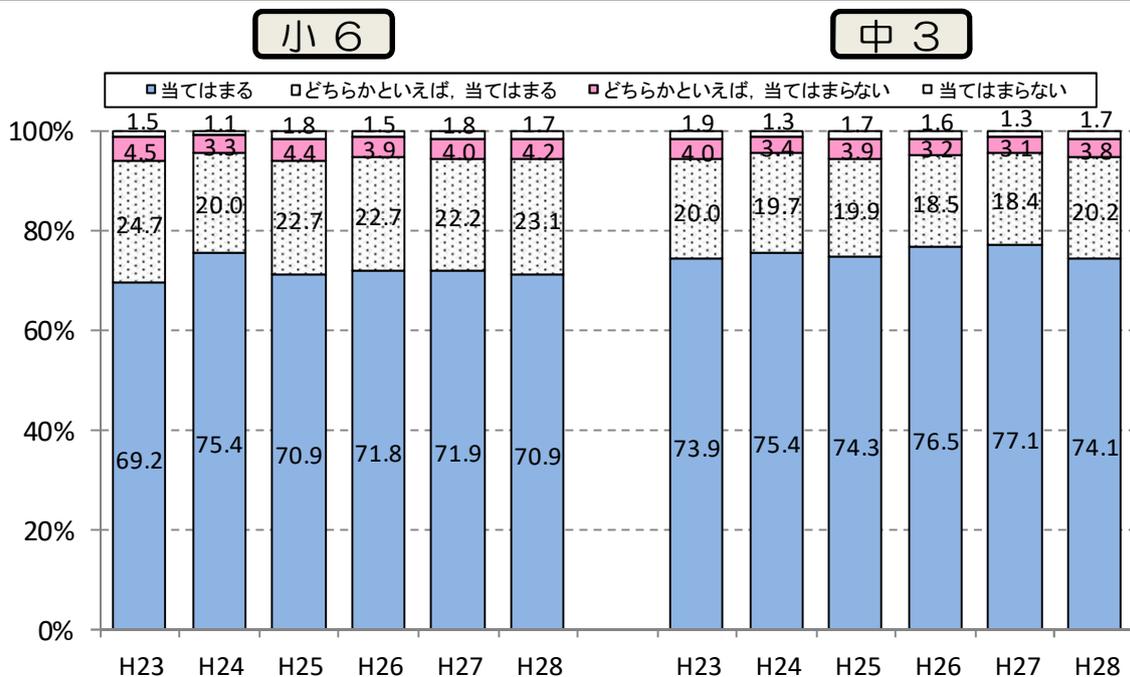
## I-5-1 自分のよさ



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○「自分にはよいところがあると思う」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、小学校6年は75%前後、中学校3年は70%前後で推移している。

## I-5-2 人の役に立つ人間への志向



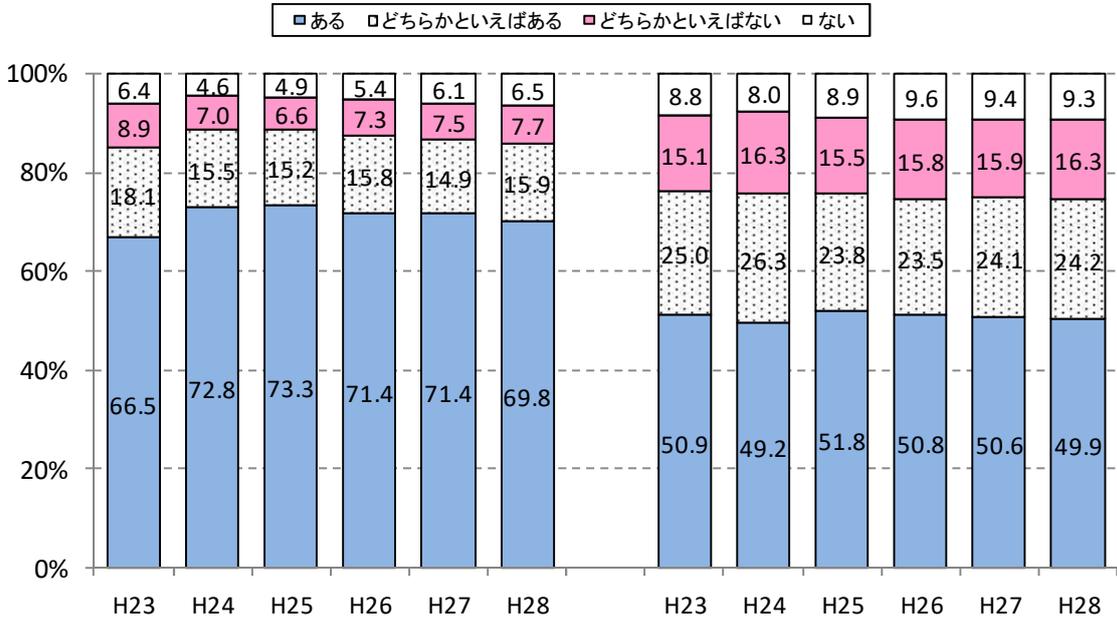
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○「人の役に立つ人間になりたいと思う」について、「当てはまる」と回答した割合は、小学校6年で70%前後、中学校3年で75%前後を推移している。

# I-5-3 将来の夢や目標

小6

中3



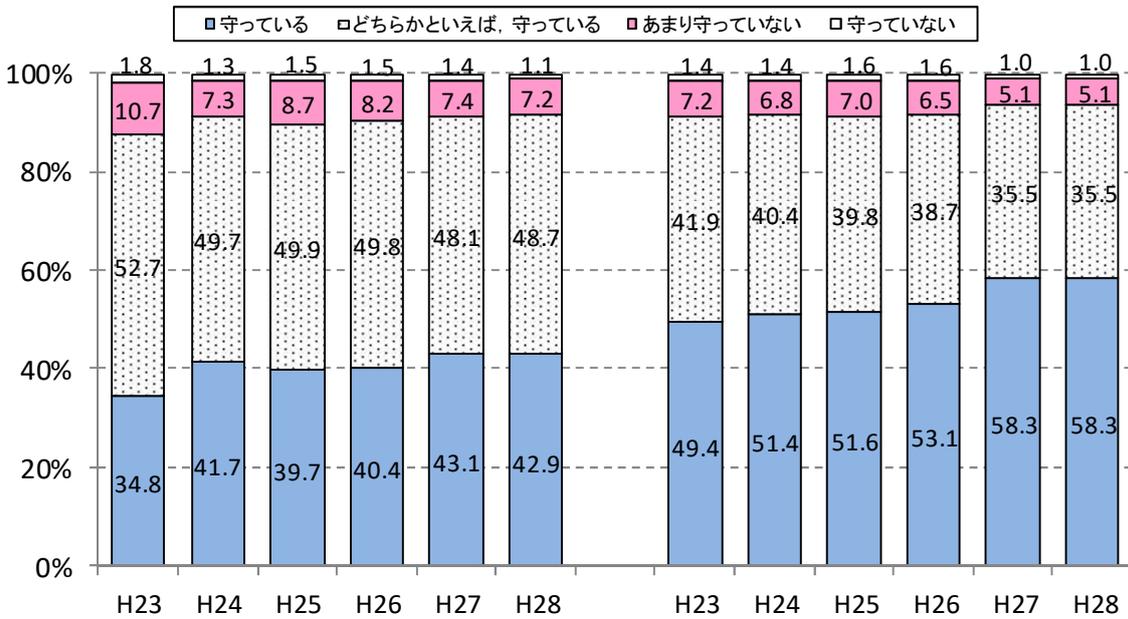
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○「将来の夢や目標を持っている」について、「ある」と回答した児童・生徒の割合は小学校6年で70%前後、中学校3年で50%前後を推移している。

# I-5-4 学校のきまりの順守

小6

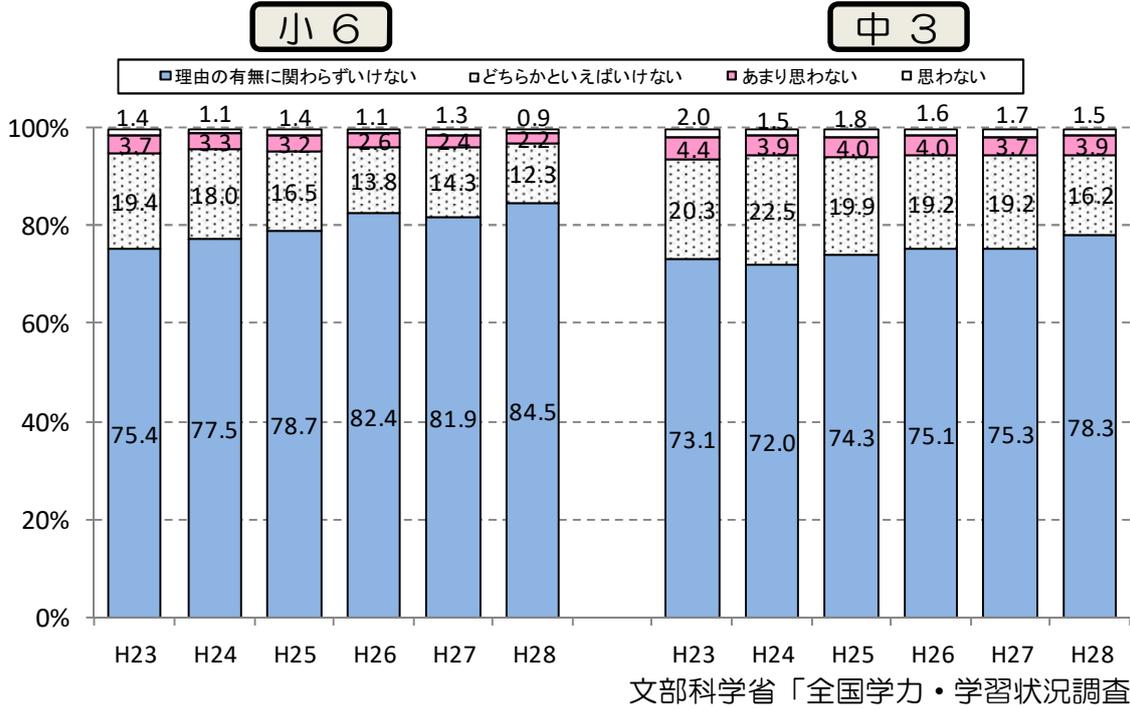
中3



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○「学校のきまりを守っている」について、「守っている」と回答した割合は、小学校6年が40%前後で推移し、中学校3年でやや増加傾向にある。

I-5-5 いじめの認識

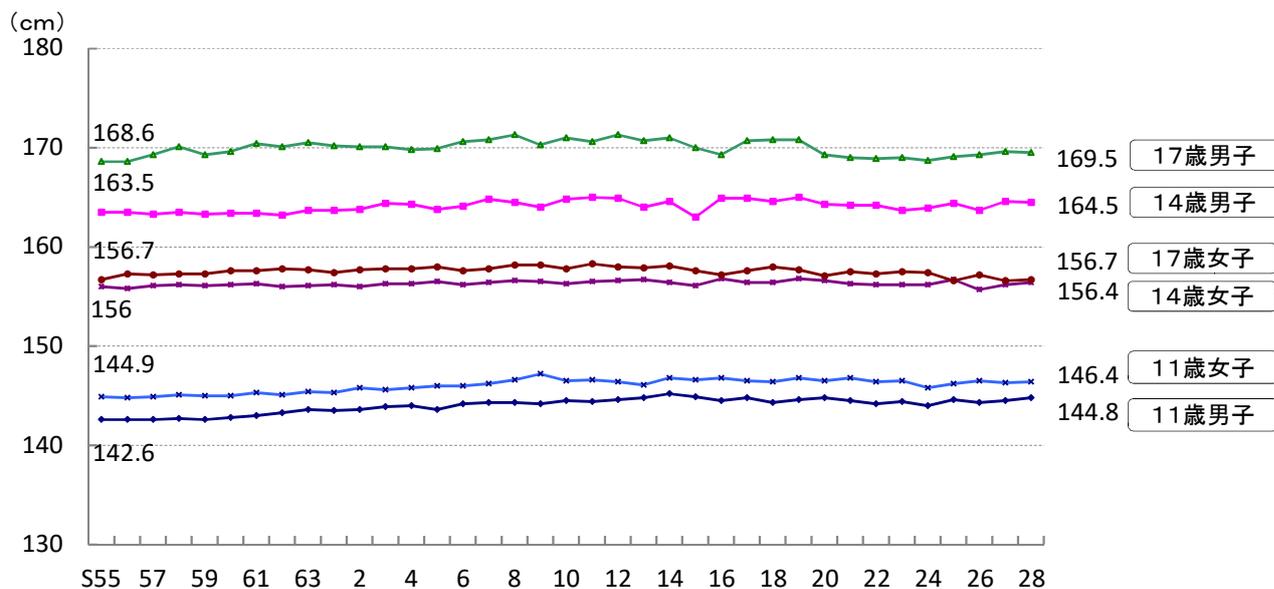


○「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」について、「そう思う」と回答した小学校6年，中学校3年の割合は，ともに増加傾向にある。



# I-6 体格・疾病

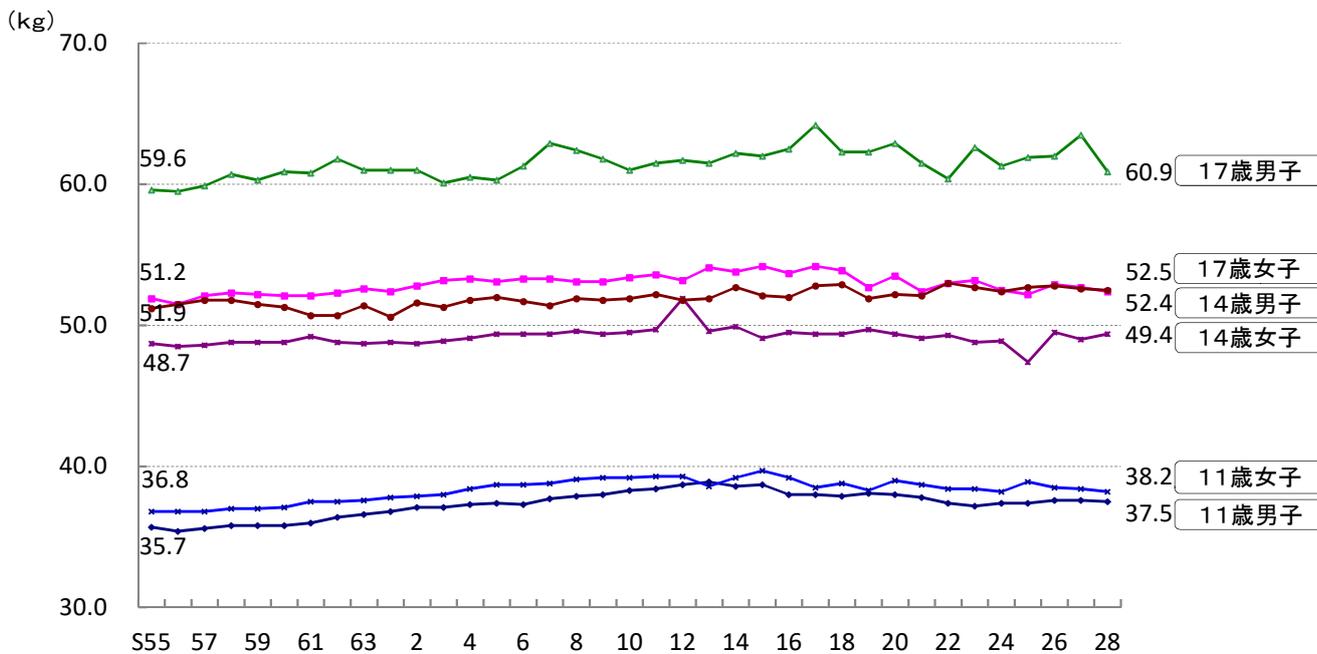
## I-6-1 平均身長の推移



福岡市学校保健統計調査

○どのグループも、大きな変化なく推移している。

## I-6-2 平均体重の推移

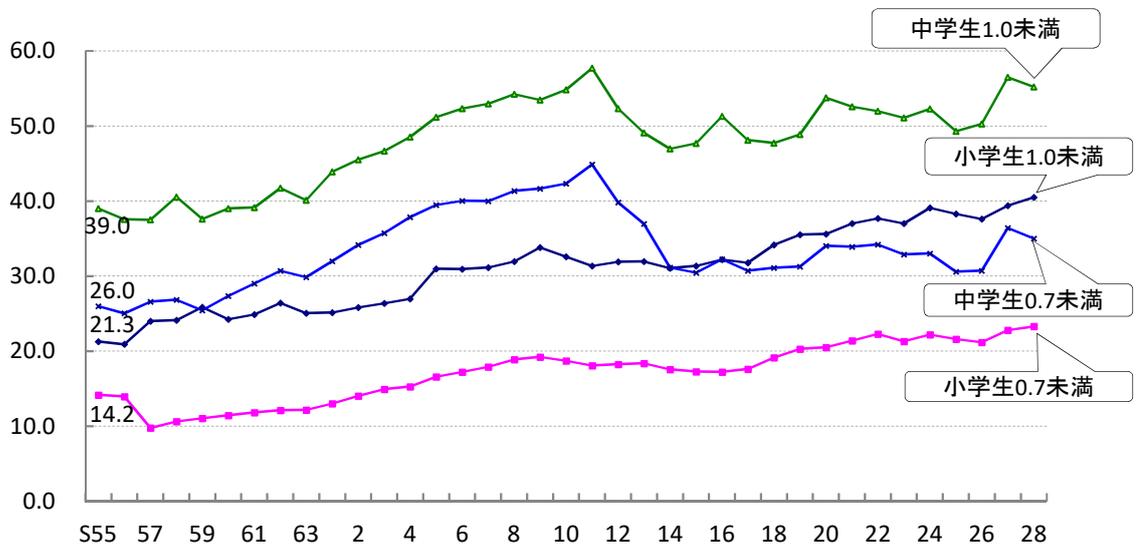


福岡市学校保健統計調査

○17歳男子が減少しているが、その他は大きな変化なく推移している。

### I-6-3 裸眼視力 (小・中学生)

(%)

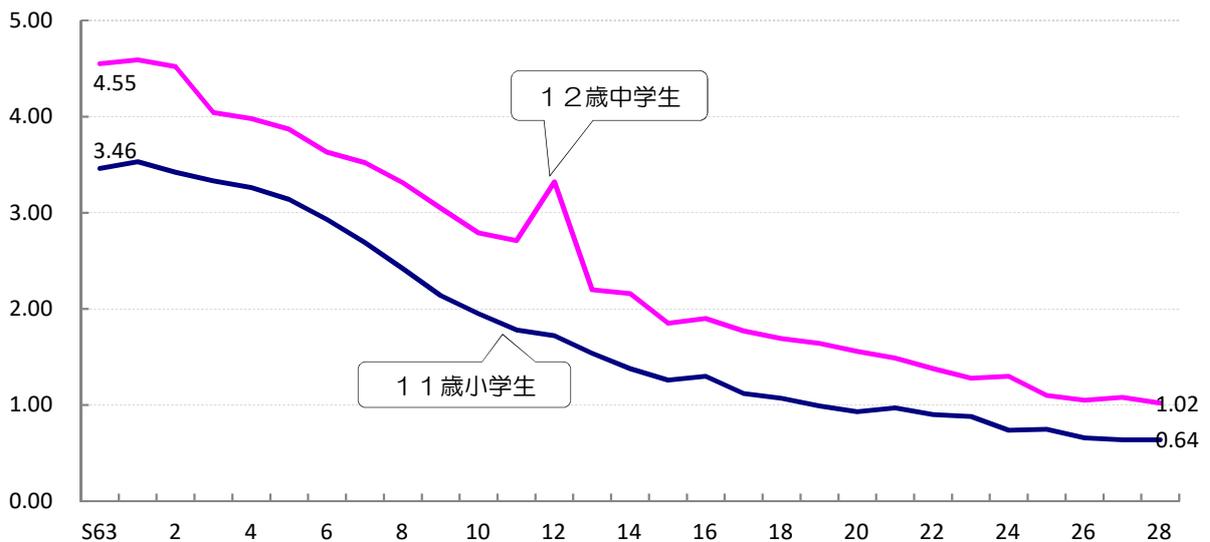


福岡市学校保健統計調査

○平成28年度は、小学生のグループでは増加しているが、中学生のグループでは減少している。

### I-6-4 DMF 指数 (小・中学生)

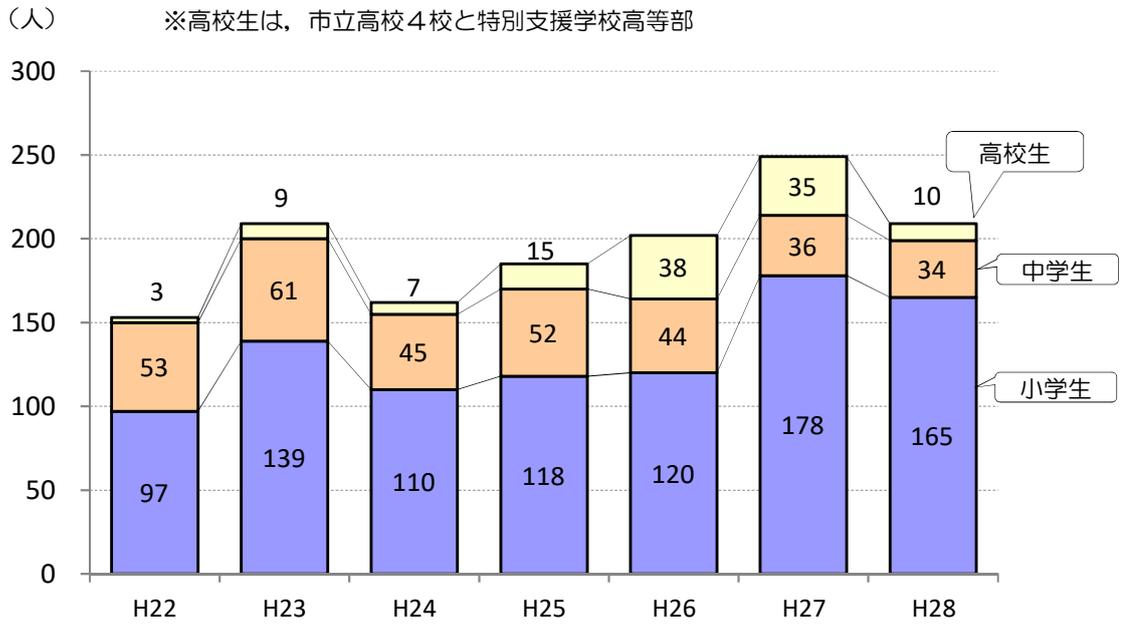
(本) ※DMF 指数・・・子ども一人における永久歯の虫歯の本数 (処置されたものも含む)



福岡市学校保健統計調査

○近年は、11歳小学生、12歳中学生ともにほぼ横ばいで推移している。

# I-6-5 保健室登校の人数（小学生・中学生・高校生）



福岡県学校保健・安全実態調査

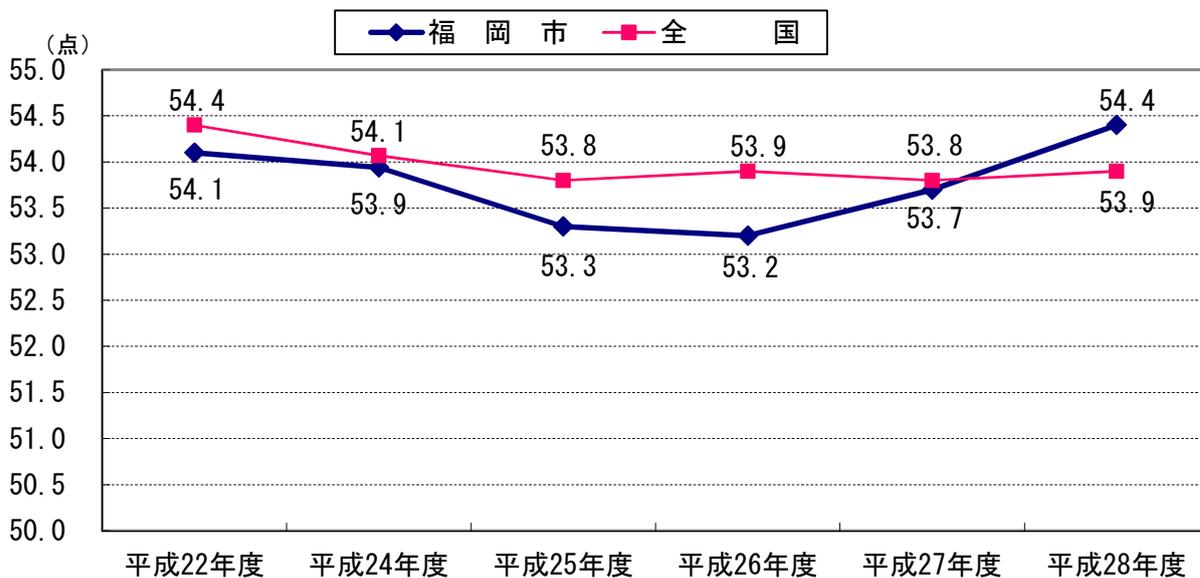
○平成28年度はすべてのグループで減少している。



## I-7 体力・運動能力

※(注)体力合計点…握力、上体起こし、反復横跳び、立ち幅とび、長座体前屈、ボール投げ、20mシャトルラン(中学生は持久走も可)の8種目の合計点で、1種目10点×8種目=80点満点。(得点基準は男女で異なる)

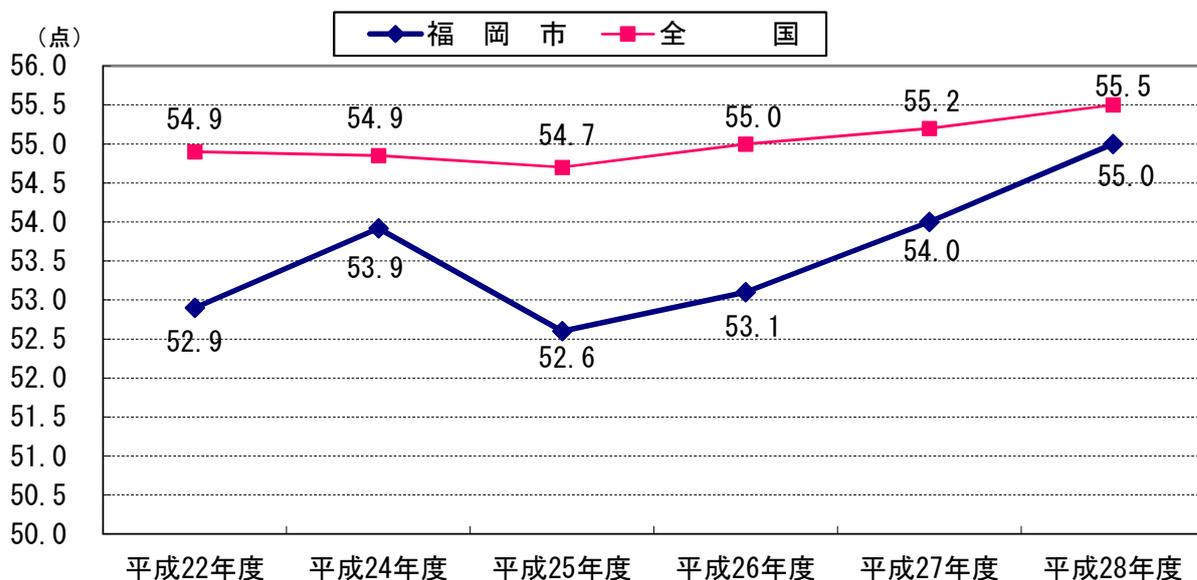
### I-7-1 体力合計点(注)の推移(小学校5年 男子)



全国体力・運動能力、運動習慣等調査

○平成28年度の小学校5年男子の体力合計点は、全国平均よりわずかに高い。

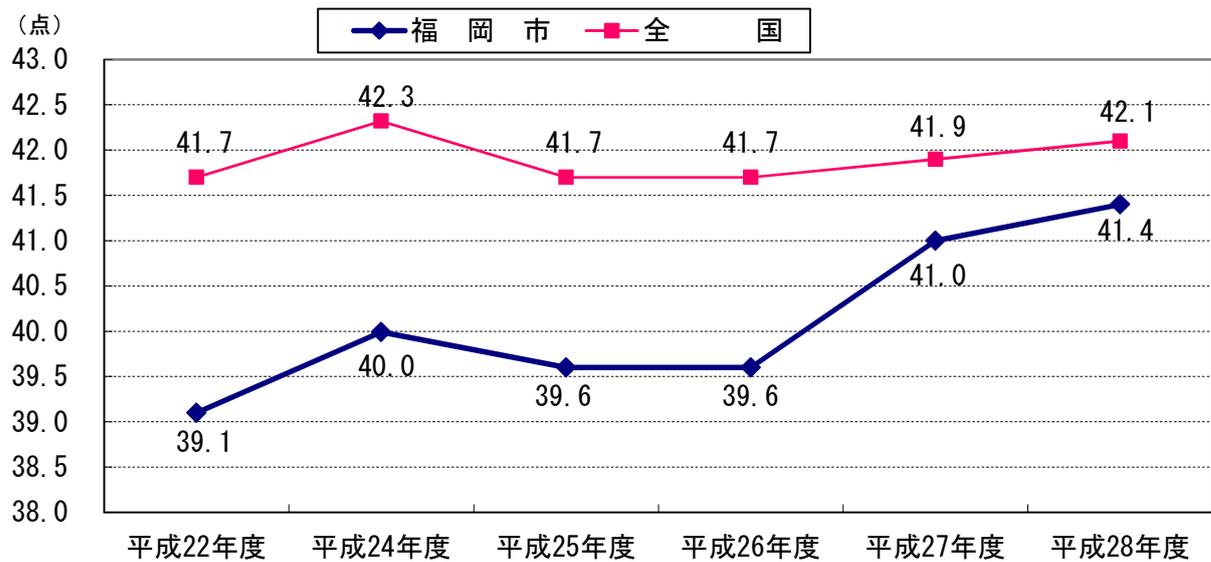
### I-7-2 体力合計点の推移(小学校5年 女子)



全国体力・運動能力、運動習慣等調査

○平成28年度の小学校5年女子の体力合計点は、全国平均よりわずかに低い。

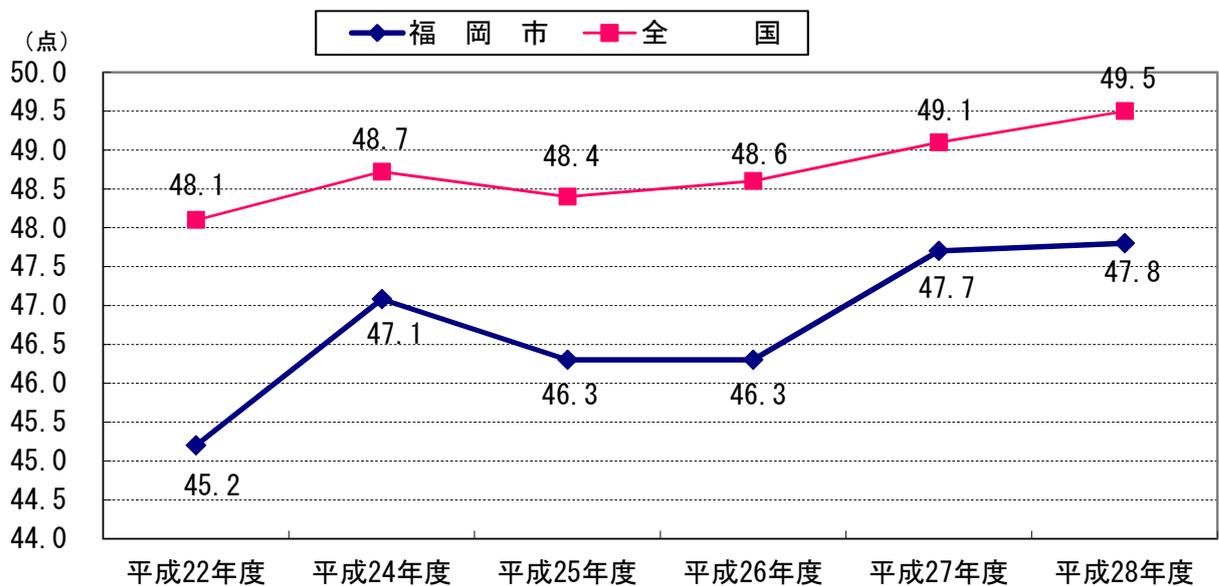
### I-7-3 体力合計点の推移（中学校2年 男子）



全国体力・運動能力、運動習慣等調査

○平成28年度の中学校2年男子の体力合計点は、全国平均よりわずかに低い。

### I-7-4 体力合計点の推移（中学校2年 女子）

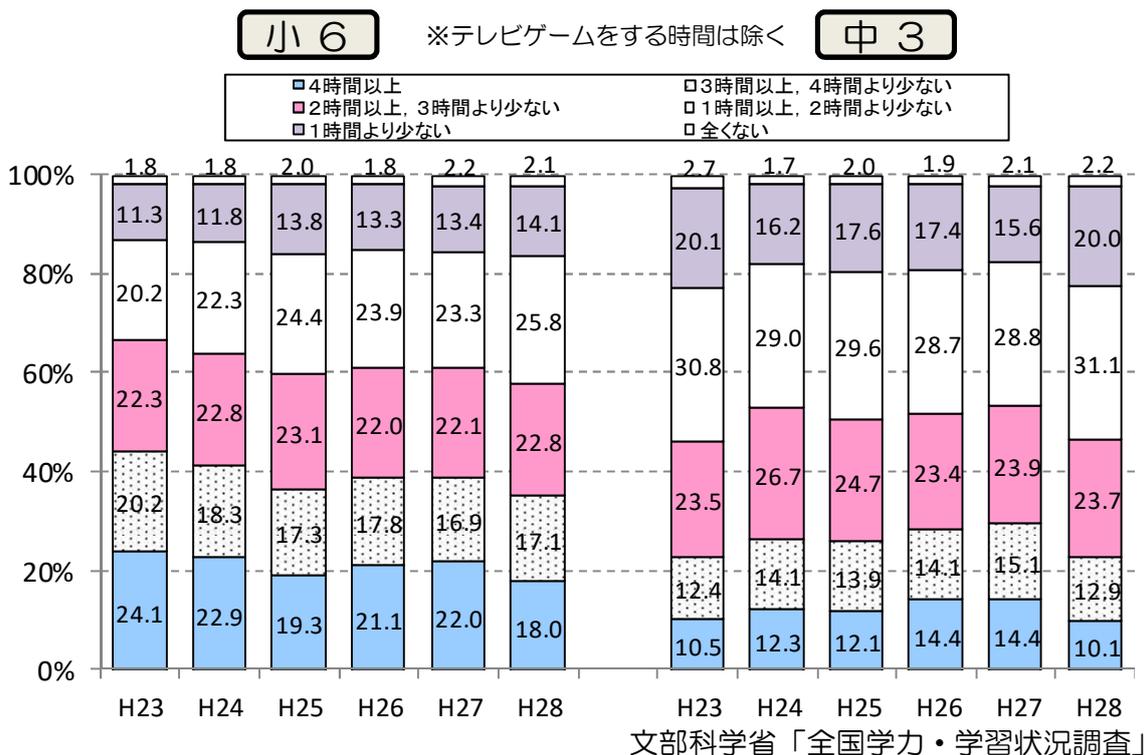


全国体力・運動能力、運動習慣等調査

○平成28年度中学校2年女子の体力合計点は、全国平均より低い。

# I-8 メディアとの接触

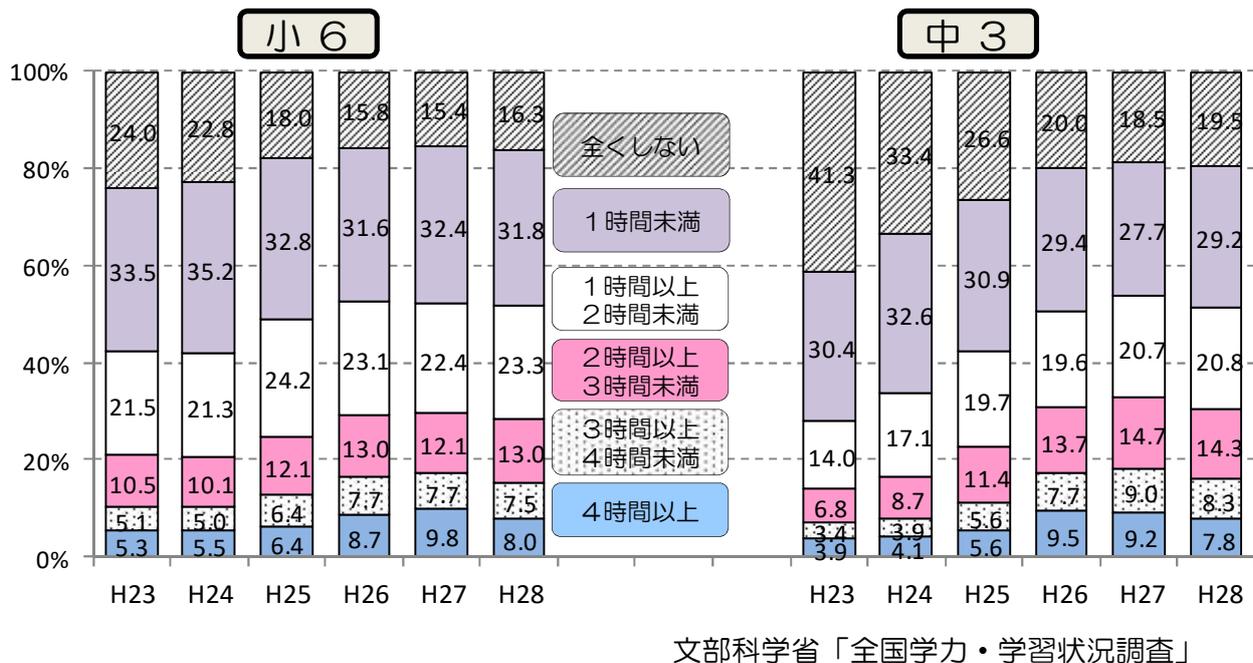
## I-8-1 普段（月～金曜日）のテレビ・ビデオ等の視聴時間



○「2時間以上視聴している」と回答した児童・生徒の割合は、小学校6年で60%前後、中学校3年で50%前後を推移している。

## I-8-2 普段（月～金曜日）のテレビゲーム時間

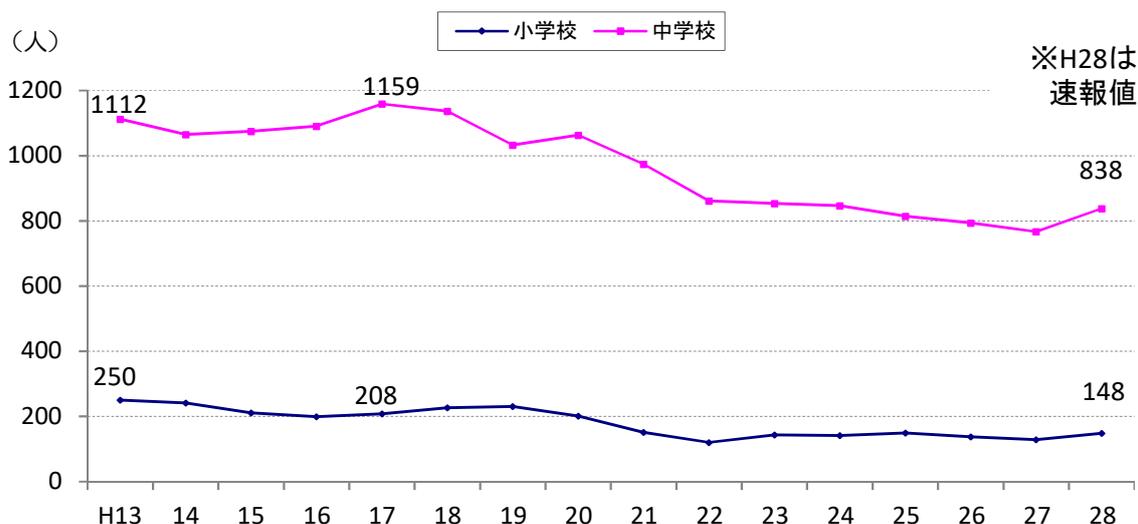
※コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む



○「1時間以上テレビゲームをしている」と回答した児童・生徒の割合は、小学校6年、中学校3年ともに増加傾向にある。

## I-9 不登校・いじめ・暴力行為

### I-9-1 不登校児童生徒数（年間30日以上欠席）



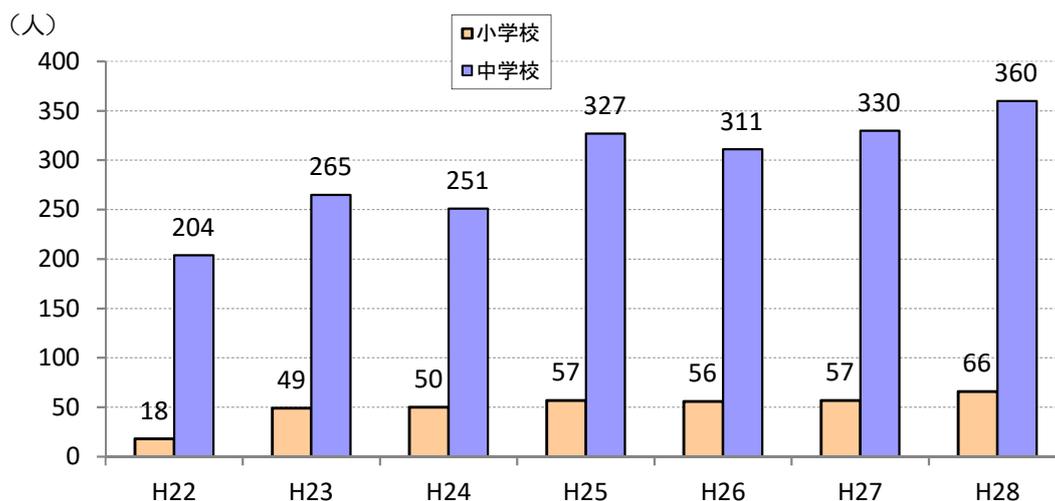
※H28は速報値

福岡市教育委員会調査

○不登校児童数は、近年横ばいで推移しているが、不登校生徒数は、減少傾向から一転し、平成28年度は増加となった。

### I-9-2 不登校児童生徒の復帰の状況

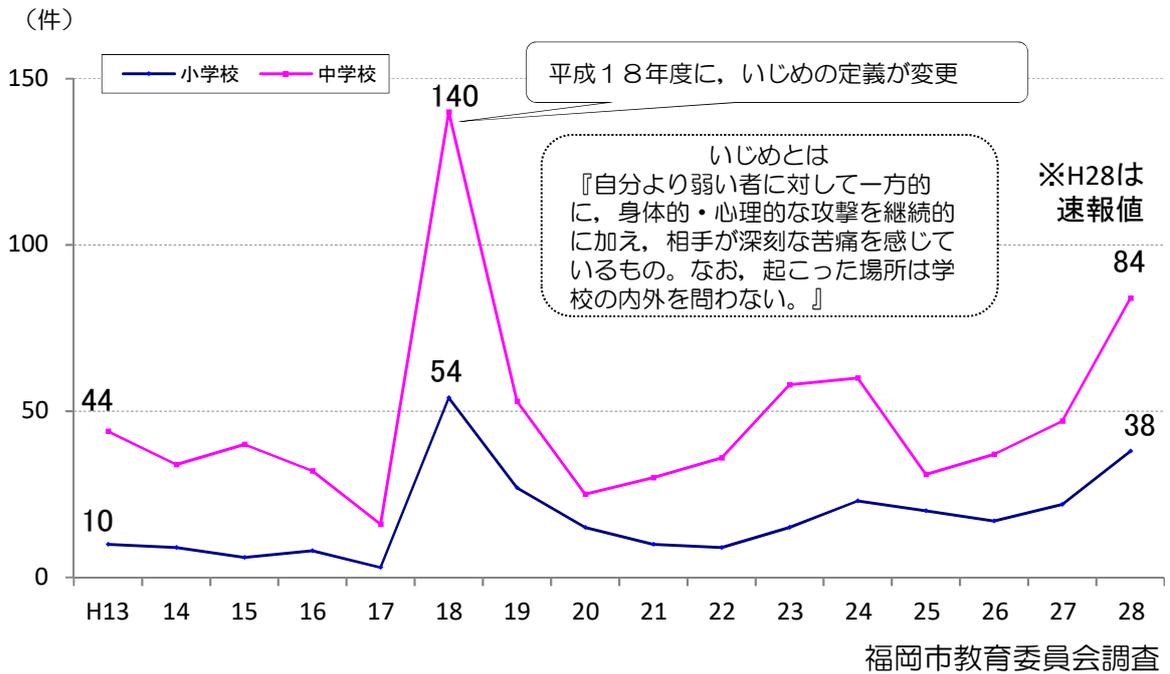
復帰とは・・・指導の結果、登校する又は登校できるようになった児童生徒  
個々の児童生徒の状況に応じて継続的に登校できるようになったと認められる者を復帰とする



福岡市教育委員会調査

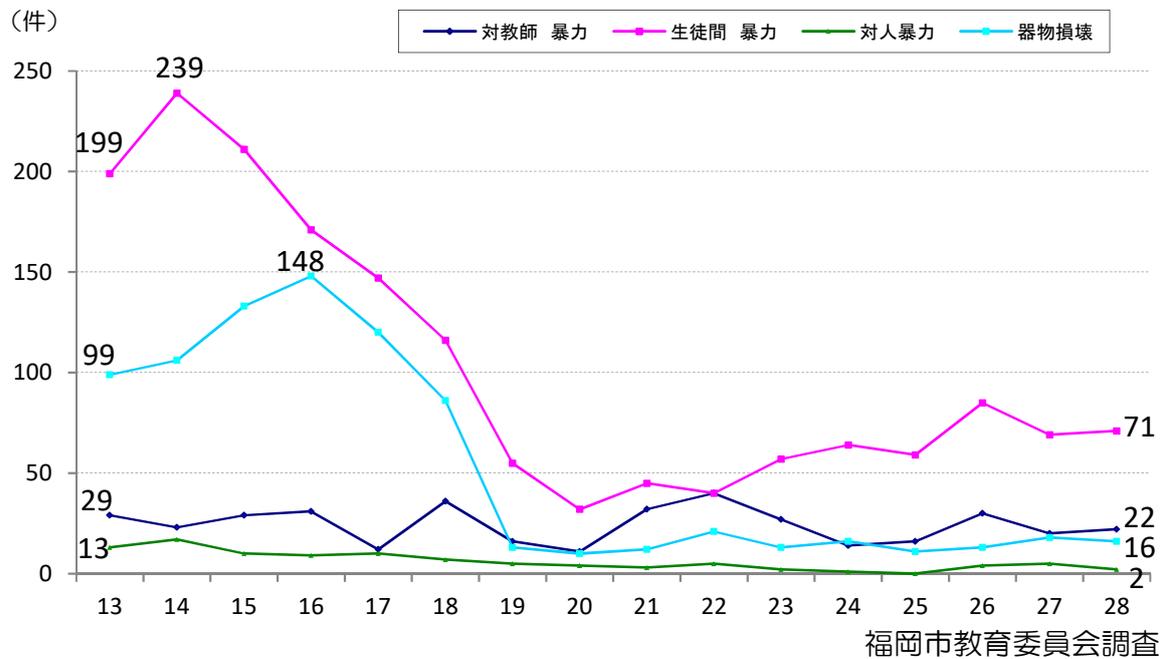
○不登校児童生徒の復帰は、小・中学校ともに増加傾向にある。

### I-9-3 いじめの発生状況（認知件数）



○いじめ防止対策推進法が施行された平成25年以降、いじめの認知件数は、小・中学校ともに増加傾向にある。

### I-9-4 暴力行為の発生状況（小・中学校）



○生徒間暴力は、平成20年度以降、やや増加傾向にある。

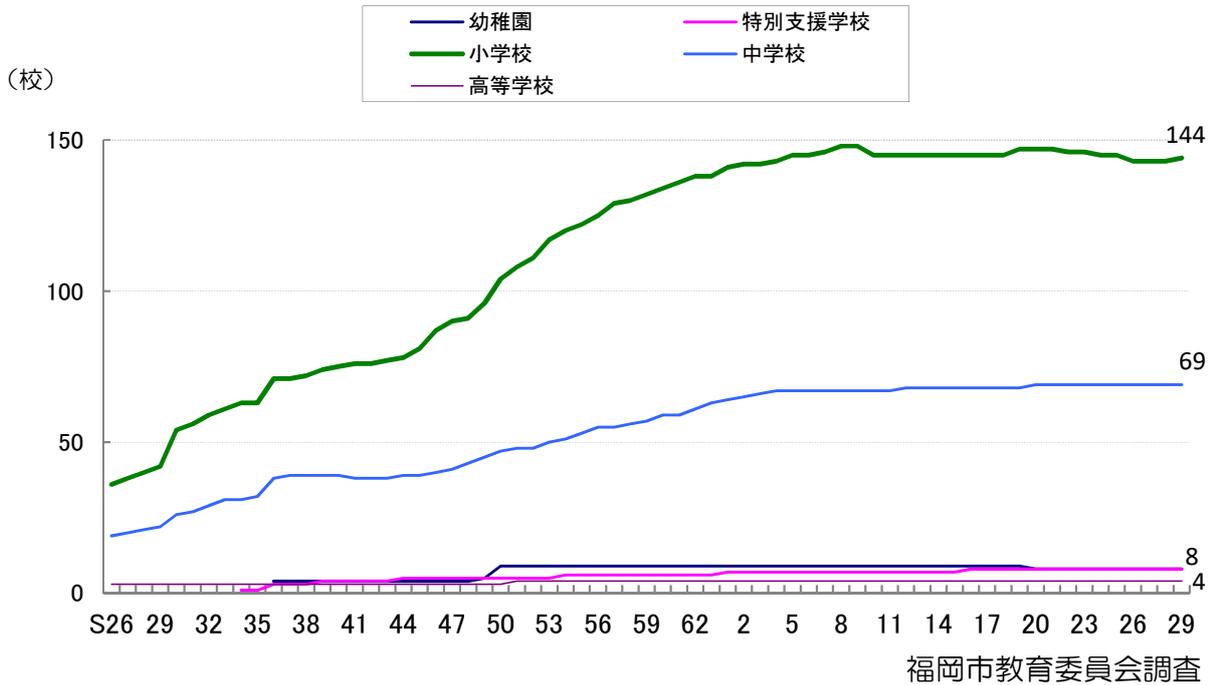
# II 学 校

---

---

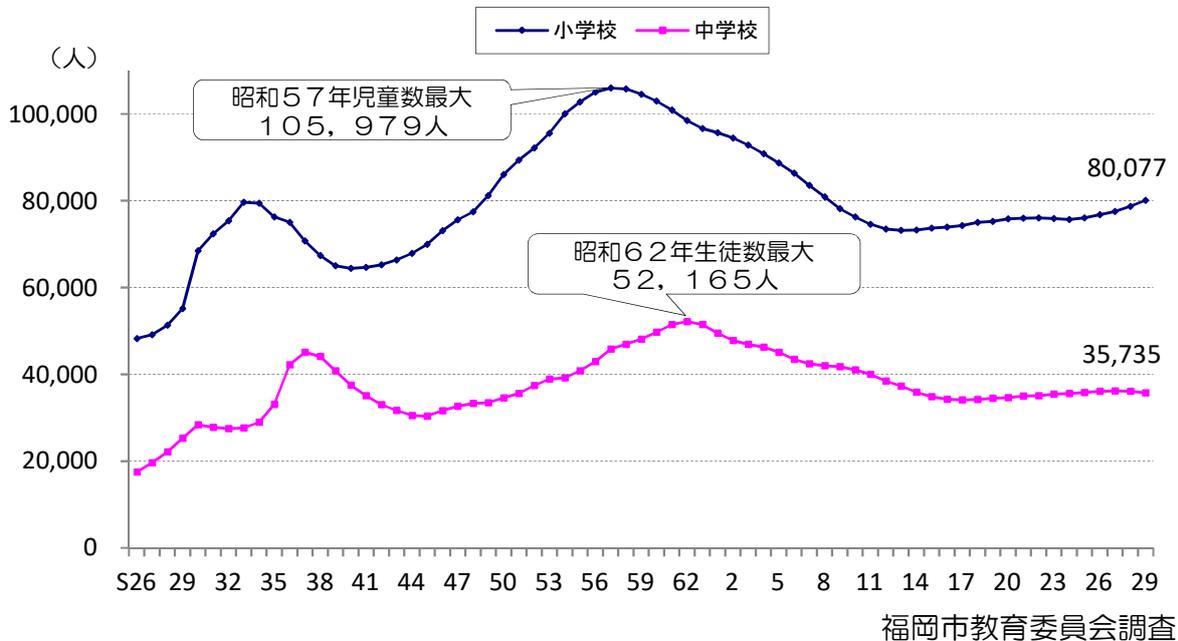
## Ⅱ－1 学校数等

### Ⅱ－1－1 学校数の推移



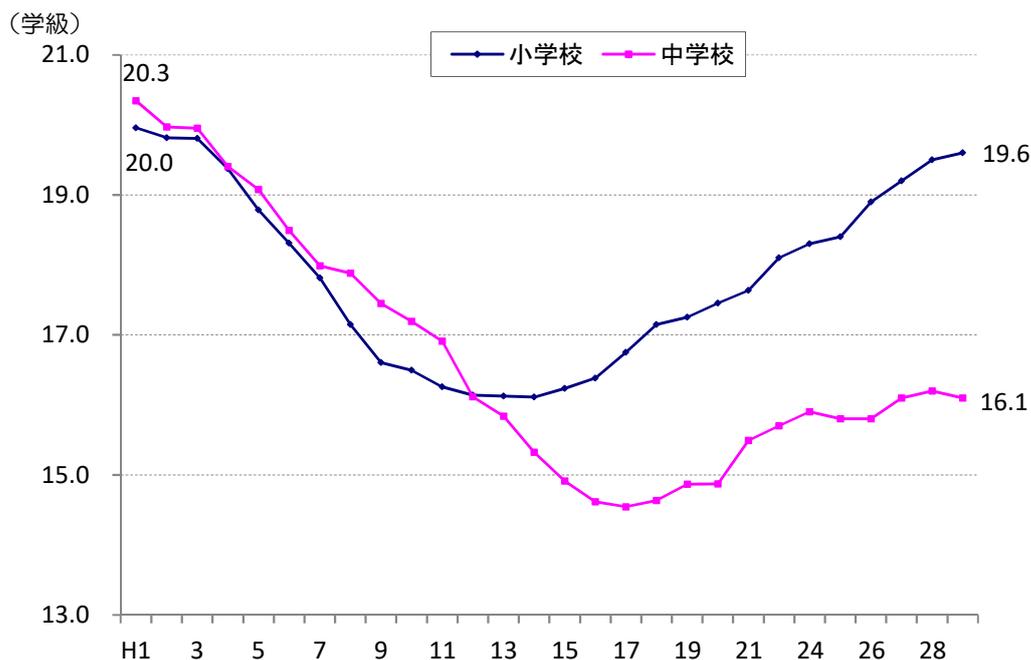
○市立学校は、幼稚園8（休園を含む）、特別支援学校8、小学校144、中学校69、高等学校4となっている。

### Ⅱ－1－2 児童生徒数の推移



○児童生徒数は、小学校が昭和57年、中学校が昭和62年をピークに減少傾向にあったが、近年、小学校は増加傾向、中学校はほぼ横ばいの推移となっている。

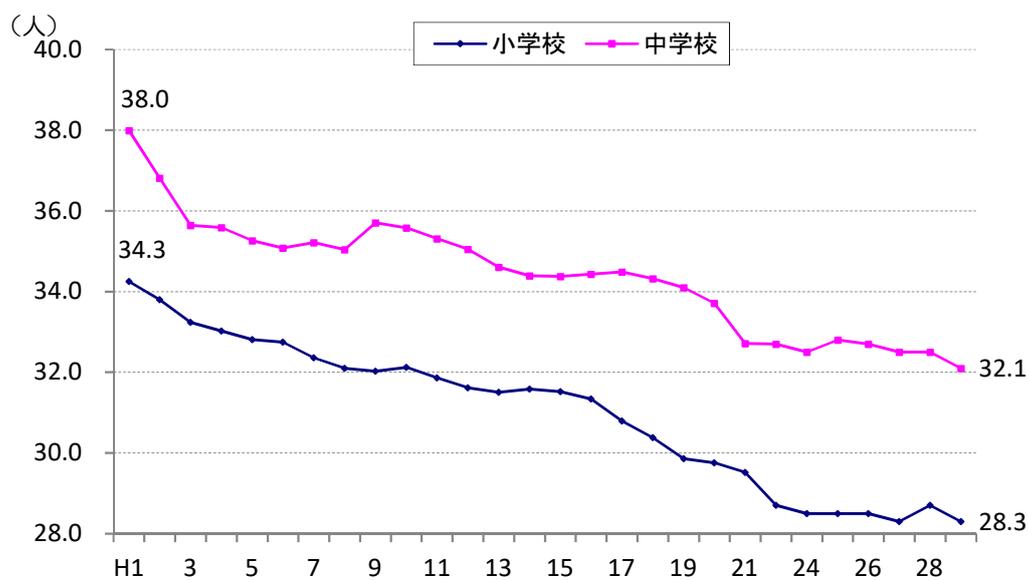
## Ⅱ－１－３ １校あたりの学級数の推移



福岡市教育委員会調査

○近年、小学校、中学校ともに増加傾向にある。

## Ⅱ－１－４ １学級あたりの児童生徒数の推移

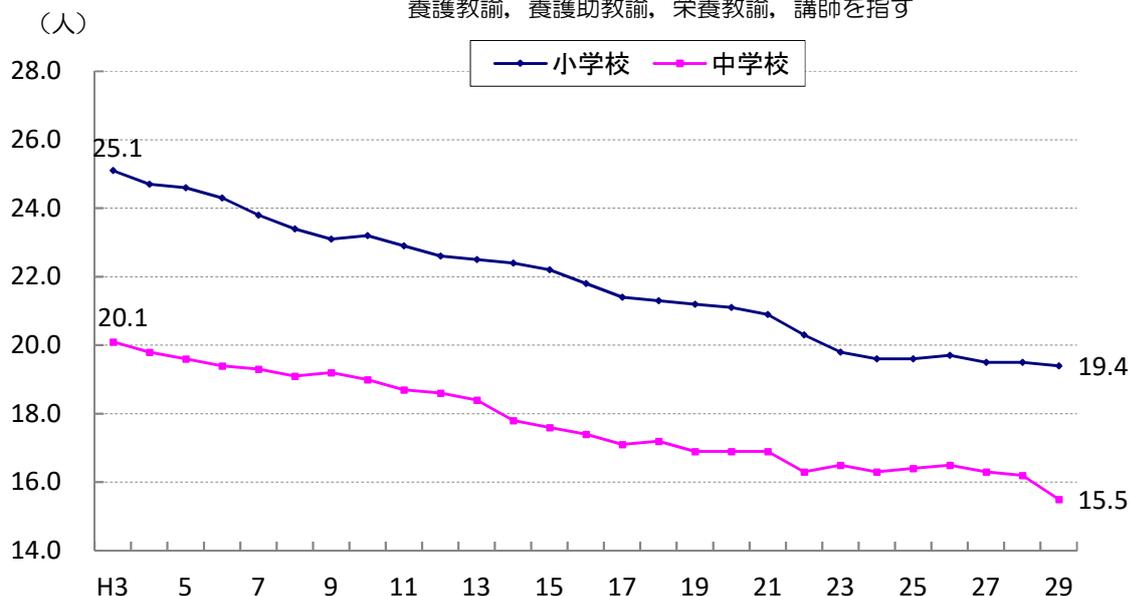


福岡市教育委員会調査

○近年、中学校はやや減少傾向にある。

## Ⅱ－１－５ 教員１人あたりの児童生徒数の推移

※「教員」とは、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師を指す

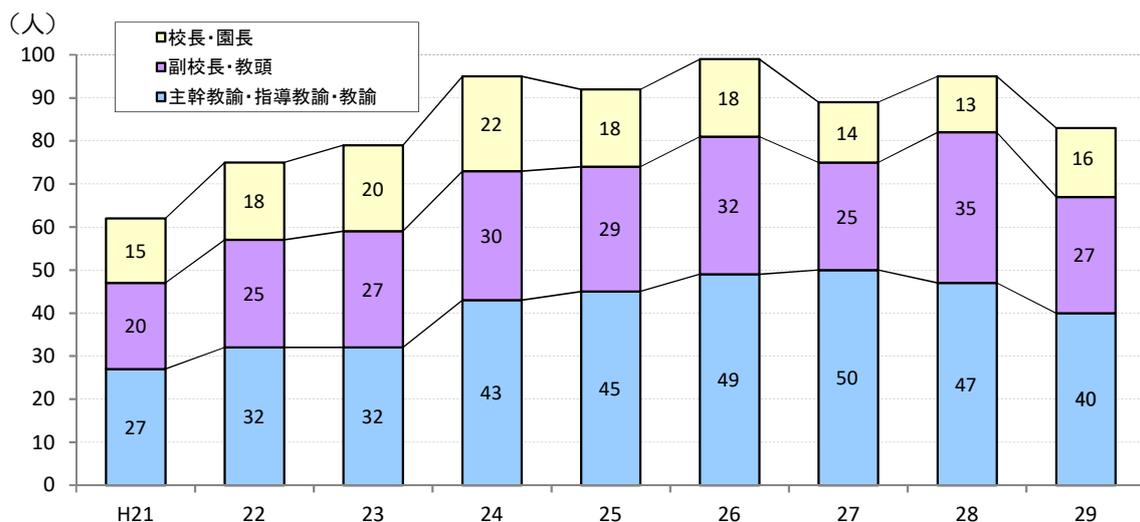


福岡市教育委員会調査

○教員１人あたりの児童生徒数は、小学校・中学校とも減少傾向にある。

## Ⅱ－１－６ 異校種間人事交流の状況

※「異校種間人事交流」とは、小学校と中学校、中学校と高等学校など、異なる学校種の間で人事異動を行うこと

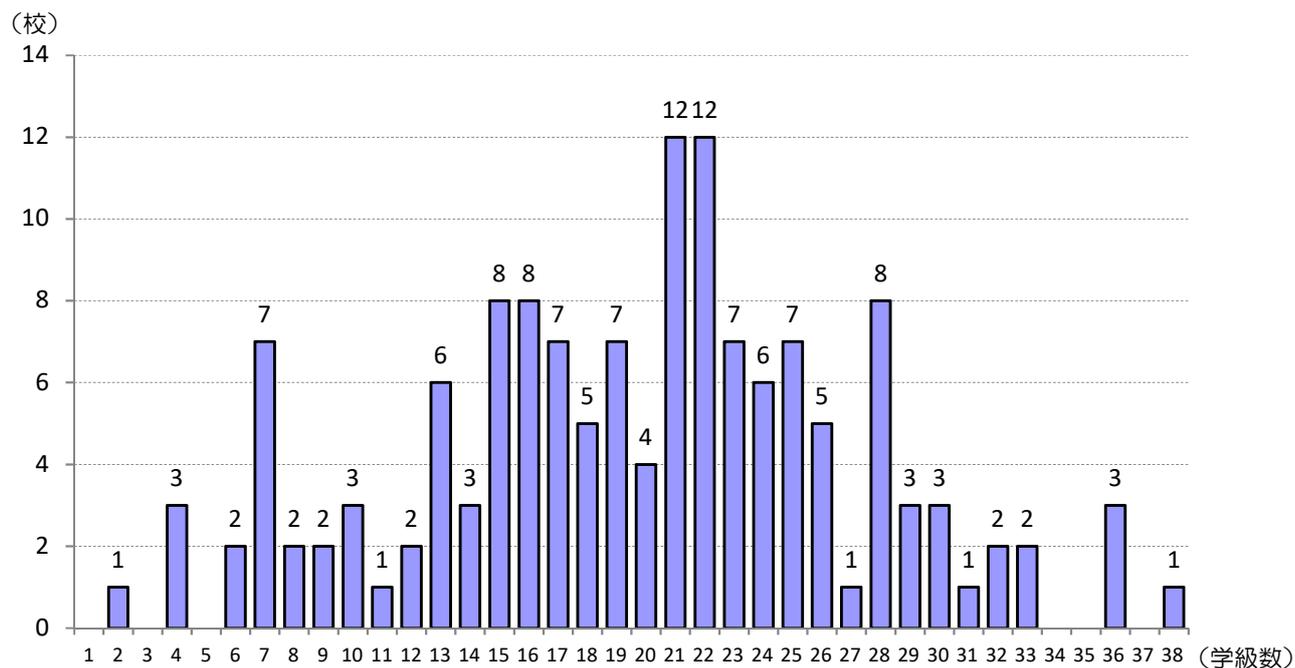


福岡市教育委員会調査

○平成19年度から始まった異校種間人事交流は、校長・園長、教頭、教諭のすべての職種で増加・減少を繰り返している。

## Ⅱ－２ 学校施設の状況

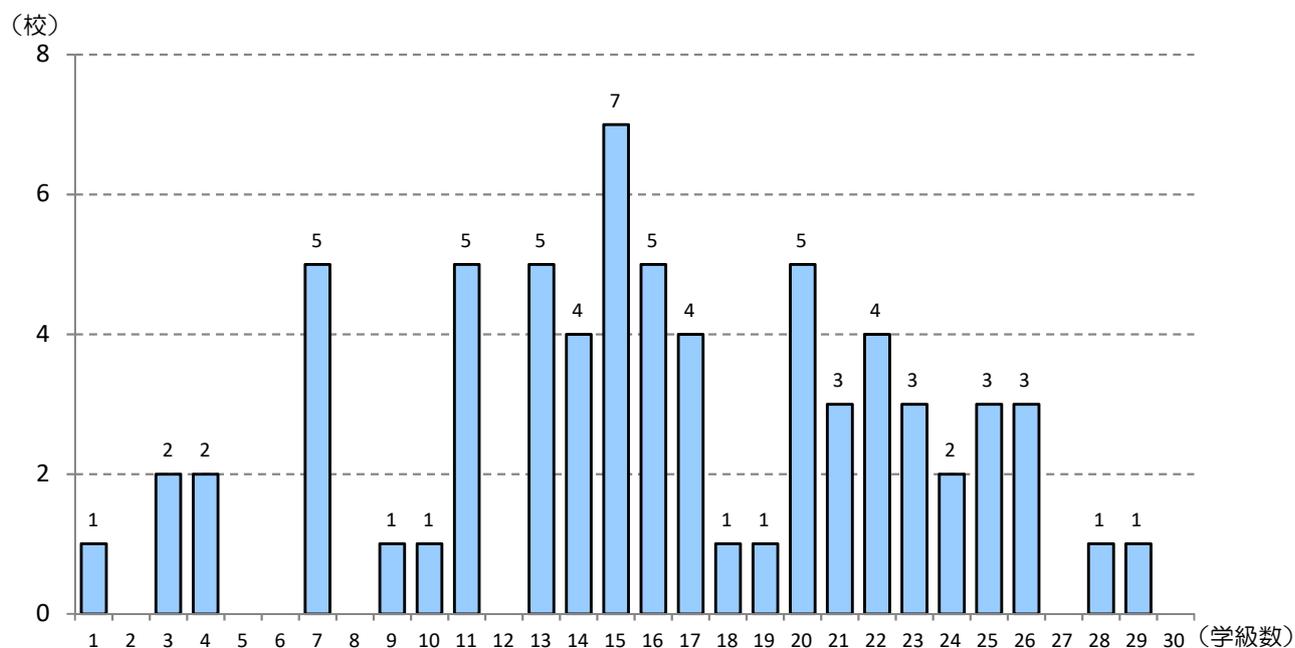
### Ⅱ－２－１ 規模別学校数（平成29年度小学校） ※特別支援学校は除く



福岡市教育委員会調査

○小学校の学級規模は、21, 22学級がもっとも多い。平均学級数は19.6クラス

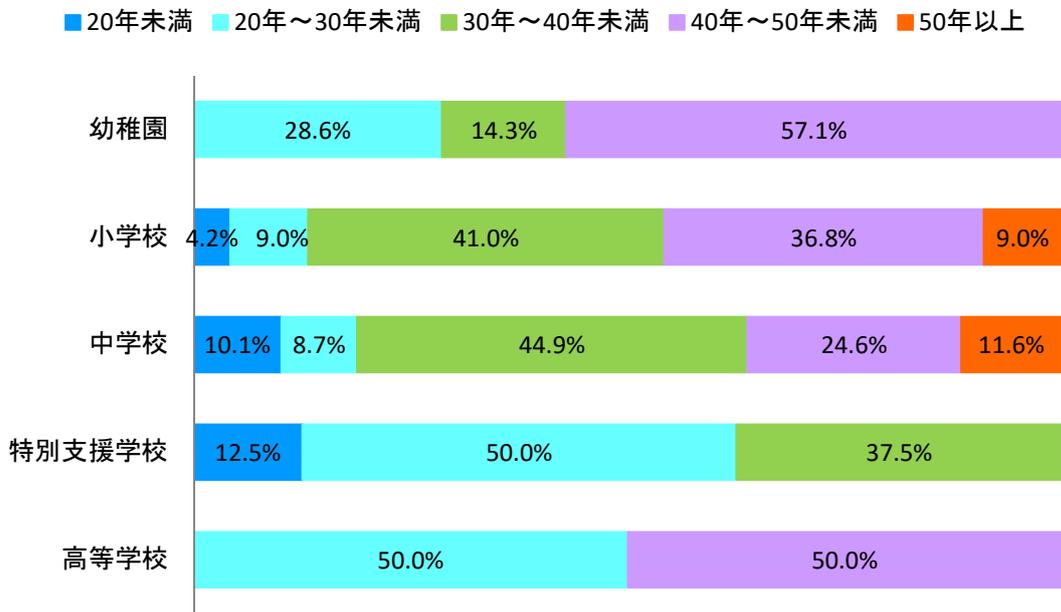
### Ⅱ－２－２ 規模別学校数（平成29年度中学校） ※特別支援学校は除く



福岡市教育委員会調査

○中学校の学級規模は、15学級がもっとも多い。平均学級数は16.1クラス

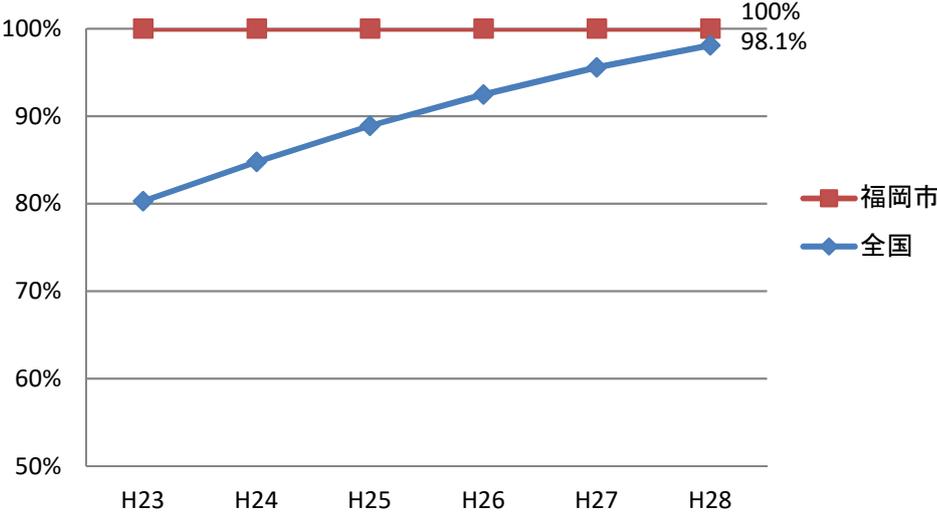
## Ⅱ－２－３ 学校施設の経過年数（校種毎） ※平成29年4月時点



福岡市教育委員会調査

○築60年を耐用年数としているが、約7割の学校施設で築30年を経過しており、学校施設の老朽化が進んでいる。

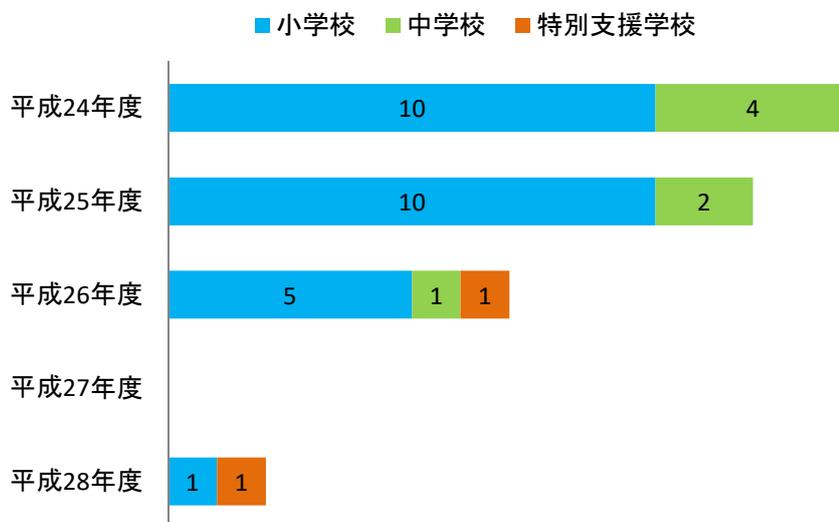
## Ⅱ－２－４ 学校施設の耐震化の状況



福岡市教育委員会調査

○構造体の耐震改修は平成23年度で完了している。

## Ⅱ－２－５ 大規模改造（校舎，屋体）の実施状況



福岡市教育委員会調査

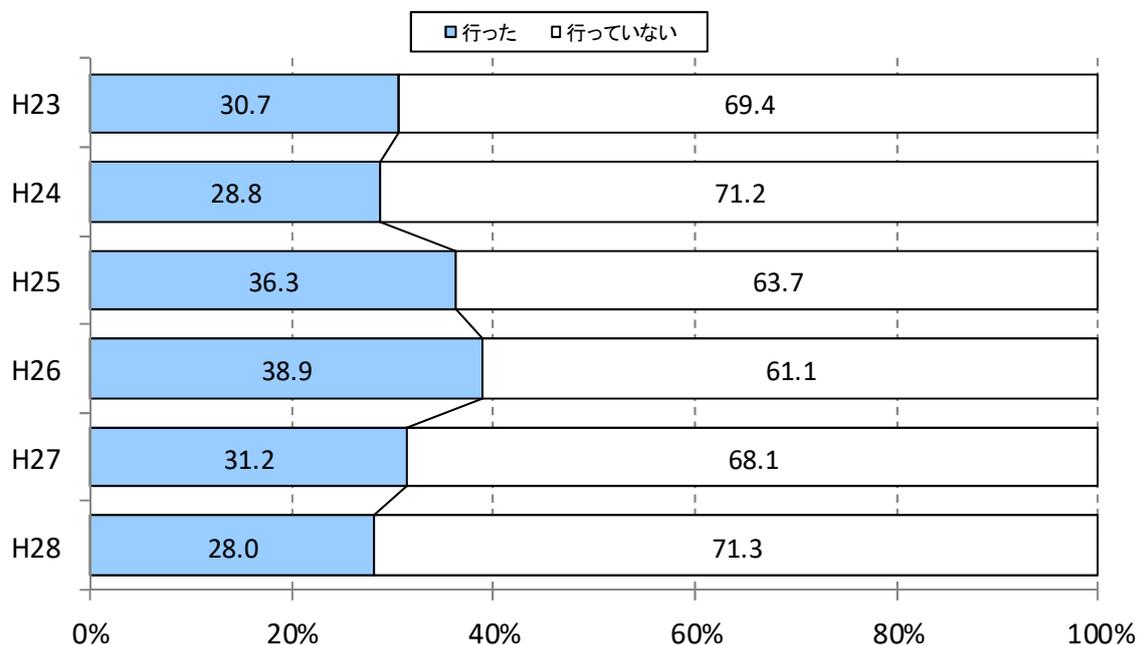
○築30年を経過した学校について，大規模改造を実施しているが，未実施校の累積が進んでいる。



## Ⅱ－３ 特色ある教育

### Ⅱ－３－１ 放課後を利用した補足的な学習サポート（小学校）

「行った」とは・・・年に数回程度の場合も含む

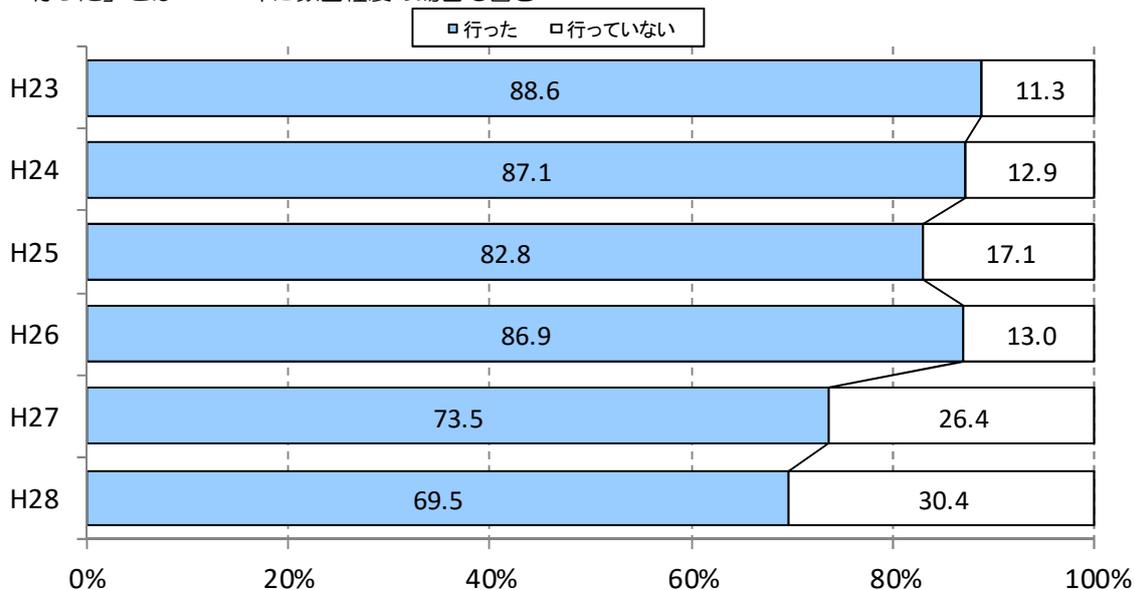


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○調査対象学年の児童に対し、前年度に放課後を利用した補足的な学習サポートを「行った」と回答した小学校の割合は、概ね30%前後で推移している。

### Ⅱ－３－１ 放課後を利用した補足的な学習サポート（中学校）

「行った」とは・・・年に数回程度の場合も含む

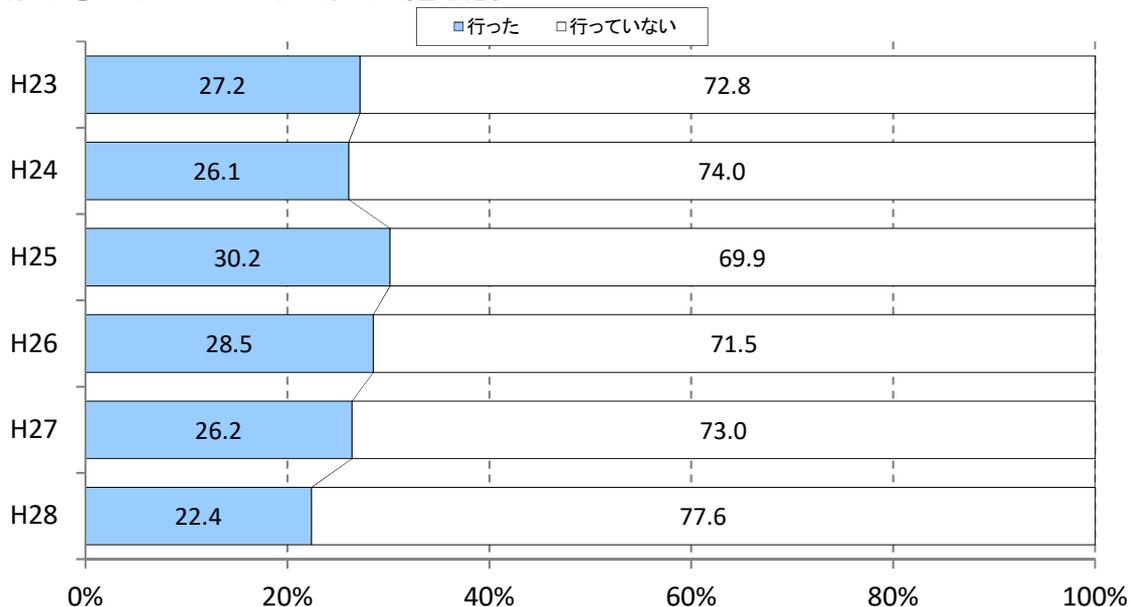


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○調査対象学年の生徒に対し、前年度に放課後を利用した補足的な学習サポートを「行った」と回答した中学校の割合は、減少傾向にある。

## Ⅱ－３－２ 長期休業日を利用した補足的な学習サポート（小学校）

「行った」とは・・・1日以上行った場合を指す

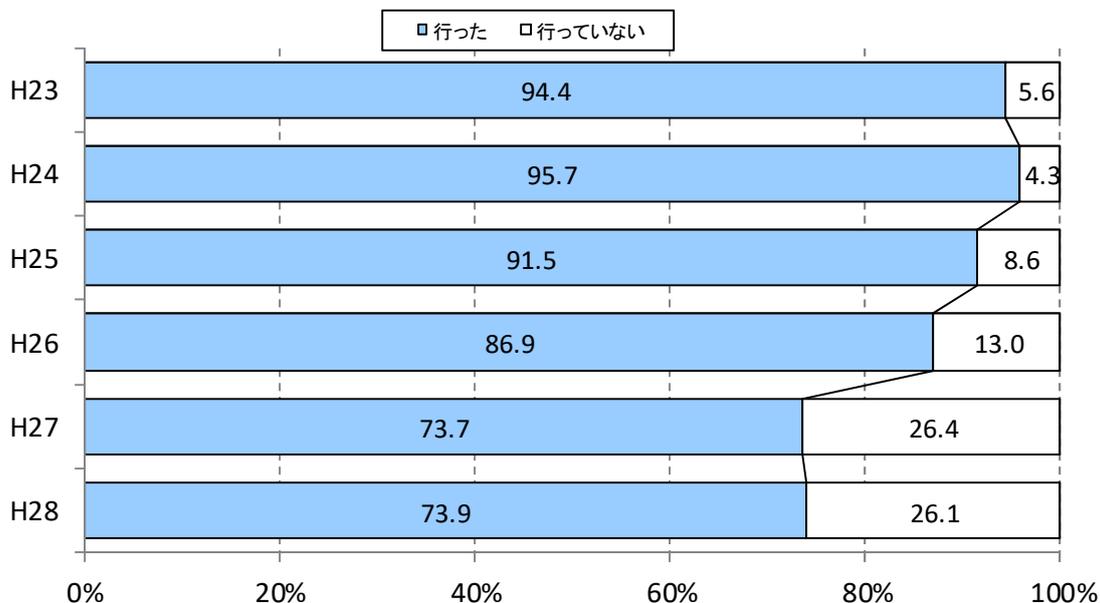


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○調査対象学年の児童に対し、前年度に長期休業日を利用した補足的な学習サポートを「行った」と回答した小学校の割合は、減少傾向にある。

## Ⅱ－３－２ 長期休業日を利用した補足的な学習サポート（中学校）

「行った」とは・・・1日以上行った場合を指す

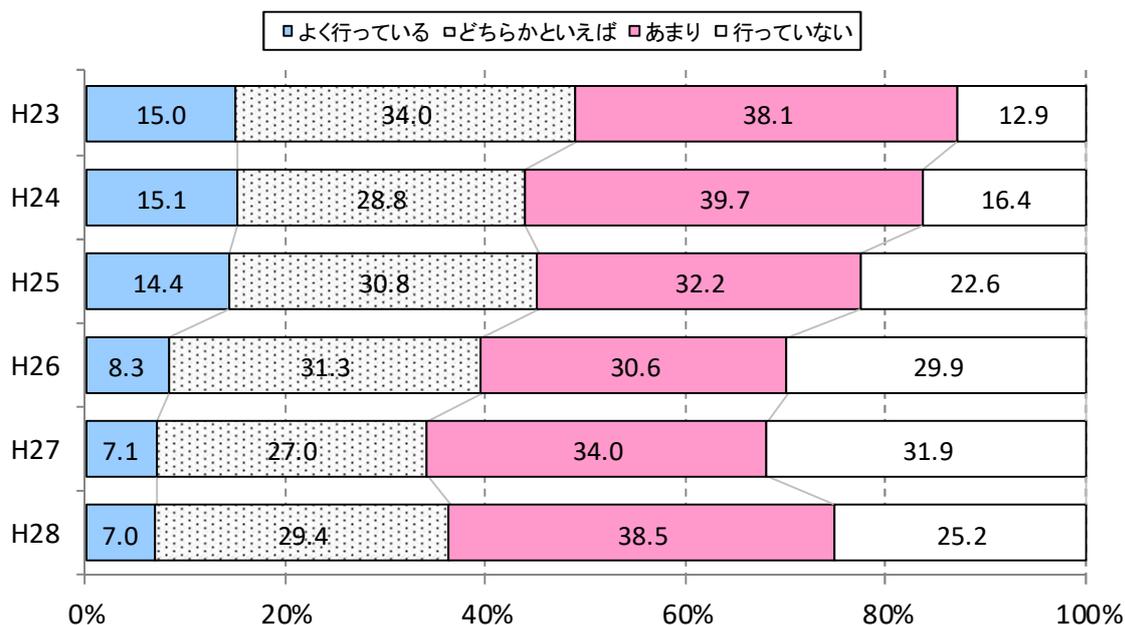


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○調査対象学年の生徒に対し、前年度に長期休業日を利用した補足的な学習サポートを「行った」と回答した中学校の割合は、減少傾向にある。

## Ⅱ－４ 地域の人材活用状況

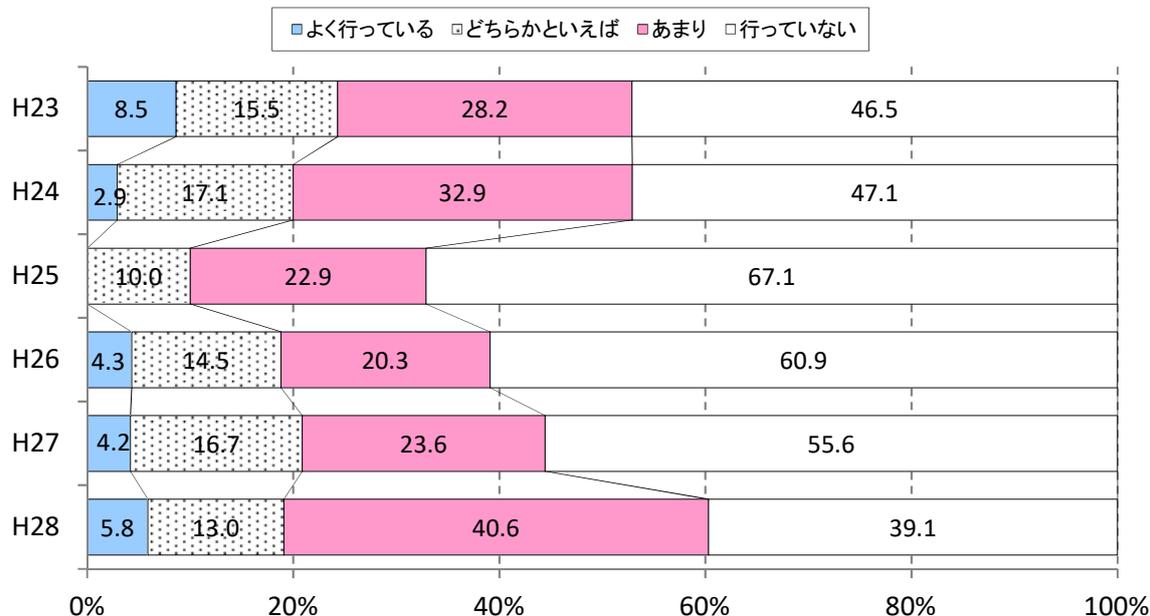
### Ⅱ－４－１ ボランティア等による授業サポート補助（小学校）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○調査対象学年の児童に対し、前年度までにボランティア等による授業サポート補助を「よく行った」、「どちらかといえば行った」と回答した小学校の割合は、減少傾向にある。

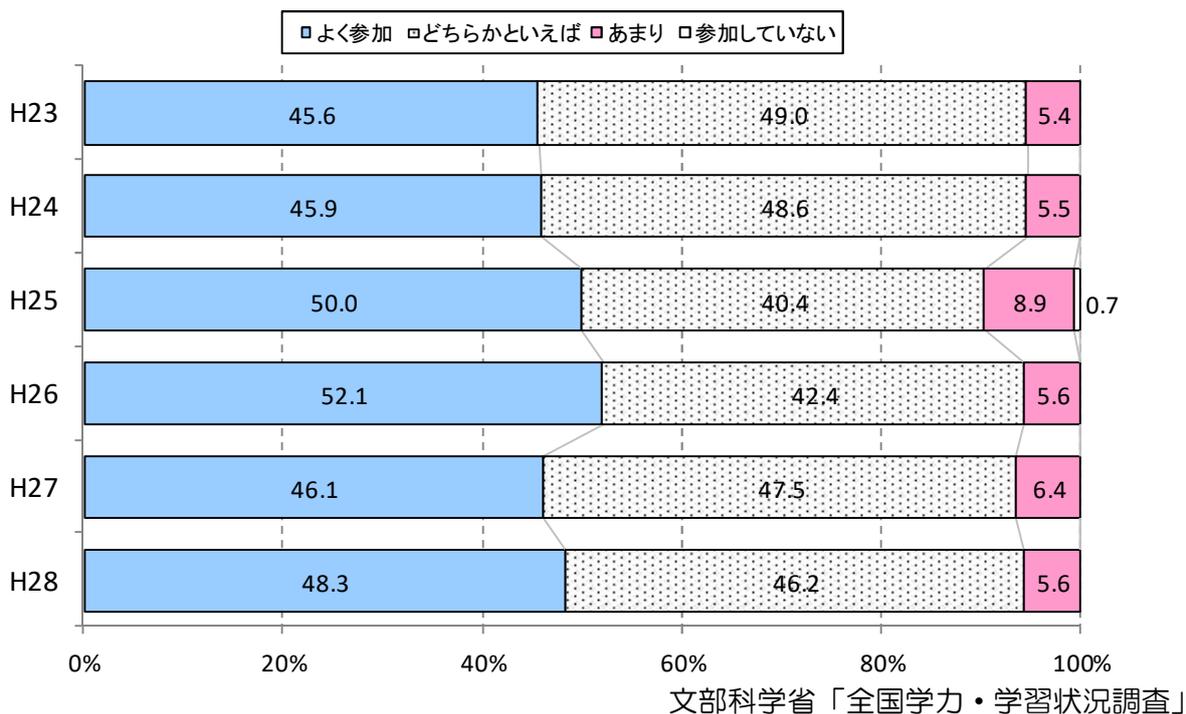
### Ⅱ－４－１ ボランティア等による授業サポート補助（中学校）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

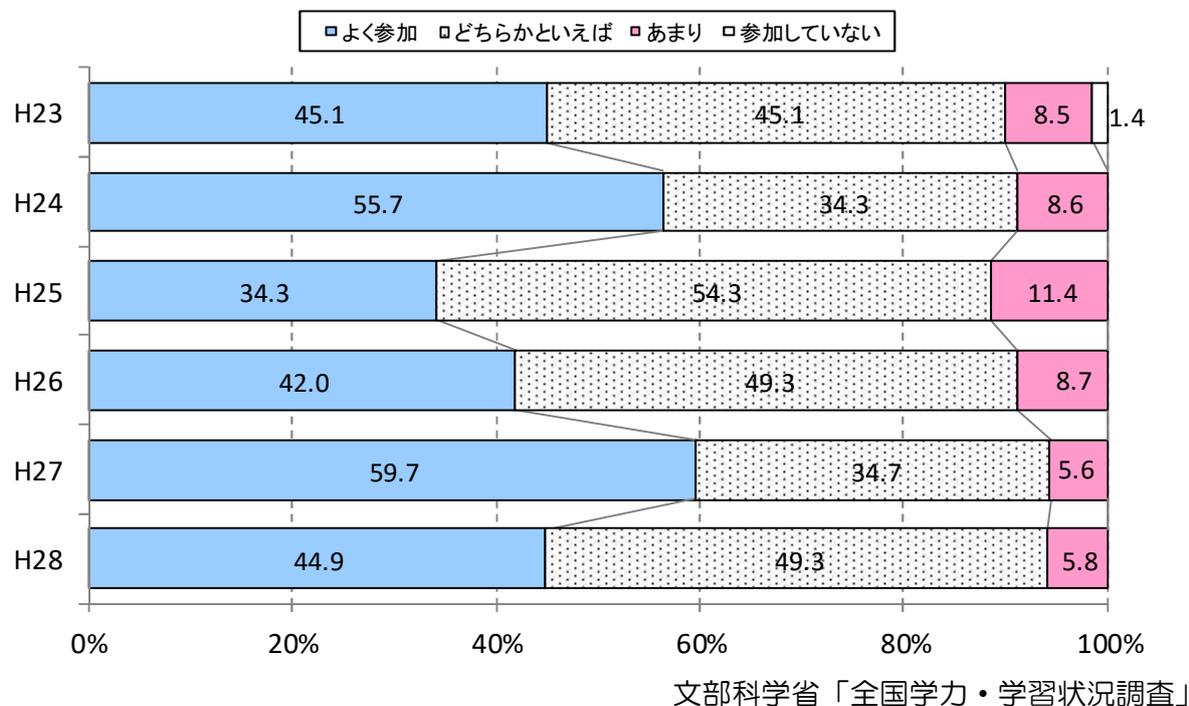
○調査対象学年の生徒に対し、前年度までにボランティア等による授業サポート補助を「よく行った」、「どちらかといえば行った」と回答した中学校の割合は、20%前後で推移している。

## Ⅱ-4-2 PTAや地域の人ボランティア参加状況（小学校）



OPTAや地域の方の参加状況について、「よく参加している」と回答した小学校の割合は、50%前後で推移している。

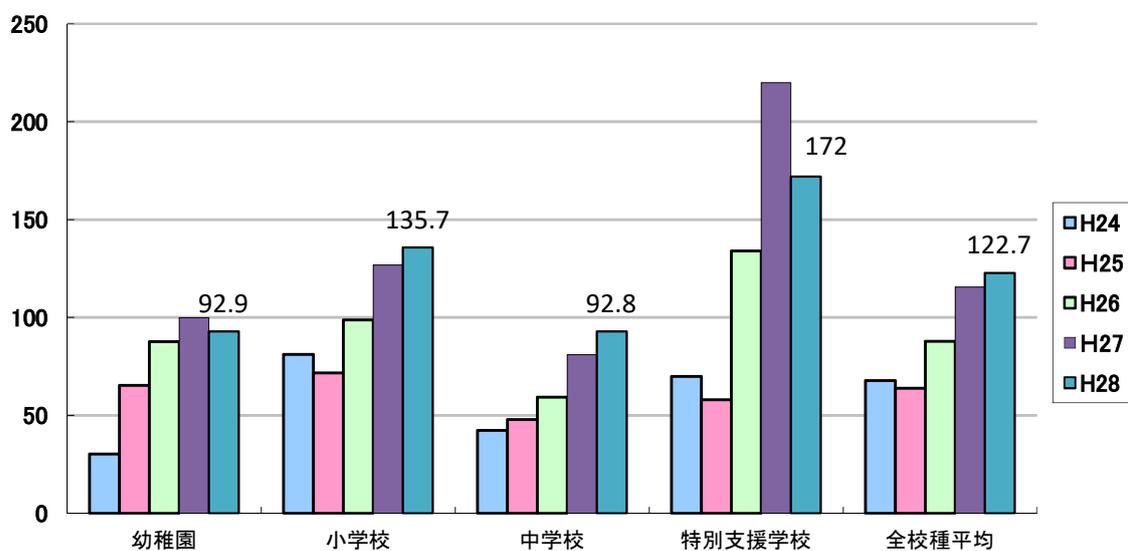
## Ⅱ-4-2 PTAや地域の人ボランティア参加状況（中学校）



OPTAや地域の方の参加状況について、「よく参加している」「どちらかといえば参加している」と回答した中学校の割合は、やや増加傾向にある。

## Ⅱ－５ 学校情報の提供

### Ⅱ－５－１ ホームページの更新回数（校種別）



福岡市教育委員会調査

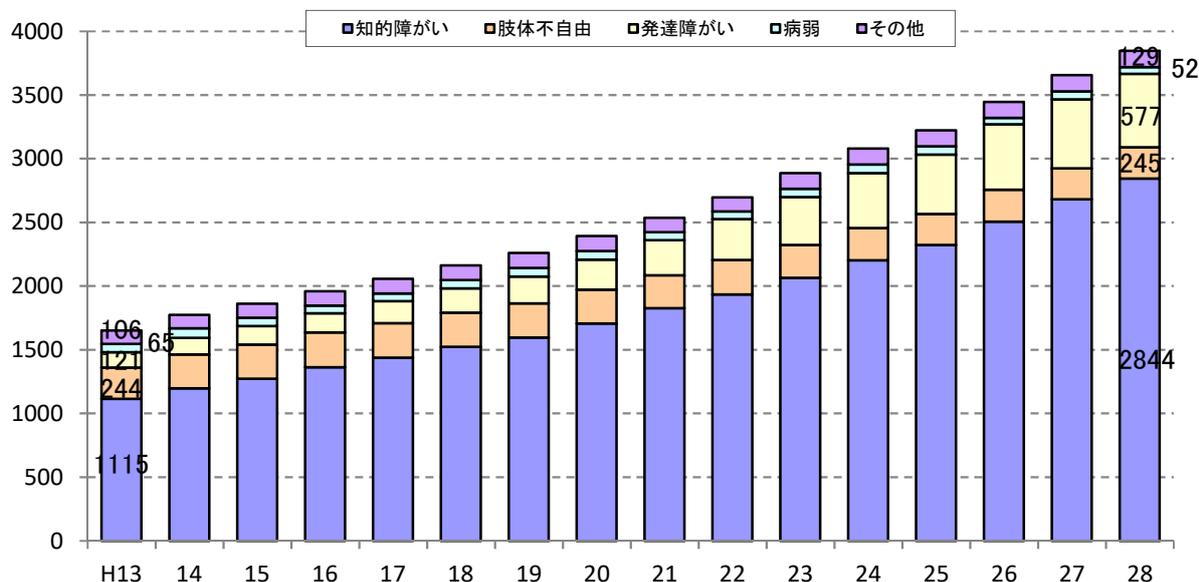
○各校種ともホームページの更新が日常化してきている、今後はさらなる内容の充実が課題である。



## Ⅱ－６ 特別支援教育

### Ⅱ－６－１ 障がいのある児童生徒数

(人) ※その他・・・弱視，言語障がい，難聴

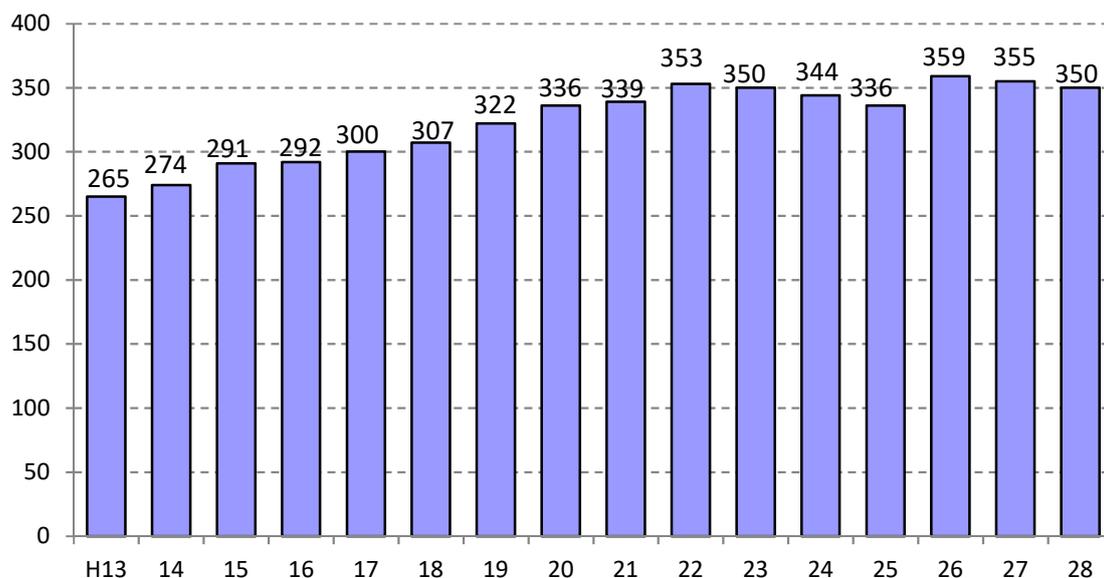


福岡市教育委員会調査

○障がいのある児童生徒数は，増加している。特に知的障がいのある児童生徒数の増加が著しい。

### Ⅱ－６－２ 特別支援学校の学級数（小・中・高等部）

(学級数)

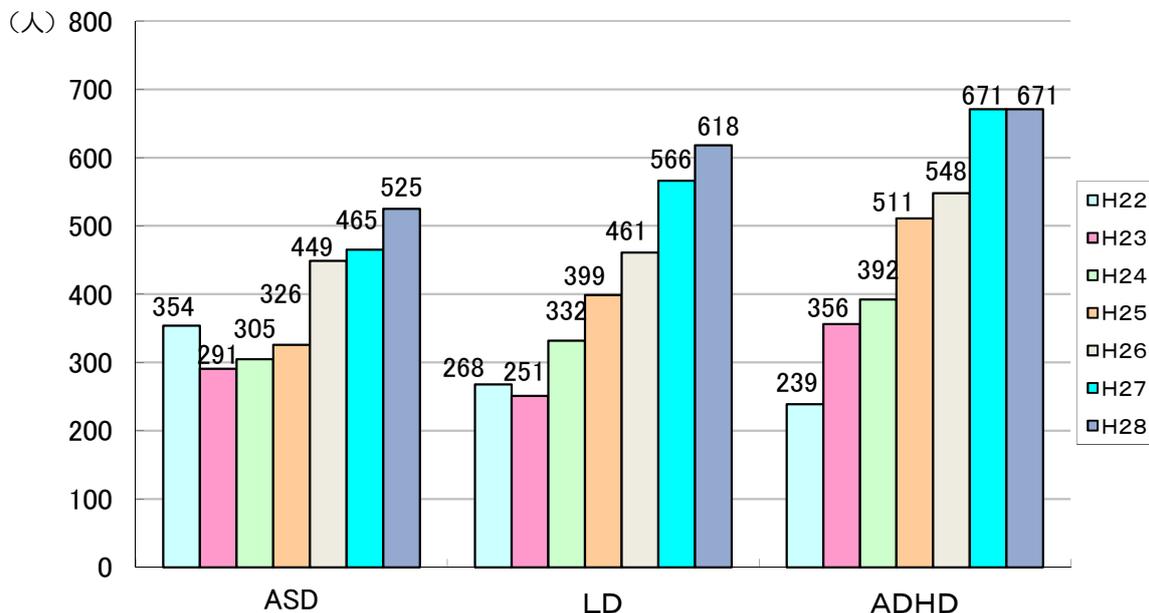


福岡市教育委員会調査

○特別支援学校の学級数は，350学級前後で推移している。

### Ⅱ－６－３ 通常学級における発達障がいのある児童数（小学校）

※ASD・・・広汎性発達障がい，LD・・・学習障がい，ADHD・・・注意欠陥多動性障がい

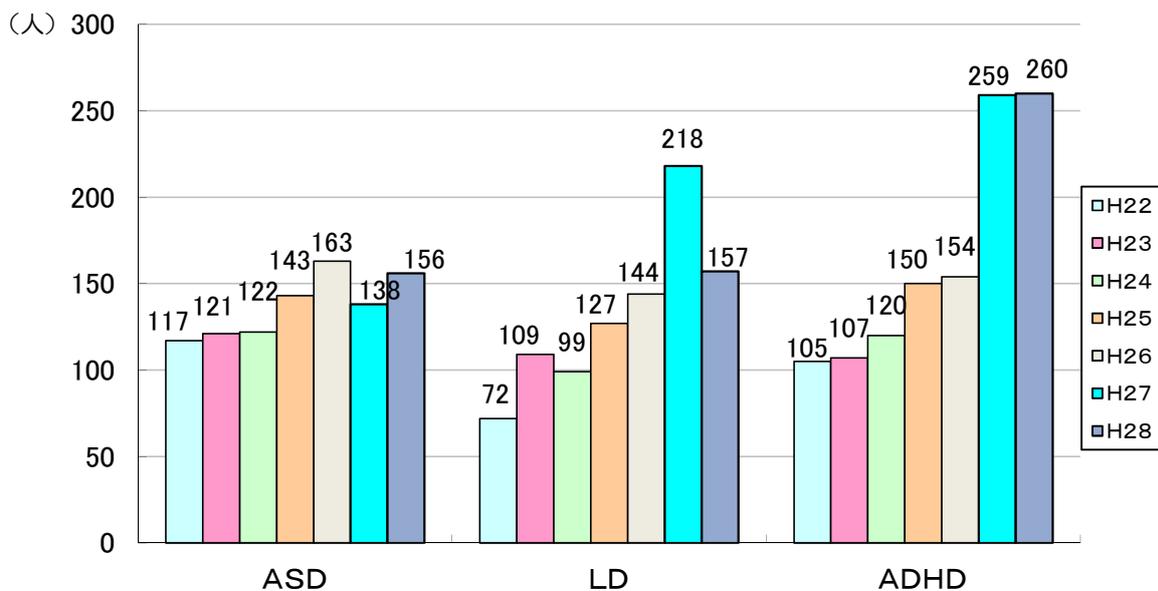


福岡市教育委員会調査

○通常学級における発達障がいのある児童は増加傾向にある。

### Ⅱ－６－３ 通常学級における発達障がいのある生徒数（中学校）

※ASD・・・広汎性発達障がい，LD・・・学習障がい，ADHD・・・注意欠陥多動性障がい

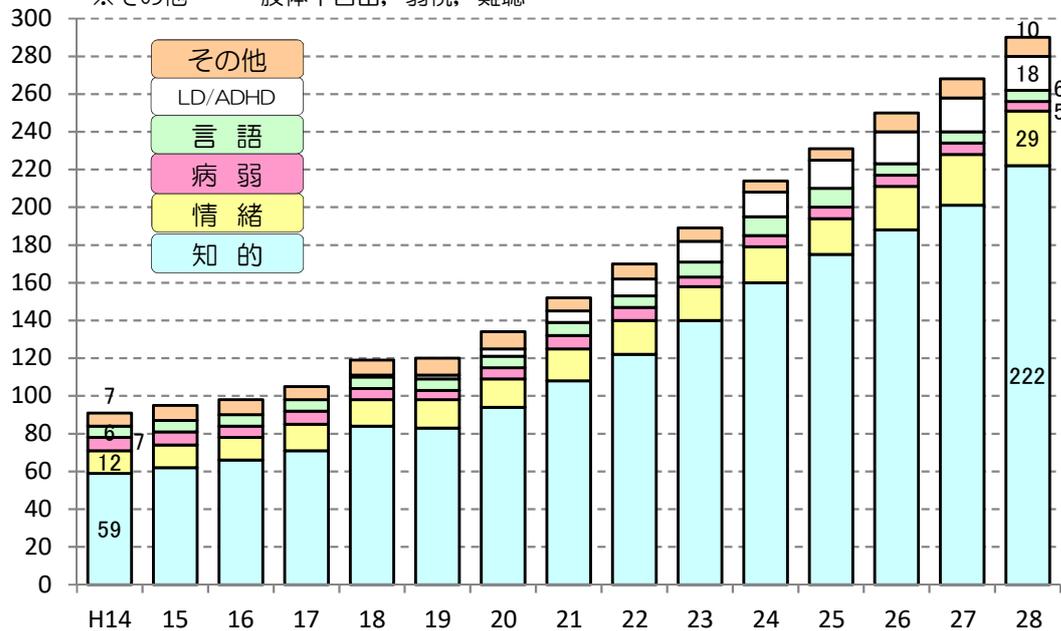


福岡市教育委員会調査

○通常学級における発達障がいのある生徒は増加傾向にある。

## Ⅱ－6－4 特別支援学級の設置状況（小学校）

（学級数） ※学級数には、通級指導教室を含みます。  
 ※その他・・・肢体不自由，弱視，難聴

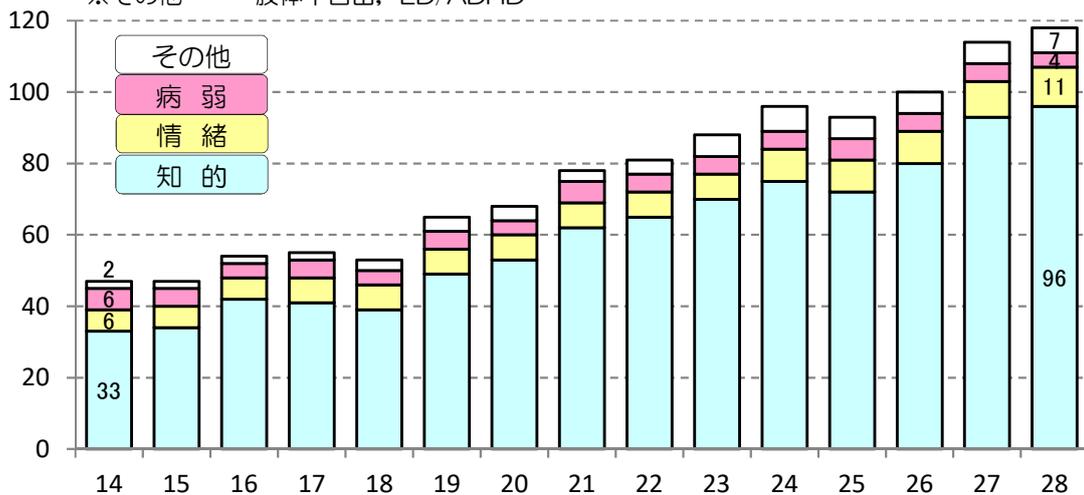


福岡市教育委員会調査

○小学校においては、知的障がい特別支援学級が増加傾向にある。

## Ⅱ－6－4 特別支援学級の設置状況（中学校）

（学級数） ※学級数には、通級指導教室を含みます。  
 ※その他・・・肢体不自由，LD/ADHD

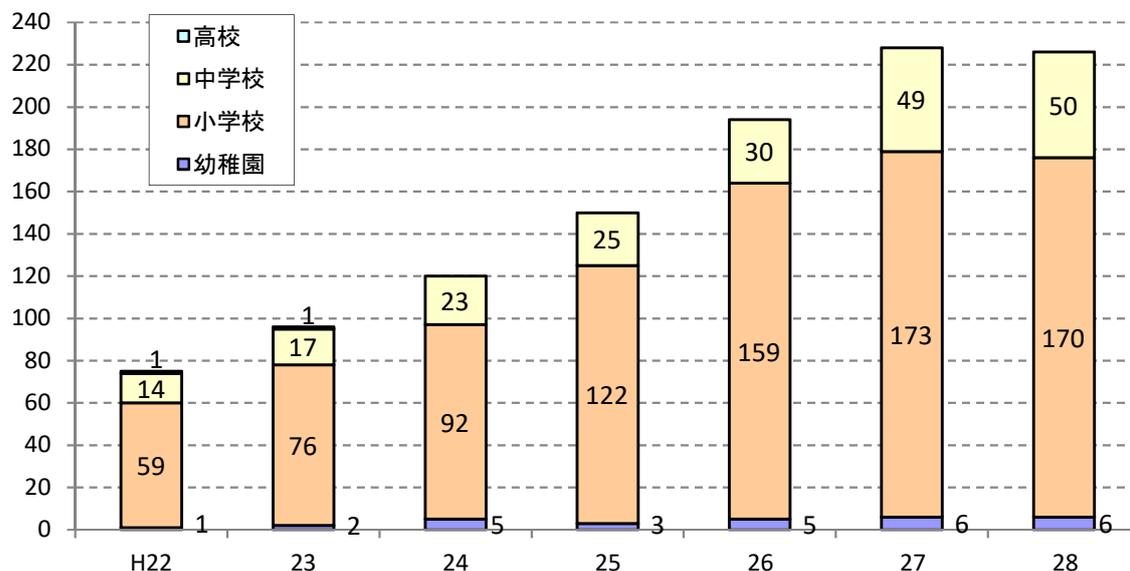


福岡市教育委員会調査

○中学校においては、知的障がい特別支援学級が増加傾向にある。

## Ⅱ－６－５ 特別支援教育支援員の配置状況

(人)

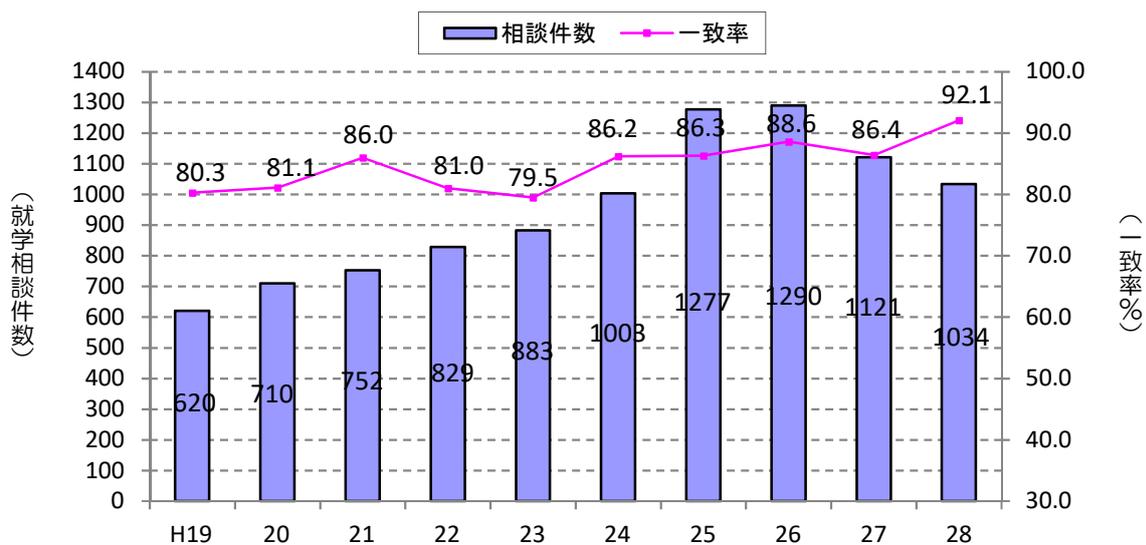


福岡市教育委員会調査

○特別支援教育支援員の配置数は、平成22年度から約3倍に増えている。

## Ⅱ－６－６ 就学相談数と一致率

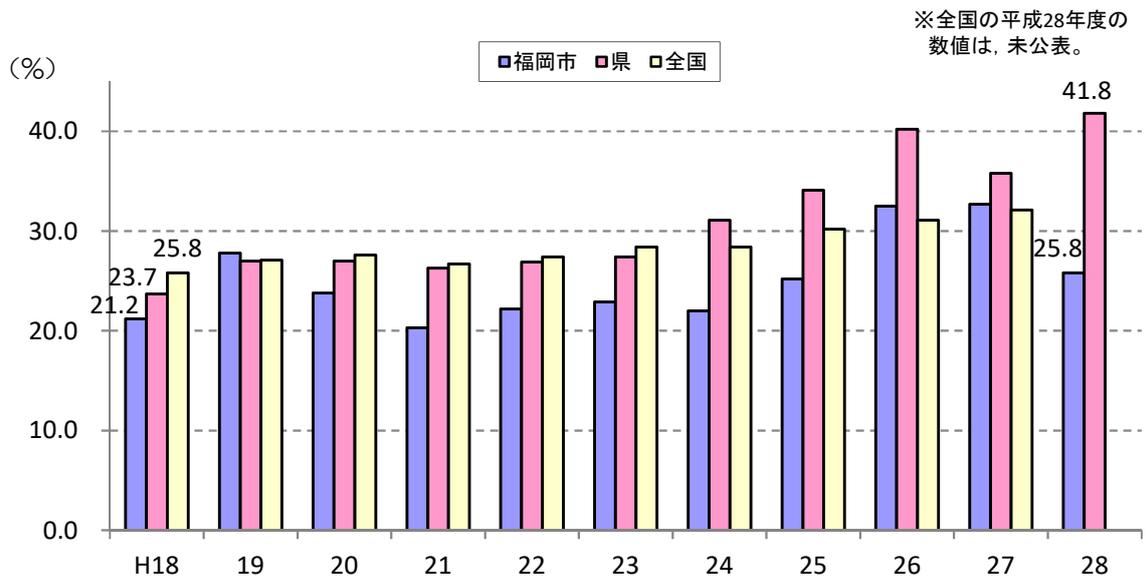
※一致率・・・就学支援委員会の判断通りに児童生徒の就学先が決定した割合



福岡市教育委員会調査

○就学相談数は、やや減少しており、教育委員会の総合的判断と保護者の意向が一致した割合は90%前後で推移している。

## Ⅱ－6－7 特別支援学校高等部就労率



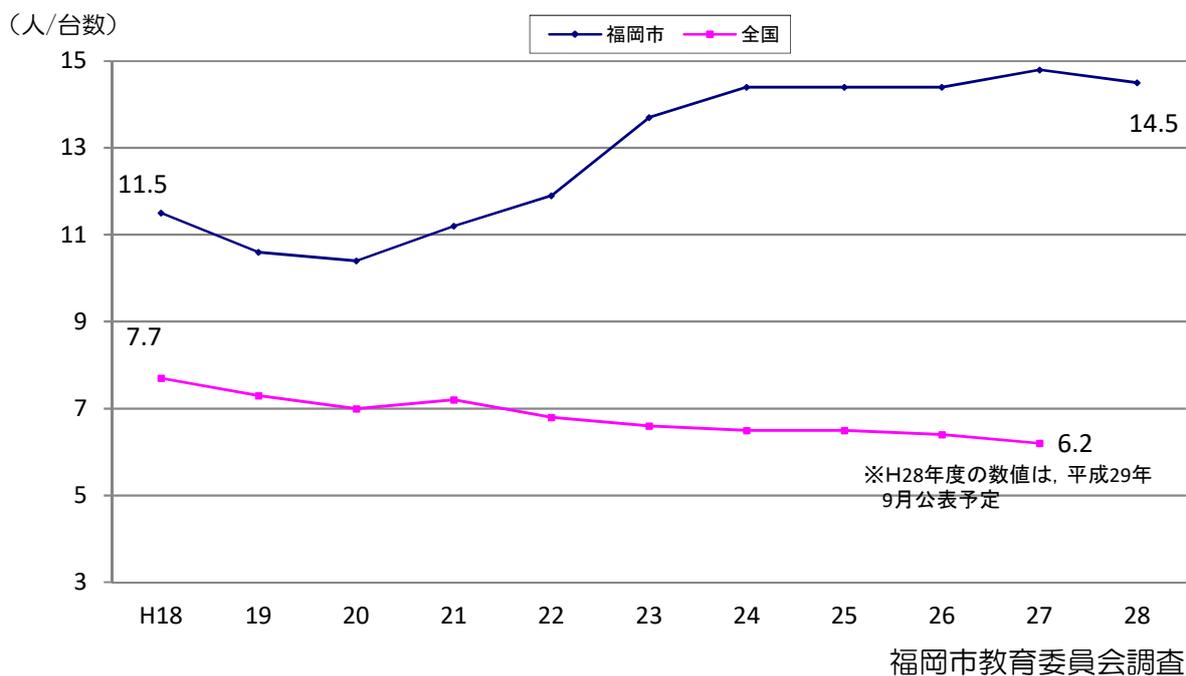
福岡市教育委員会調査

○特別支援学校高等部（知的）の就労率は、平成26年度以降、全国の平均値を上回っている。



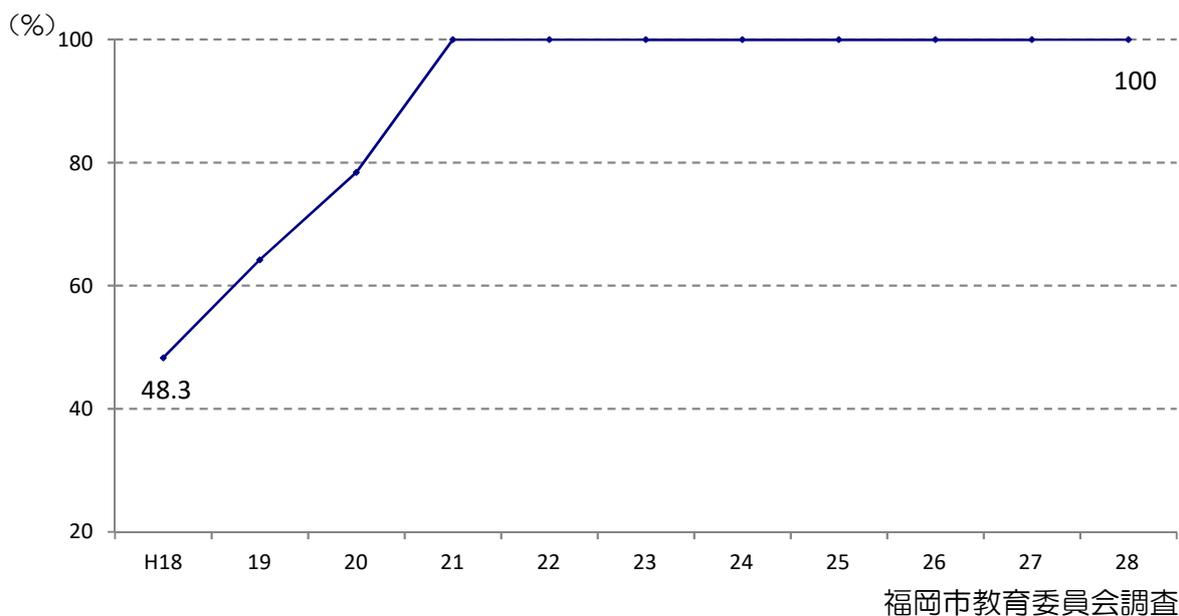
## Ⅱ－７ ICT環境

### Ⅱ－７－１ コンピュータ1台あたりの児童生徒数



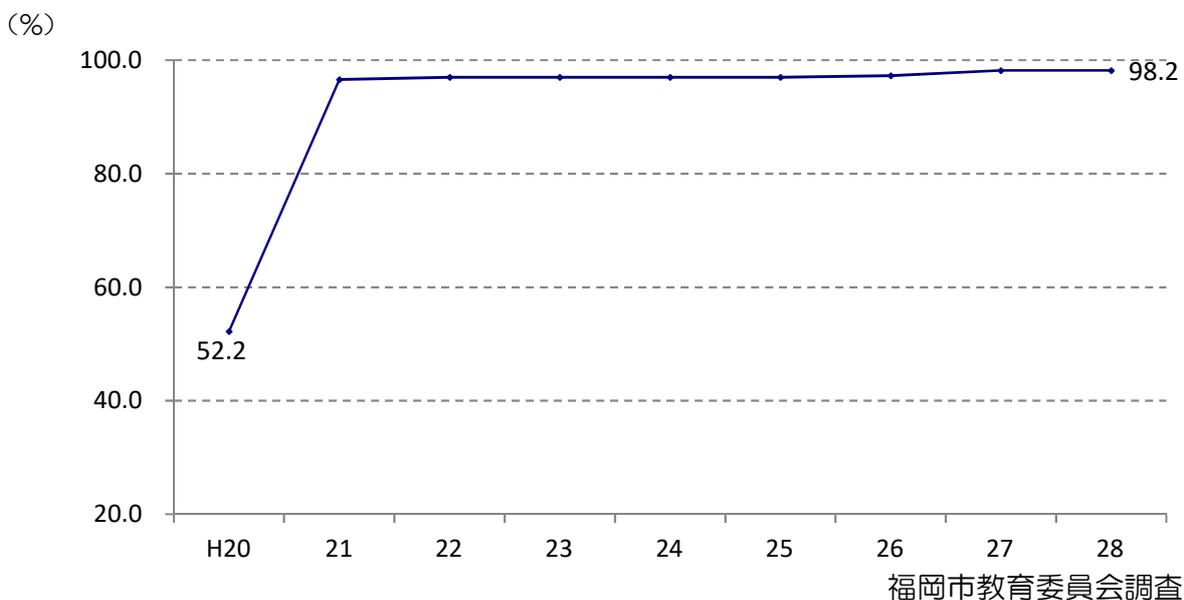
○コンピュータ1台あたりの児童生徒数は、全国平均に比べてかなり多い。

### Ⅱ－７－２ 普通教室における校内LAN整備率



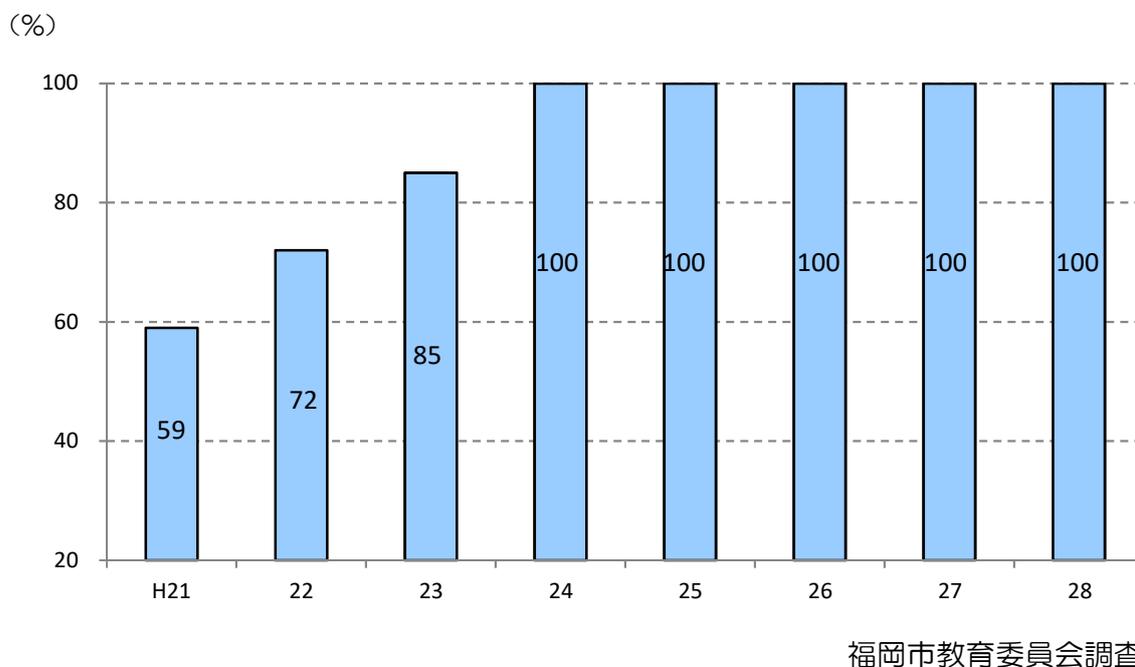
○普通教室における校内LAN整備率について100%を達成して以降は、特別教室等一部未整備の教室整備に順次移行している。

### Ⅱ-7-3 超高速インターネット接続率



○超高速インターネット接続(30Mbps以上)は、通信速度の速い光ファイバ回線へ移行している。

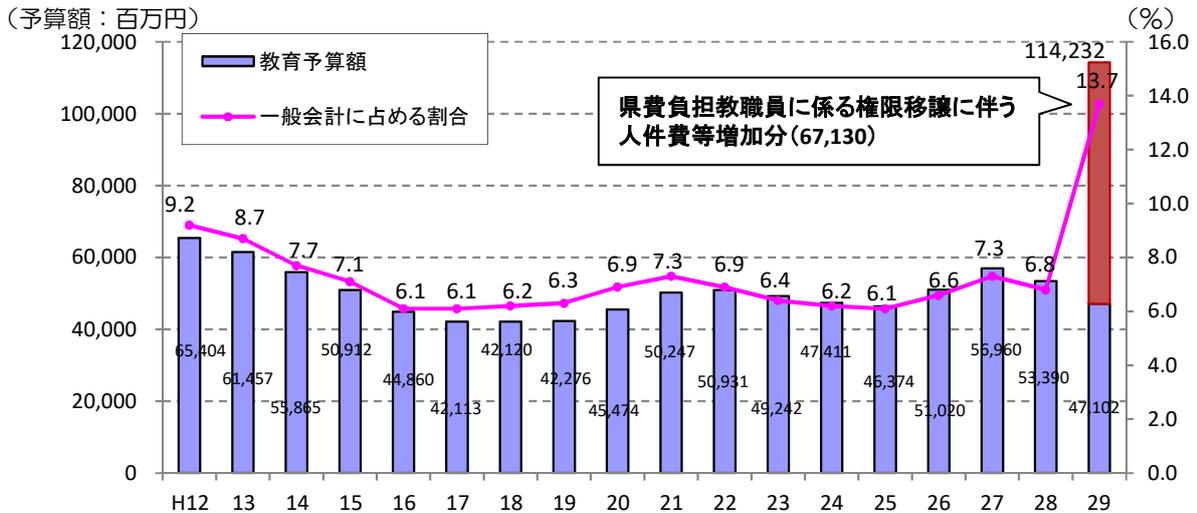
### Ⅱ-7-4 校務用コンピュータ整備率



○校務用コンピュータの整備率は、平成24年度100%を達成して以降も、教職員定数の増加に伴う追加整備を行っている。

## Ⅱ－８ その他の状況

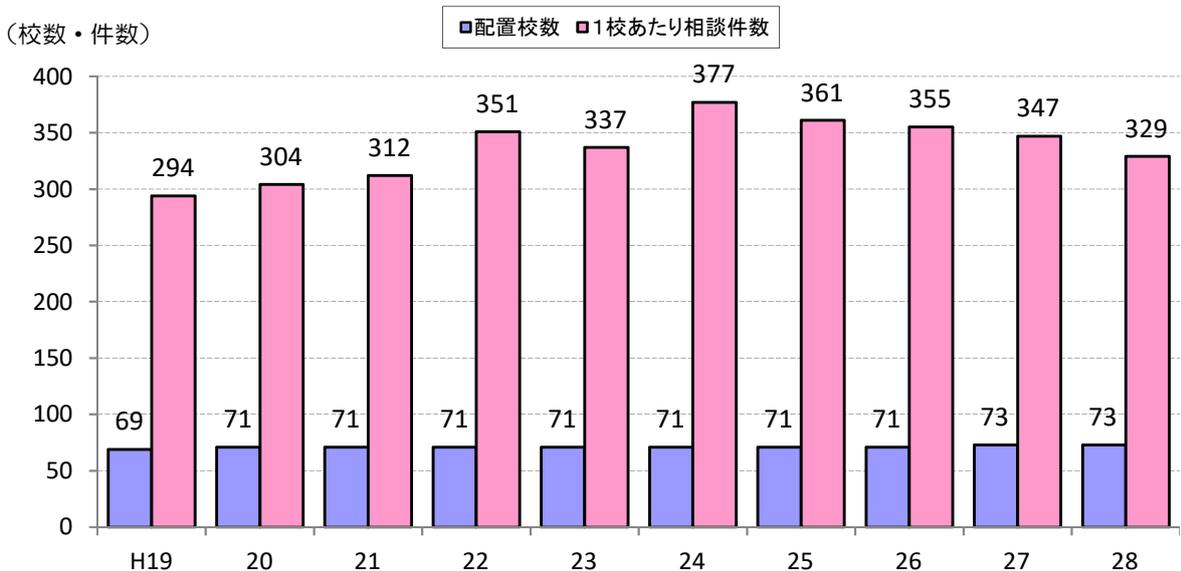
### Ⅱ－８－１ 福岡市の教育予算の推移



※平成24年度から美術館、博物館、アジア美術館、文化財部は、経済観光文化局へ移管  
福岡市教育委員会調査

○教育予算は約1,142億円で平成28年度と比較し大幅な増額となるが、これは、県費負担教職員の権限移譲に伴う人件費等が約671億円増加したことによるものである。この権限移譲に伴う増額分を除いた予算は約471億円で、平成28年度よりも減少することとなるが、これはアイランドシティ地区小学校用地取得の完了や中学校への空調設備整備を終えたことなどによるものであり、必要な予算については事業の効率化などを図りつつ適切に確保している。

### Ⅱ－８－２ スクールカウンセラー（SC）への相談等の状況

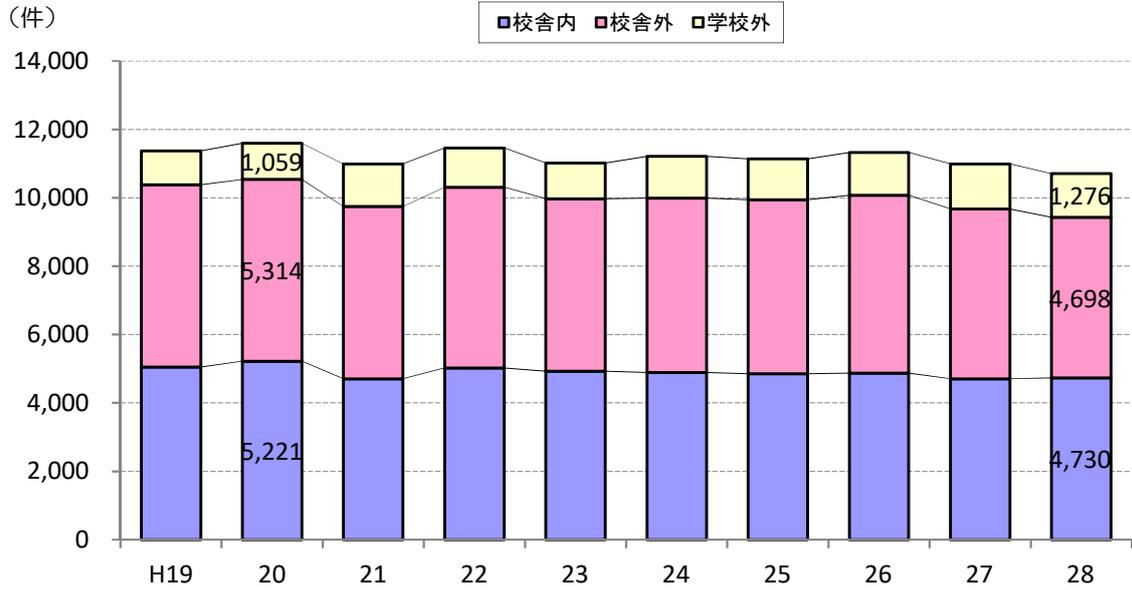


福岡市教育委員会調査

○SCの配置校数は平成27年度から73校となった。SCへの相談件数は、平成28年度1校あたり329件で、依然として高い水準で推移している。

## Ⅱ－8－3 学校災害の状況（市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校）

※学校災害・・・学校の管理下の事由による負傷、疾病等



福岡市教育委員会調査

○学校災害は年間1万件ほどで推移しており、平成28年度は、前年度よりわずかに減少している。



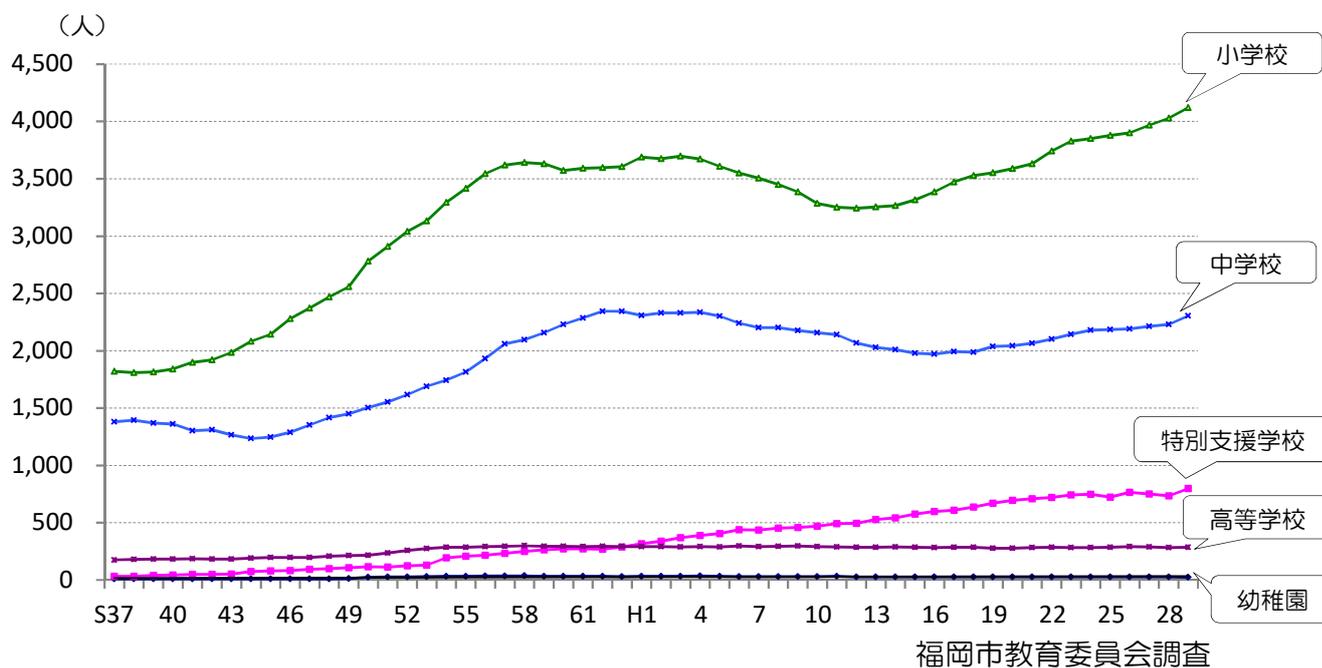
# III 教職員

---

---

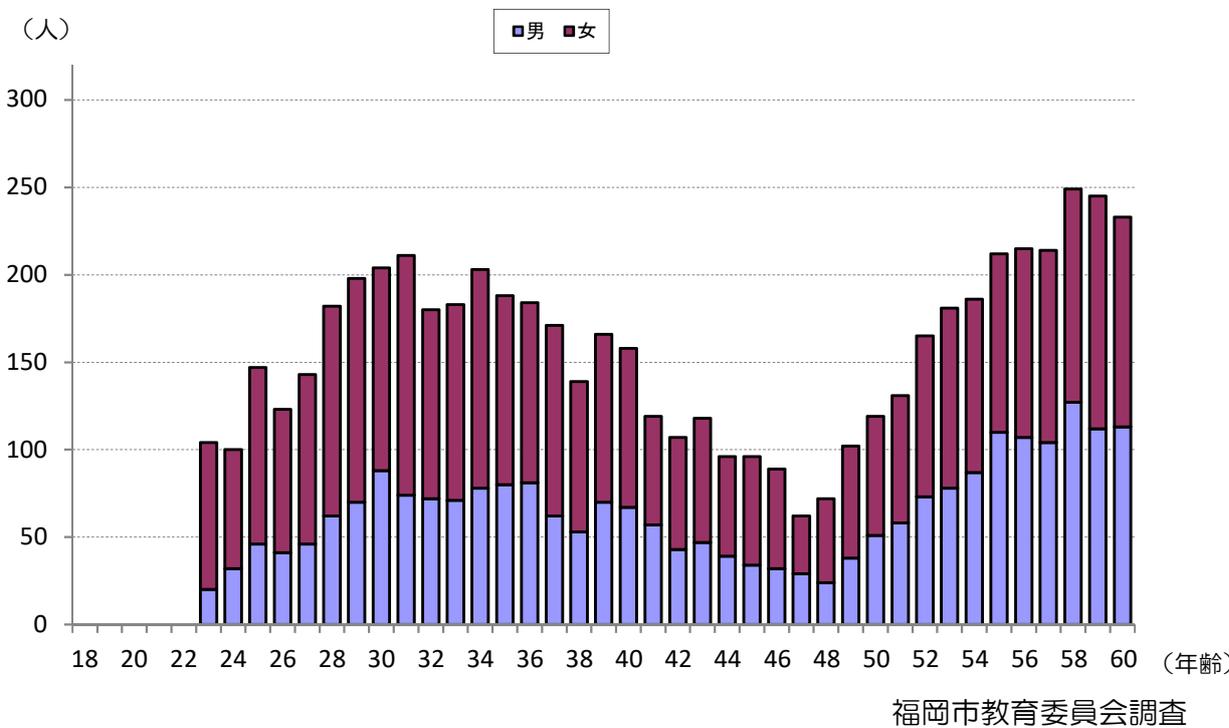
### Ⅲ－１ 教職員

#### Ⅲ－１－１ 福岡市立学校教員数の推移



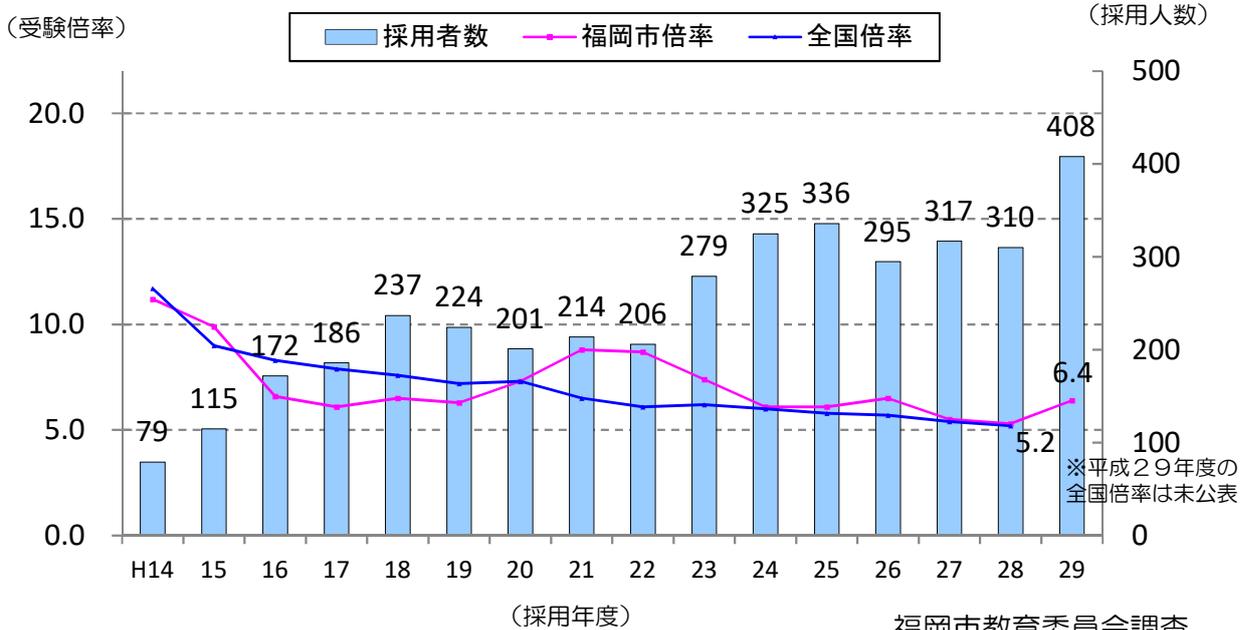
○福岡市立学校教員数は、平成29年度で幼稚園24名、高等学校285名、特別支援学校798名、中学校2,304名、小学校4,121名となっている。

#### Ⅲ－１－２ 正規教員の年齢構成（平成29年5月現在）



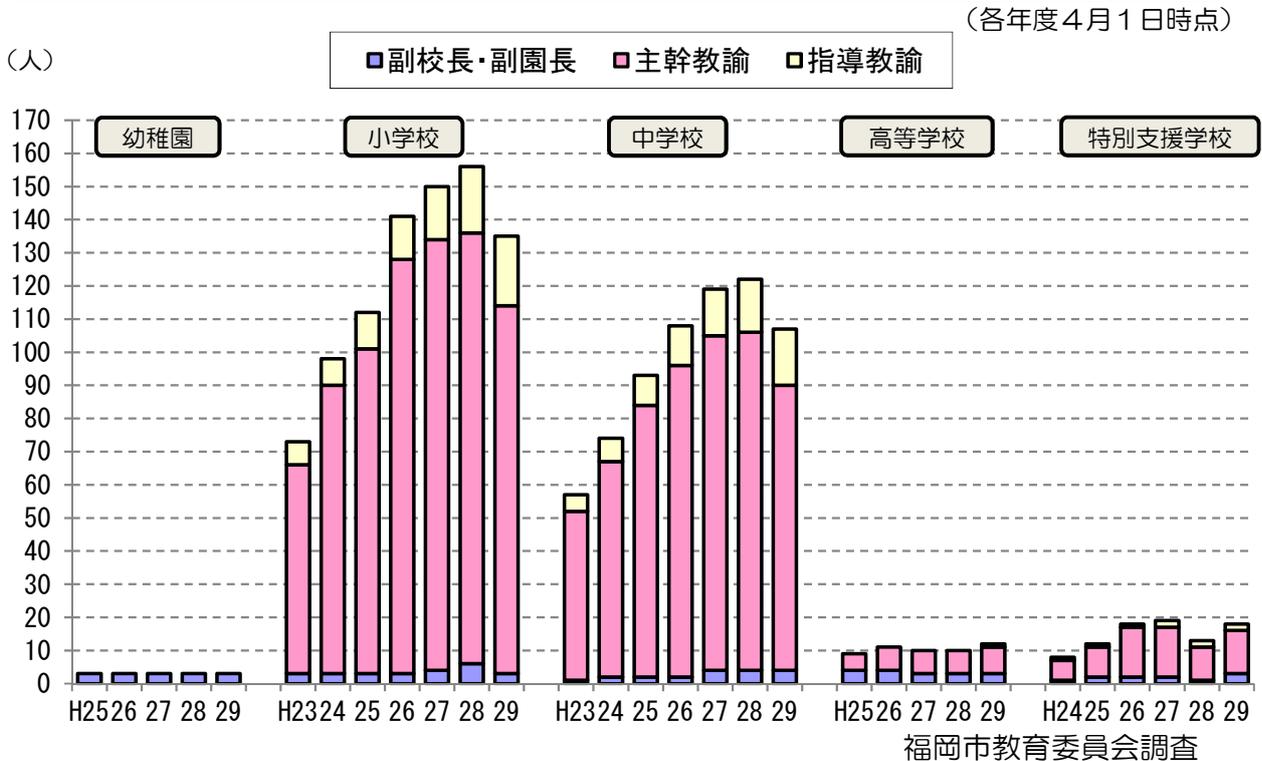
○校長及び正規教員の年齢構成としては、50代後半と30代前半でピークがあり、40代で谷を描いている。

### Ⅲ－１－３ 新規採用教員数と受験倍率



○新規採用教員数は、平成24年度以降は300名から350名程度の規模で推移してきたが、平成29年度は400名超に増加した。福岡市の受験倍率は平成21年度から低下傾向であったが、平成29年度は、6倍台に回復した。

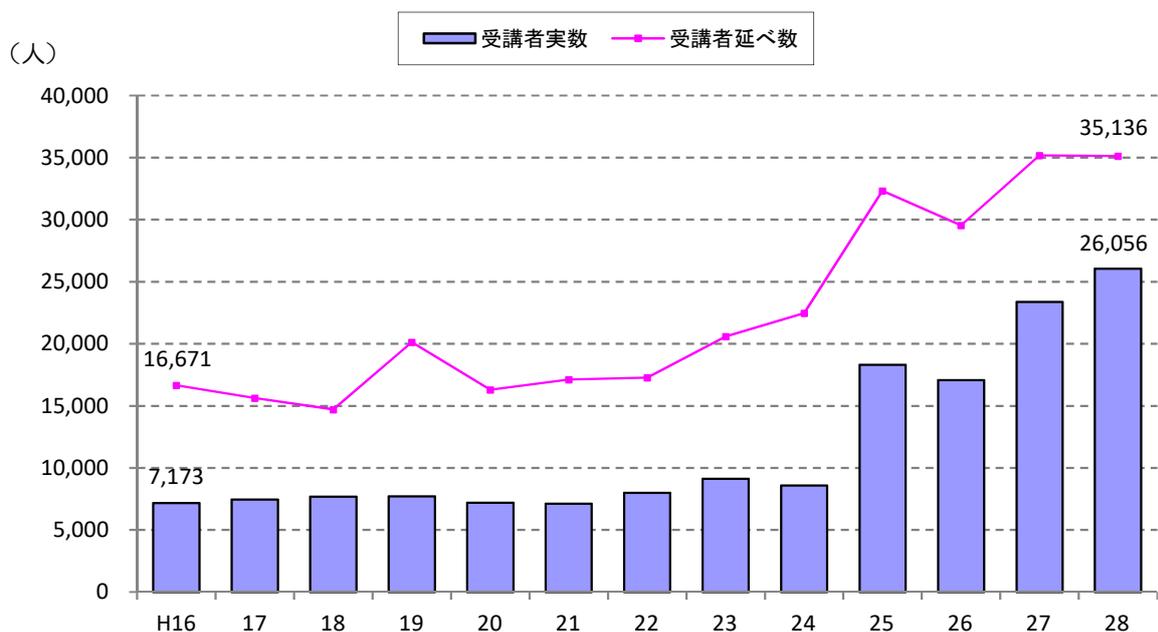
### Ⅲ－１－４ 副校長・主幹教諭・指導教諭の配置人数



○小学校、中学校においては、平成28年度までは年々増加していたが、配置人数の適正化により、平成29年度は減少した。

## Ⅲ－２ 教職員の研修状況

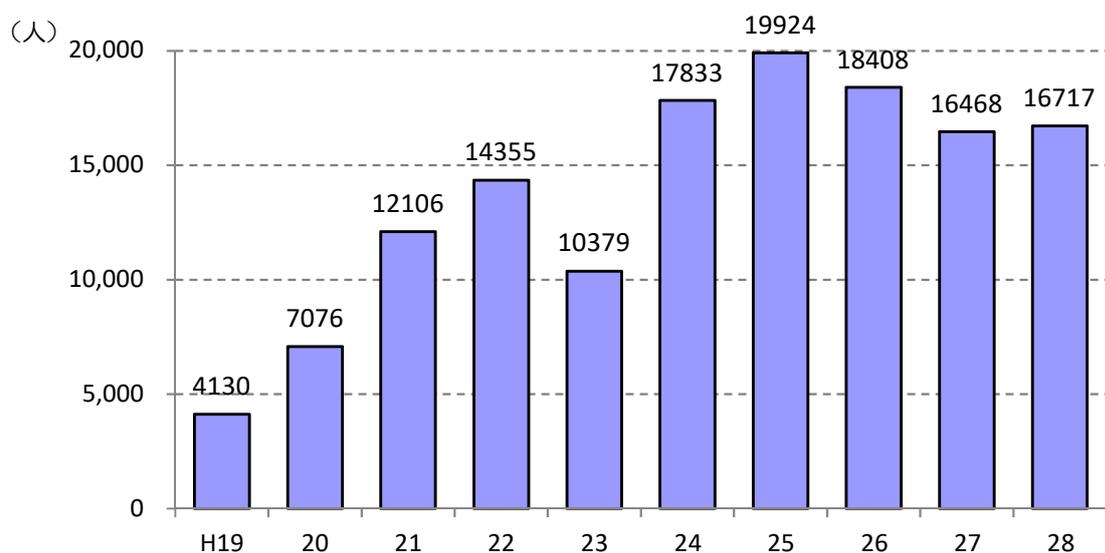
### Ⅲ－２－１ 教育センター研修講座受講者数の推移



福岡市教育委員会調査

○若年層教員の増加に伴い、研修講座受講者数も増加傾向にある。

### Ⅲ－２－２ 授業力向上支援センター利用者数の推移



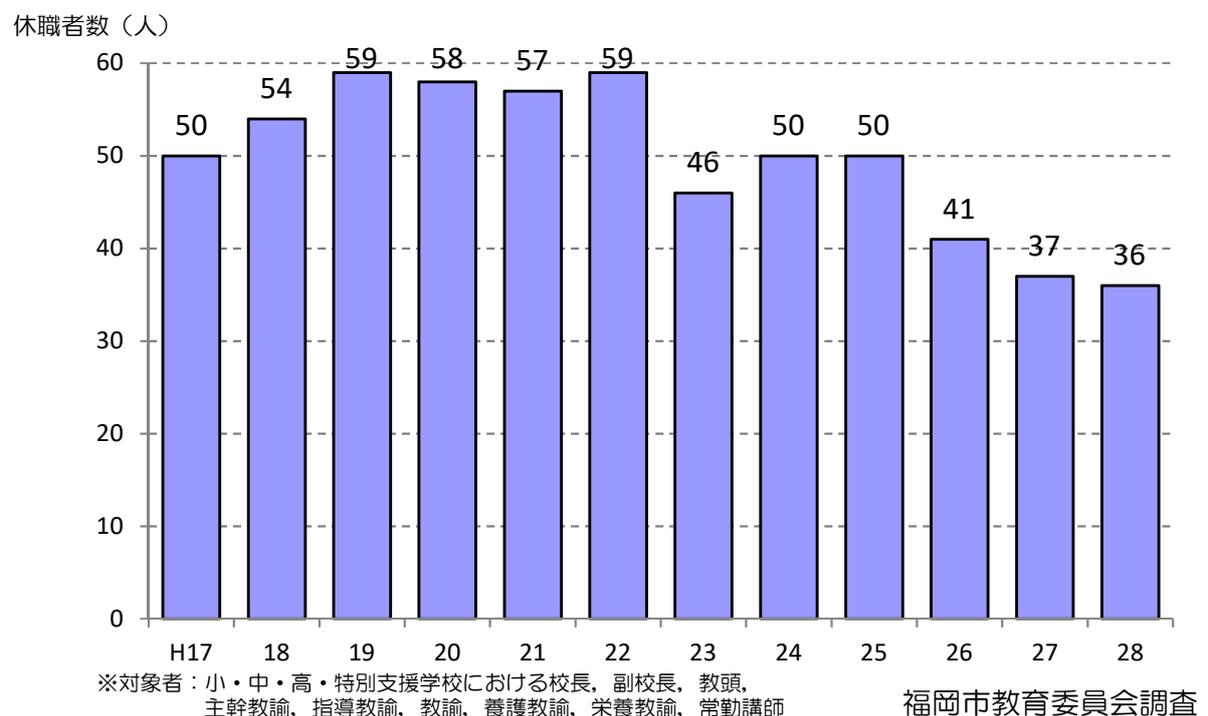
※平成23年度までは支援ネット閲覧者数を含まず

福岡市教育委員会調査

○平成24年度以降、利用者数は16,000人以上で推移している。

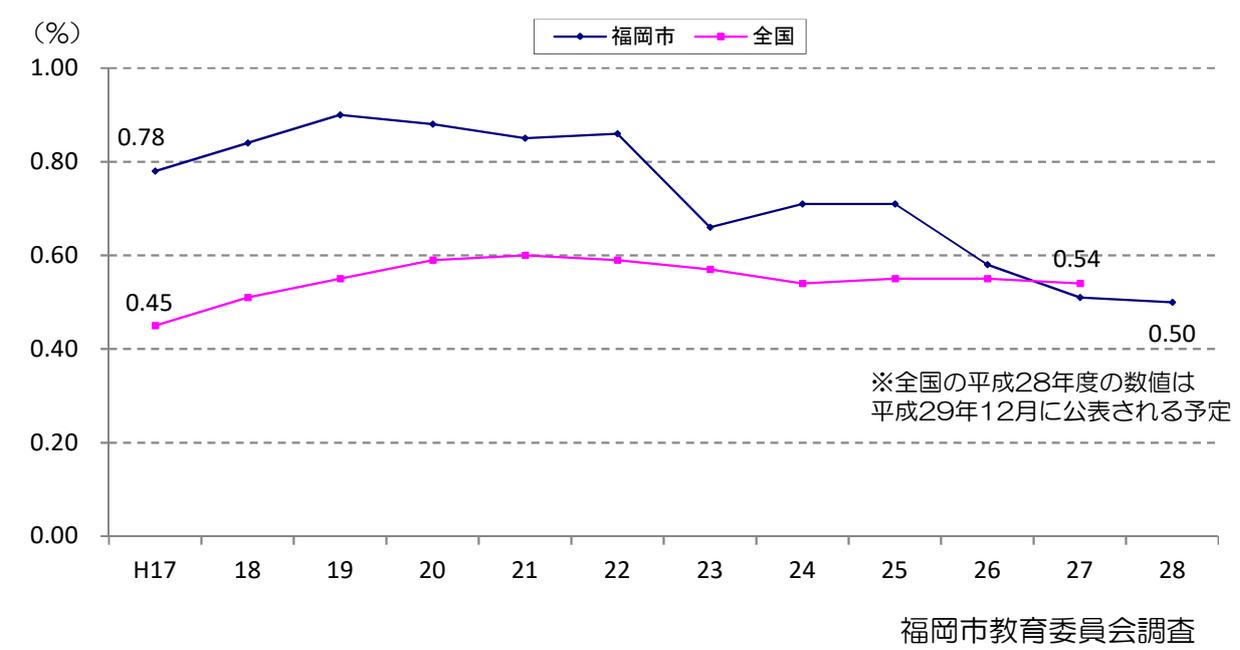
### Ⅲ－３ 教員の休職状況

#### Ⅲ－３－１ 精神性疾患を原因とする病気休職者（教員）の推移



○平成23年度以降，ほぼ横ばいであったが，平成26年度以降は減少に転じた。

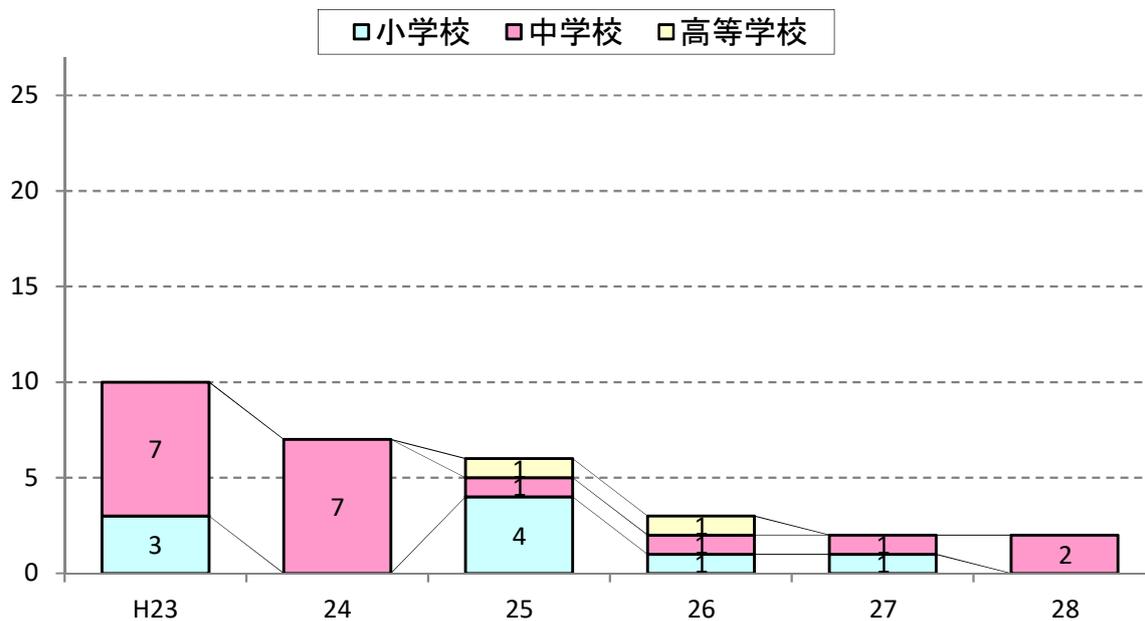
#### Ⅲ－３－２ 精神性疾患を原因とする病気休職者（教員）の割合



○全国平均はほぼ横ばいであるが，福岡市は減少傾向にある。

### Ⅲ－４ 体罰・処分

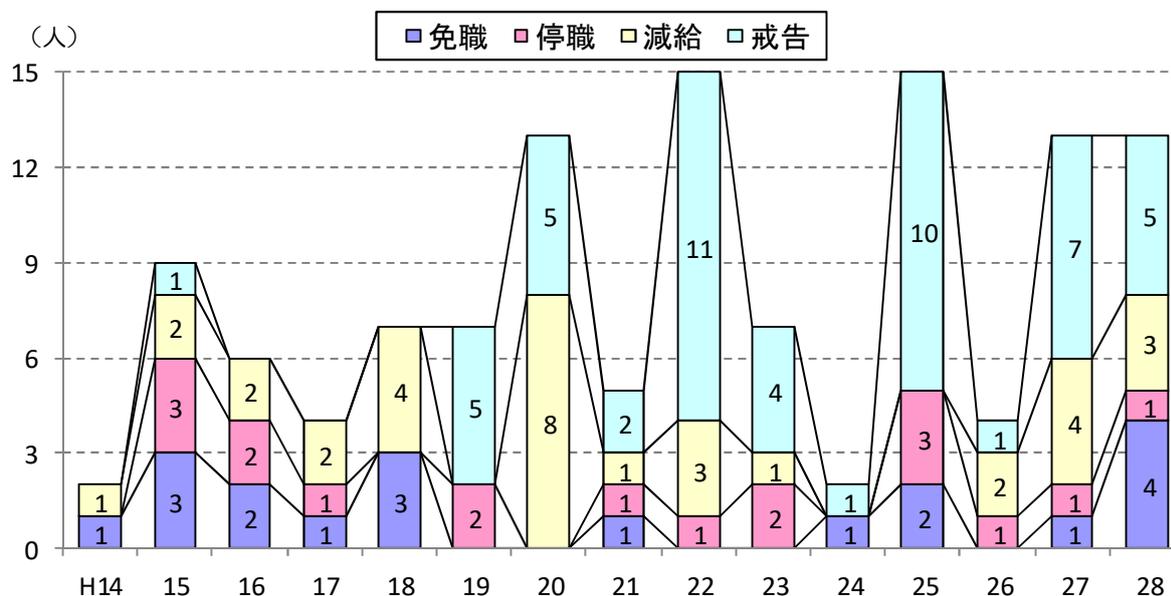
#### Ⅲ－４－１ 体罰による処分件数



福岡市教育委員会調査

○体罰による処分件数は、年々減少している。

#### Ⅲ－４－２ 懲戒処分者数（教職員）の状況



福岡市教育委員会調査

○年度により大きく異なるが、平成28年度は免職事案が増加している。

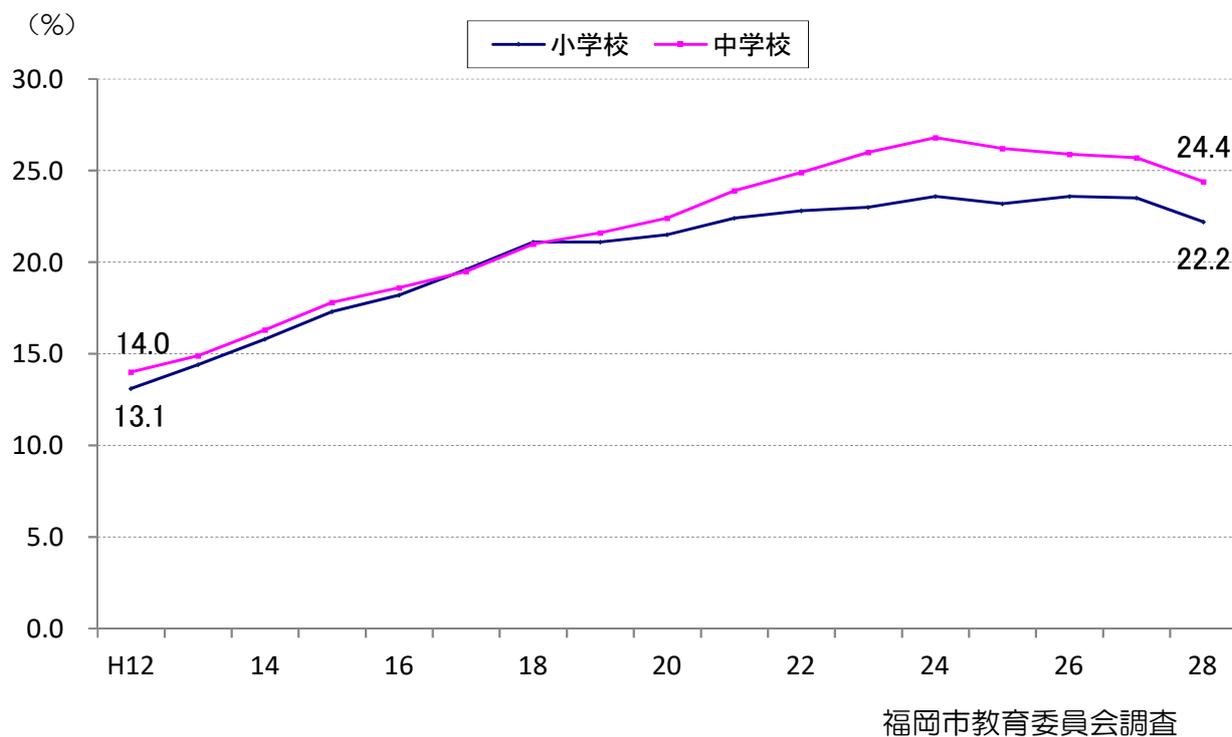
# IV 家庭・地域等

---

---

## Ⅳ－１ 家庭状況

### Ⅳ－１－１ 就学援助対象児童生徒数の割合

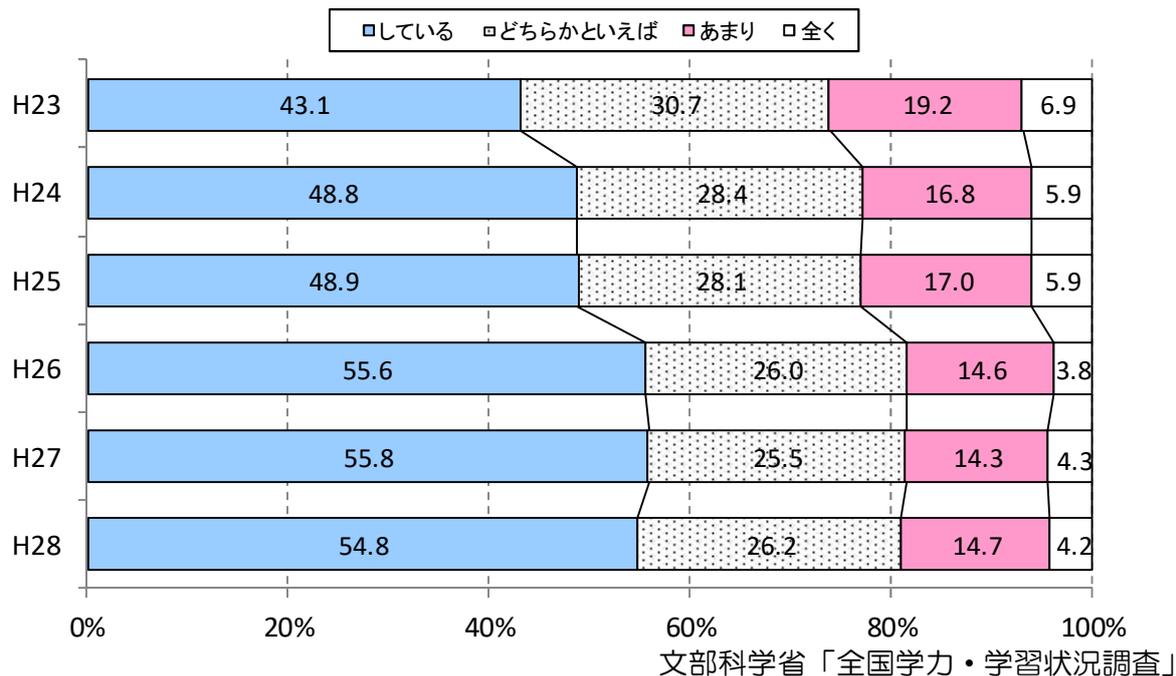


○就学援助対象児童生徒数は、平成24年度までは増加傾向が続き、平成24年度から平成27年度にかけては、ほぼ横ばいであったが、平成28年度は若干減少している。



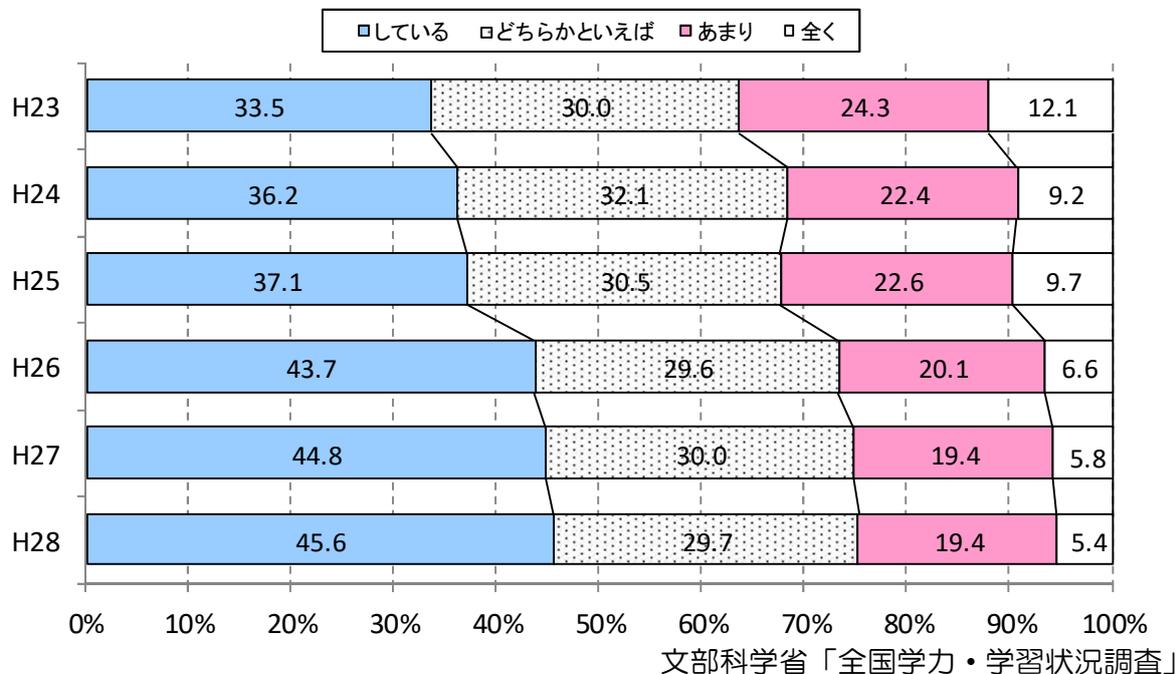
## Ⅳ－２ 子どもとのかかわり

### Ⅳ－２－１ 学校の出来事についての会話（小学校6年）



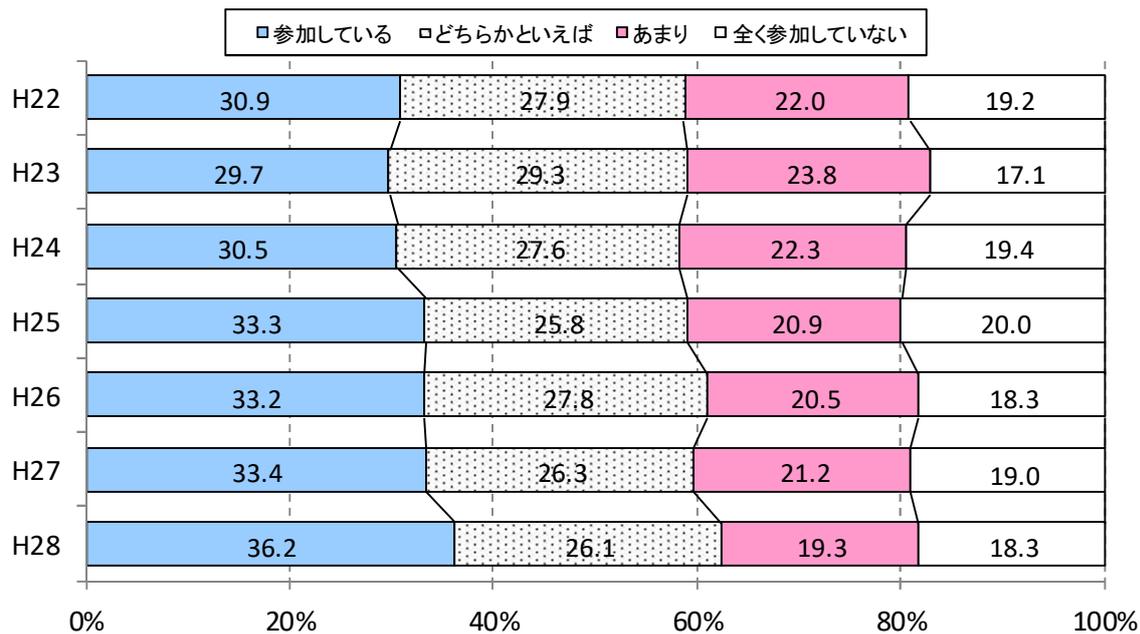
○学校の出来事について家庭で会話を「している」と回答した児童の割合は、増加傾向にある。

### Ⅳ－２－１ 学校の出来事についての会話（中学校3年）



○学校の出来事について家庭で会話を「している」と回答した生徒の割合は、増加傾向にある。

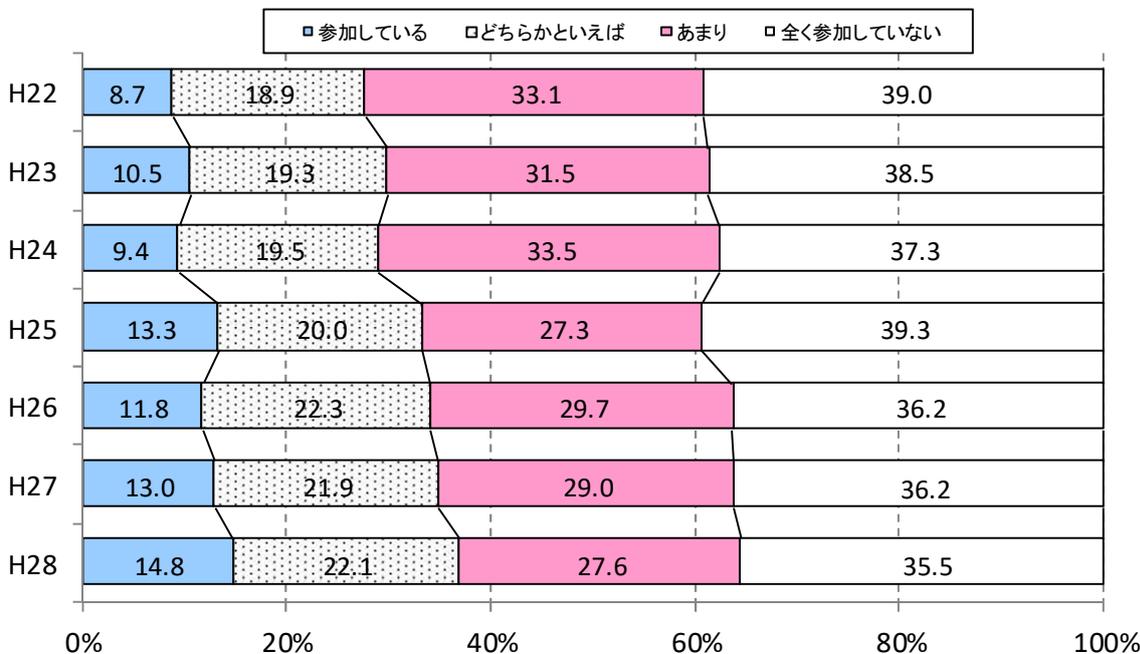
## Ⅳ－２－２ 地域行事への参加（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○地域行事に「参加している」，「どちらかといえば参加している」と回答した児童の割合は，60%前後で推移している。

## Ⅳ－２－２ 地域行事への参加（中学校3年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○地域行事に「参加している」，「どちらかといえば参加している」と回答した生徒の割合は，増加傾向にある。



**福岡市教育データブック**（平成29年度版）

平成29年8月

編集・発行 福岡市教育委員会総務部教育政策課  
福岡市中央区天神1丁目8番1号  
電話 092-711-4412

